## (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



## (43) 国際公開日 2002 年6月6日 (06.06.2002)

**PCT** 

## (10) 国際公開番号 WO 02/44189 A1

ン株式会社 (CANON KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒146-8501 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 Tokyo

(51) 国際特許分類7:

C07F 15/00, 19/00,

特願2001-64205

2001年3月8日 (08.03.2001)

C09K 11/06, H05B 33/14

特願2001-128928

2001年4月26日(26.04.2001)

1) JP

(21) 国際出願番号:

PCT/JP01/10487

(71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): キヤノ

(22) 国際出願日:

2001年11月30日(30.11.2001)

2001)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ: 特願 2000-364650

2000年11月30日(30.11.2000) 月

(72) 発明者; および

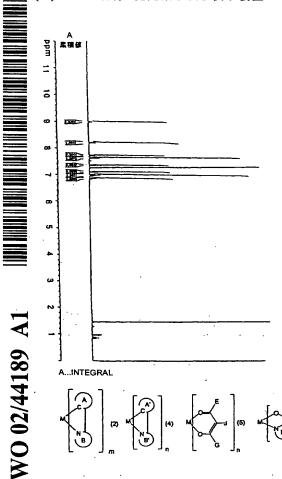
(JP).

(75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 鎌谷 淳 (KAMATANI, Jun) [JP/JP]; 〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合丘3-26-4 Kanagawa (JP). 岡田伸二郎 (OKADA, Shinjiro) [JP/JP]; 〒259-1141 神奈川県伊勢原市上粕屋2639-3 Kanagawa (JP). 坪山明(TSUBOYAMA, Akira) [JP/JP]; 〒229-0011 神奈川

/続葉有/

(54) Title: LUMINESCENT ELEMENT AND DISPLAY

(54) 発明の名称: 発光素子及び表示装置



(57) Abstract: A luminescent element characterized by having a layer containing a metal coordination compound which has a partial structure ML<sub>m</sub> represented by the following general formula (2) and which as a whole is preferably represented by the following formula (3).  $ML_mL'_n$  (3) [In the formula, M represents a metal atom selected among iridium, platinum, rhodium, and palladium, and represent bidentate ligands different from each other, m is 1, 2, or 3 and n is 0, 1, or 2, provided that m+n is 2 or 3; the partial structure ML<sub>m</sub> is represented by the following general formula (2) (wherein B represents an isoquinolyl group bonded to the metal M through the "N" and cyclic group A, which is bonded to the 1-position carbon atom of the isoquinolyl group, is bonded to the metal M through the "C"); and the partial structure ML'n is represented by the following general formula (4), (5), or (6).] The luminescent element luminesces at a high efficiency, retains a high luminance over long, and is suitable for red luminescence. (2) (4) (5) (6)

BEST AVAILABLE COPY

県相模原市大野台6-5-4-104 Kanagawa (JP). 滝口隆雄 (TAKIGUCHI, Takao) [JP/JP]; 〒157-0064 東京都世田谷区給田1-10-2 Tokyo (JP). 三浦聖志 (MIURA, Seishi) [JP/JP]; 〒229-0015 神奈川県相模原市下溝327-16 Kanagawa (JP). 野口幸治 (NOGUCHI, Koji) [JP/JP]; 〒228-0814 神奈川県相模原市南台5-10-19 Kanagawa (JP). 森山孝志 (MORIYAMA, Takashi) [JP/JP]; 〒215-0005 神奈川県川崎市麻生区千代ヶ丘4-2-31-B-202 Kanagawa (JP). 井川悟史 (IGAWA, Satoshi) [JP/JP]; 〒251-0044 神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-24 Kanagawa (JP). 古郡 学 (FURUGORI, Manabu) [JP/JP]; 〒243-0004 神奈川県厚木市水引2-6-29 キヤノン寮 Kanagawa (JP).

- (74) 代理人: 弁理士 猿渡章雄(ENDO, Yukio); 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目7番7号 長谷川ビル4階 東晃 国際特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

/続葉有]

#### (57) 要約:

下記一般式 (2) で示される部分構造ML。を有し、好ましくは全体として下式 (3) で示される金属配位化合物を含む層を有することを特徴とする発光素子。

$$ML_L'$$
 (3)

[式中MはIr、Pt、RhまたはPdの金属原子であり、互いに異なる二座配位子を示す。mは1または2または3であり、nは0または1または2である。但し、m+nは2または3である。部分構造ML。は下記一般式(2)(但し、BはNで金属Mと結合したイソキノリル基を示し、その1-位の炭素原子に結合した環状基AはそのCで金属Mに結合する)で示され、部分構造ML、は下記一般式(4)、(5)または(6)で示される。高効率発光で、長い期間高輝度を保ち、赤色発光に適した発光素子が得られる。

$$\begin{bmatrix}
A \\
C \\
N \\
B
\end{bmatrix}$$
(2)
$$M
\begin{bmatrix}
A' \\
C \\
N \\
B'
\end{bmatrix}$$
(4)
$$M
\begin{bmatrix}
O \\
G \\
G
\end{bmatrix}$$
(5)
$$M
\begin{bmatrix}
N \\
B''
\end{bmatrix}$$
(6)

BERTA DELI PEDI TI DI BILITI DALITA TILAT EL PEDEL RELATA LERDI DELI BERTA DELLA FILIZZA DELLA TERRA

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

## 明細書

## 発光素子及び表示装置

# 5 [技術分野]

10

15

20

25

本発明は、平面光源や平面状ディスプレイ等に使用される有機発光素子 (有機エレクトロルミネッセンス素子、あるいは有機EL素子とも言う)及びそれに用いる発光材料に関する。特に、新規の金属配位化合物とそれを用いた発光素子に関するものであり、さらに詳しくは、特定の構造の金属配位化合物を発光材料として用いることで、発光効率が高く、経時変化が少ない発光素子に関するものである。

## [背景技術]

有機発光素子は、古くはアントラセン蒸着膜に電圧を印加して発光させた例 (Thin Solid Films, 94(1982) 171) 等がある。しかし近年、無機発光素子に比べて大面積化が容易であることや、各種新材料の開発によって所望の発色が得られることや、また低電圧で駆動可能であるなどの利点により、さらに高速応答性や高効率の発光素子として、材料開発を含めて、デバイス化のための応用研究が精力的に行われている。

例えば、Macromol. Symp. 125, 1~48 (1997) に詳述されているように、一般に有機EL素子は透明基板上に形成された、上下2層の電極と、この間に発光層を含む有機物層が形成された構成を持つ。

発光層には、電子輸送性と発光特性を有するアルミキノリノール錯体 (代表例としては、以下に示すAlq3) などが用いられる。またホール輸送層には、例えばトリフェニルジアミン誘導体 (代表例としては以下に示すα-NPD) など、電子供与性を有する材料が用いられる。

10

15

20

これらの素子は電気的整流性を示し、電極間に電界を印加すると、陰極から電子が発光層に注入され、陽極からはホールが注入される。

注入されたホールと電子は、発光層内で再結合して励起子を生じ、これが基底状態に遷移する時発光する。

この過程で、励起状態には励起1重項状態と3重項状態があり、前者から基底状態への遷移は蛍光と呼ばれ、後者からの遷移は燐光と呼ばれており、これらの状態にある物質を、それぞれ1重項励起子、3重項励起子と呼ぶ。

これまで検討されてきた有機発光素子は、その多くが1重項励起子から基底状態に遷移するときの蛍光が利用されている。一方最近、三重項 励起子を経由した燐光発光を利用する素子の検討がなされている。

発表されている代表的な文献は、

文献1: Improved energy transfer in electrophosphorescent device (D. F. O'Brien他, Applied Physics Letters Vol 74. No3 p422 (1999))、

文献2:Very high-efficiency green organic light-emitting devices basd on electrophosphorescence (M. A. Baldo他, Applied Physics Letters Vol 75, No1 p4 (1999)) である。

これらの文献では、電極間に挟持された有機層を4層積層する構成が 主に用いられ、用いている材料は、以下に示す構造を有するキャリア輸 送材料と燐光発光性材料である。

25 各材料の略称は以下の通りである。

A1q3:アルミニウムーキノリノール錯体

10

 $\alpha-NPD:N4$ , N4'-Di-naphthalene-1-yl-N4, N4'-diphenyl-biphenyl-4, 4'-diamine

CBP: 4, 4'-N, N'-dicarbazole-biphen
y l

BCP: 2, 9-d imethyl-4, 7-d iphenyl-1, 10-phenanthroline

PtOEP: 白金ーオクタエチルポルフィリン錯体

Ir (ppy)<sub>3</sub>: イリジウムーフェニルピリミジン錯体

Alq3

CBP

BCP



Ir(ppy)3

文献 1 、 2 ともに、高効率が得られた素子には、ホール輸送層に  $\alpha$  -

10

15

20

NPD、電子輸送層にAlq3、励起子拡散防止層にBCP、発光層に CBPをホスト材料として、これに燐光発光性材料であるPtOEPま たは Ir(ppy)<sub>3</sub>を6%程度の濃度で分散混入した材料が用いられている。

現在燐光性発光材料が特に注目される理由は、以下の理由で原理的に高発光効率が期待できるからである。すなわち、キャリア再結合により生成される励起子は1重項励起子と3重項励起子からなり、その確率は1:3である。これまでの有機EL素子は、蛍光発光を利用していたが、原理的にその発光収率は生成された励起子数に対して、25%でありこれが上限であった。しかし3重項励起子から発生する燐光を用いれば、原理的に少なくとも3倍の収率が期待され、さらにエネルギー的に高い1重項から3重項への項間交差による転移を考え合わせると、原理的に

しかし上記燐光発光を用いた有機発光素子は、一般に蛍光発光型の素子と同様に、発光効率の劣化と素子安定性に関してさらなる改良が求められている。

この劣化原因の詳細は不明であるが、本発明者らは燐光発光のメカニズムを踏まえて以下のように考えている。

有機発光層が、キャリア輸送性のホスト材料と燐光発光性のゲストからなる場合、3重項励起子から燐光発光にいたる主な過程は、以下のいくつかの過程からなる。

1. 発光層内での電子・ホールの輸送

は4倍の100%の発光収率が期待できる。

- 2. ホストの励起子生成
- 3. ホスト分子間の励起エネルギー伝達
- 4. ホストからゲストへの励起エネルギー移動
- 5. ゲストの3重項励起子生成
  - 6. ゲストの3重項励起子から基底状態遷移と燐光発光

10

20

25

それぞれの過程における所望のエネルギー移動や発光は、さまざまな エネルギー失活過程との競争反応である。

有機発光素子の発光効率を高めるためには、発光中心材料そのものの 発光量子収率を大きくすることは言うまでもない。

特に燐光発光物質に於いては、一般に前記3重項励起子の寿命が1重項励起子の寿命より3桁以上長いことに由来するものと考えられる。つまりエネルギーの高い励起状態に保持される時間が長いために、周辺物質との反応や、励起子同士での多量体形成などによって、失活過程が起こる確立が多くなり、ひいては物質の変化をきたし、寿命劣化につながり易いと考えられる。

また、フルカラー表示素子形成のための利用を考えるとき、できるだけ純粋な三原色である青、緑および赤の発光色を与える発光材料が望まれるところ、従来は純粋な赤の発光色を与える発光材料が乏しかったために良好なフルカラー表示素子の実現が制約されていた。

# 15 [発明の開示]

従って、本発明の主要な目的は、りん光発光素子に用いる発光材料として、高効率発光でかつ、安定性の高い化合物を提供することを目的とする。特に上記エネルギー励起状態での寿命が長いために、エネルギー失括が起きにくく、かつ化学的にも安定で素子寿命を長くすることが可能な発光材料化合物を提供することを目的とする。更には本発明は、フルカラー表示素子形成に適した、純粋な赤色が出せる、赤発光材料化合物を提供することを目的とする。

包括的に、本発明は、燐光発光材料を用いて、発光効率が高く、長い期間高輝度を保ち、かつ赤色発光が可能な発光材料を得ること、及びそれを用いた発光素子及び表示装置を提供することを主要な目的とする。

本発明では金属錯体を発光材料として用いる。また特にイリジウムを

10

15

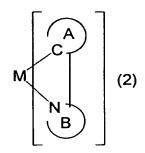
20

中心金属とし、かつイソキノリル基を配位子として持った新規な発光性 の金属錯体化合物を用いる。

より具体的には、本発明においては、下記一般式(1)で示される部分構造を少なくとも1つ有することを特徴とする金属配位化合物であって、

$$ML$$
 (1)

ここで部分構造MLは下式一般式(2)で表され、



式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、NとCは、窒素および炭素原子であり、Aは炭素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり、Bはそれぞれ窒素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよいイソキノリル基(該イソキノリル基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)であり、前記環状基Aは前記イソキノリル基の1-位に共有結合していることを特徴としている金属配位化合物を発光材料として用いることである。

より好ましくは全体として、下記一般式(3)で示されることを特徴とする金属配位化合物であって、

$$ML_{L}'$$
 (3)

式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、LおよびL'はIないに異なる二座配位子を示し、mはIまたはIまたはI3であり、IはI1またはI2である。ただし、I2またはI3である。部

. 5

10

15

分構造ML'。は下記一般式(4)または(5)または(6)で示されることを特徴とする金属配位化合物を発光材料として用いる。

$$\begin{bmatrix}
A' \\
C \\
C
\end{bmatrix}$$
(4)
$$\begin{bmatrix}
A' \\
C \\
G
\end{bmatrix}$$
(5)
$$\begin{bmatrix}
A' \\
C \\
B''
\end{bmatrix}$$
(6)

また本発明では、全体として下記一般式(7)で示される金属配位化 合物をも発光材料として用いる。

$$\begin{bmatrix} B \\ N \\ C \\ A \end{bmatrix}_{m'} CI \begin{bmatrix} A \\ C \\ N \\ B \end{bmatrix}_{m'} (7)$$

さらに本発明によれば、上記した新規金属配位化合物を有機発光材料 として用いた高性能な有機発光素子ならびに表示装置が提供される。

本発明の好ましい態様は以下の通りである。

前記一般式 (3) においてnが0である金属配位化合物。

前記環状基Aおよび環状基A'が、それぞれ独立して置換基を有していてもよい芳香環基であるフェニル基、ナフチル基、チエニル基、フルオレニル基、チアナフチル基、アセナフチル基、アントラニル基、フェナンスレニル基、ピレニル基、またはカルバソリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

10

15

20

25

前記環状基AおよびA'である芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基、2ーナフチル基、2ーチエニル基、2ーフルオレニル基、2ーチアナフチル基、2ーアントラニル基、2ーフェナンスレニル基、2ーピレニル基、または 3ーカルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

前記芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基である金属配 位化合物。

置換基を有していてもよいフェニル基の環状基Bに結合している位置 (1-位)の隣(6-位)が水素原子である金属配位化合物。

前記環状基 B'および環状基 B'が、それぞれ独立して置換基を有していてもよい芳香環基であるイソキノリル基、キノリル基、2ーアザアントラニル基、フェナンスリジニル基、ピリジル基、オキサゾリル基、チアゾリル基、ベンゾオキサゾリル基、またはベンゾチアゾリル基(該芳香環基を構成する C H 基の 1 つまたは 2 つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

前記環状基B'およびB''である芳香環基が、置換基を有していてもよいイソキノリル基またはピリジル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

前記一般式(4)において環状基B, が置換基を有してもよいイソキノリル基である金属配位化合物。

前記環状基A、A'、B、B' および B''が、それぞれ無置換であるか、あるいはハロゲン原子もしくは、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基{該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、-CH=CH-、-

10

15

20

25

C≡Cーで置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい2価の芳香環基(該置換基はハロゲン原子、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示す。)で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。}から選ばれる置換基を有する金属配位化合物。

前記一般式(7)において環状基Aが、置換基を有していてもよい芳香環基であるフェニル基、ナフチル基、チエニル基、フルオレニル基、チアナフチル基、アセナフチル基、アントラニル基、フェナンスレニル基、ピレニル基、またはカルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

前記芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基、2ーナフチル基、2ーチエニル基、2ーフルオレニル基、2ーチアナフチル基、2ーアントラニル基、2ーフェナンスレニル基、2ーピレニル基、または3ーカルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれる金属配位化合物。

芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基である金属配位化 合物。

置換基を有していてもよいフェニル基の環状基Bに結合している位置(1-位)の隣(6-位)が水素原子である金属配位化合物。

前記一般式 (7) において環状基AおよびBが、それぞれ無置換であるか、あるいはハロゲン原子、もしくは炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基{該アルキル基中の1つもしくは隣接しない

2つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一C〇一、一CH=CHー、一C≡C一で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい 2 価の芳香環基(該置換基はハロゲン原子、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示す。)で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。}から選ばれる置換基を有する金属配位化合物。

10 前記一般式(1)において、Mがイリジウムである金属配位化合物。 前記一般式(7)において、Mがイリジウムである金属配位化合物。

前記一般式(2)で示される部分構造MLを持つ金属配位化合物であって、下記一般式(8)で示される金属配位化合物。

Ir [Rp-Ph-IsoQ-R q], (8)

15 [前記 I r はイリジウム、部分構造 P h - Iso Q は(1-フェニルイソキノリル)基、置換基 R 及び置換基 R´は水素またはフッ素、または直鎖または分岐のアルキル基(該アルキル基は C<sub>n</sub>H<sub>2n+1</sub>-で表され、HはFに、隣接しないメチレン基は酸素に置き換わっても良く、n は 1 から 2 0 の整数を表す)を示し、p 及び q はそれぞれ前記フェニル基及び前記イソキノリル基に結合した置換基 R および R′の数を示し、1 以上の整数を示し、前記 Ph の 2 - 位の炭素原子と Iso Q の窒素原子が Ir と配位結合をしている。]

前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-アルキルフェニル)基であり、置換基 R´が水素である金属配位化合物。

25 前記一般式 (8) において置換基 R が水素であり、R´q が 1 個の 4-または 5-位に置換したフルオロ基またはトリフルオロメチル基である

10

15

20

25

# 金属配位化合物。

前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (5-フルオロフェニル) 基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基である金属配位化合物。

前記一般式 (8) において部分構造  $Rp-Ph-が(4-フルオロフェニル)基であり、<math>R^{\prime}$  q が 1 個の水素、または 4- もしくは 5- 位に置換したフルオロ基または N トリフルオロメチル基である金属配位化合物。

前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が  $(3,5-ジフルオロフェニル) 基であり、<math>R^{\prime}$  q が 1 個の水素、または 4 -もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基である金属配位化合物。

前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (3, 4,5-トリフルオロフェニル) 基であり、R q が 1 個の水素、または 4 -もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基である金属配位化合物。

前記一般式 (8) において部分構造  $Rp-Ph-が (4-トリフルオロメ チルフェニル) 基であり、<math>R^{\prime}$  qが 1 個の水素、または 4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基である金属配位 化合物。

前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (5-P) フルオロメ チルフェニル)基であり、 $R^q$  q が 1 個の水素、または 4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくは P フルオロメチル基である金属配位 化合物。

10

20

25

である金属配位化合物。

前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-Pルキルフェニル)基(該アルキル基は炭素数 1 から 6 までの直鎖状または分岐状のアルキル基を表す)であり、R q は水素である金属配位化合物。

前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-Pルコキシフェニル)基(該アルコキシ基は炭素数 1 から 6 までの直鎖状または分岐状アルコキシ基を表す)であり、R q は水素である金属配位化合物。

前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4ートリフルオロメ チルオキシフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしく は 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基である金 属配位化合物。

前記一般式(3)で表される金属配位化合物であって、下記一般式(9)で示される金属配位化合物。

$$IrL_{n}L_{n}$$
 (9)

15 ここで Ir はイリジウムを表す。

前記一般式(9)で示される金属配位化合物であって、

前記  $L_n$  は一般式  $[4-アルキルフェニルイソキノリン]<sub>2</sub> (ここで前記アルキル基は <math>C_nH_{2n+1}$  で表され、n は 1 から 8 までの整数を示す。)で表され、前記  $L_n$  は、[1-フェニルイソキノリン]である金属配位化合物。

前記一般式(9)で示される金属配位化合物であって、

前記 L。は一般式[1-フェニルイソキノリン]2で表され、

前記 L´ , は、[4-アルキルフェニルイソキノリン] (ここでアルキル基の炭素数は1から8) である金属配位化合物。

前記一般式(1)において、置換基を有してもよいイソキノリン基を 構成するCH基の1つまたは2つが窒素原子に置き換えられている金属 配位化合物。

15

20.

25

前記一般式 (7) において、置換基を有してもよいイソキノリン基を 構成する C H 基の 1 つまたは 2 つが窒素原子に置き換えられている金属 配位化合物。

基体上に設けられた一対の電極間に、少なくとも一種の有機化合物を含む発光部を備える有機発光素子であって、前記有機化合物が前記請求項1に記載の一般式(1)で示される部分構造を少なくとも1つ有する金属配位化合物を含む有機発光素子。

前記有機化合物が下記一般式(3)で示される構造を有する金属配位 化合物を含む有機発光素子。

10 前記有機化合物が下記一般式(8)で示される構造を有する金属配位 化合物を含む有機発光素子。

> 前記有機化合物が下記一般式(9)で示される構造を有する金属配位 化合物を含む有機発光素子。

前記電極間に電圧を印加することにより燐光を発光する有機発光素子。前記燐光の発光色が赤である有機発光素子。

前記の有機発光素子と、前記有機発光素子に電気信号を供給する手段とを具備した画像表示装置。

# [図面の簡単な説明]

図1は本発明の発光素子の一例を示す図である。

図2は実施例8の単純マトリクス型有機EL素子を示す図である。

図3は実施例8の駆動信号を示す図である。

図4はEL素子と駆動手段を備えたパネルの構成の一例を模式的に示した図である。

図5は実施例27の素子構成の電圧-効率-輝度特性を示す図である。

図6は実施例27の素子構成の外部量子効率特性を示す図である。

図7は1-フェニルイソキノリンの重クロロホルム溶液の H-NMR ス

25

ペクトル。

図9は1-(4-メチルフェニル)イソキノリンの重クロロホルム溶液の 'H-NMR スペクトル。

図10はテトラキス[1-(4-メチルフェニル)イソキノリン- $C^2$ , N] ( $\mu$  - ジクロロ) ジイリジウム (III) の重クロロホルム溶液の  $^1$ H-NMR スペクトル。

図11はビス[1-(4-メチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N](アセ 10 チルアセトナト)イリジウム(III)の重クロロホルム溶液の  $^1$ H-NMR スペ クトル。

図12はトリス[1-(4-メチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N]イリジウム(III)の重クロロホルム溶液の $^1$ H-NMR スペクトル。

図13はビス[1-(4-n-t) チルフェニル) イソキノリン $-C^2$ , N] (アセチルアセトナト) イリジウム(III) の重クロロホルム溶液の  $^{1}$ H -NMR スペクトル。

## [発明を実施するための最良の形態]

本発明により形成される有機発光素子の基本的な素子構成の例を図1 (a)、(b)および(c)に示す。

20 図1に示すように、一般に有機EL素子は透明基板15上に、50~ 200nmの膜厚を持つ透明電極14と、複数層の有機膜層と、及びこれを挟持するように金属電極11が形成される。

> 図1 (a) には、有機層が発光層12とホール輸送層13からなる例を示す。透明電極14としては、仕事関数が大きなITOなどが用いられ、透明電極14からホール輸送層13へホール注入しやすくしている。 金属電極11には、アルミニウム、マグネシウムあるいはそれらを用い

10

15

20

25

た合金など、仕事関数の小さな金属材料を用い、有機層への電子注入をしたすくしている。

発光層12には、本発明の化合物を用いているが、ホール輸送層13には、例えばトリフェニルジアミン誘導体、代表例としては前記α-NPDなど、電子供与性を有する材料も適宜用いることができる。

以上の構成した素子は電気的整流性を示し、金属電極11を陰極に、 透明電極14を陽極になるように電界を印加すると、金属電極11から 電子が発光層12に注入され、透明電極15からはホールが注入される。

注入されたホールと電子は、発光層12内で再結合して励起子が生じ、 発光する。この時ホール輸送層13は電子のブロッキング層の役割を果 たし、発光層12とホール輸送層13の間の界面における再結合効率が 上がり、発光効率が上がる。

さらに図1(b)の素子では、図1(a)の金属電極11と発光層12の間に、電子輸送層16が設けられている。発光機能と、電子及びホール輸送機能とを分離して、より効果的なキャリアブロッキング構成にすることで、発光効率を上げている。電子輸送層16としては、例えばオキサジアゾール誘導体などを用いることができる。

また図1 (c) に示すように、陽極である透明電極14側から、ホール輸送層13、発光層12、励起子拡散防止層17、電子輸送層16、及び金属電極11からなる4層構成とすることも望ましい形態である。

本発明に用いる発光材料としては、前記一般式(1)から(9)で示される金属配位化合物が最適で、600nm 付近の赤色領域で高効率に発光し、長い期間高輝度を保ち、通電劣化が小さいことが見い出された。

本発明に用いた金属配位化合物は、りん光性発光をするものであり、 最低励起状態が、3重項状態のMLCT\* (Metal-to-Lig and charge transfer) 励起状態あるいはπ-π\*

10

25

励起状態であると考えられる。これらの状態から基底状態に遷移すると きにりん光発光が生じる。

#### 《測定方法》

以下に、本発明の発光材料を特徴付けるものとして本明細書に記載する特性ならびに物性値の測定方法を説明する。

## (1) 燐光と蛍光の判定方法

燐光の判定方法は、酸素失括するかどうかで判定した。化合物をクロロホルムに溶解し、酸素置換した溶液と窒素置換した溶液に光照射して、フォトルミネッセンスを比較すると、酸素置換した溶液は化合物に由来する発光がほとんど見られないのに対し、窒素置換した溶液はフォトルミネッセンスが確認できることでりん光と判定できる。これに対し、蛍光の場合、酸素置換した溶液中でも化合物に由来する発光は消失しない。以下本発明の化合物については、特別の断りがない時は全てこの方法で燐光であることを確認している。

- 15 (2) りん光収率(すなわち標準試料の量子収率Φ (ST) に対する目的試料の量子収率Φ (sample)の比、即ち相対量子収率)は、次式で求められる。
  - $\Phi$  (sample)  $/\Phi$  (st) =[Sem (sample) / Iabs (sample) ]/[Sem (st) / Iabs (st) ]
- 20 Iabs (st) :標準試料の励起する波長での吸収係数

Sem (st) :同じ波長で励起した時の発光スペクトル面積強度

Iabs (sample) : 目的化合物の励起する波長での吸収係数

Sem (sample) :同じ波長で励起した時の発光スペクトル面積強度

ここで言うりん光量子収率は  $Ir(ppy)_3$  の $\Phi$ を標準の1とした相対評価で示している。

(3) 燐光寿命の測定方法は以下の通りである。

10

15

20

25

先ず化合物をクロロホルムに溶かし、石英基板上に約 0.1μ mの厚みでスピンコートした。これを浜松ホトニクス社製の発光寿命測定装置を用い、室温で励起波長337nmの窒素レーザー光をパルス照射した。 励起パルスが終わった後の発光強度の減衰時間を測定した。

初期の発光強度を I。したとき、 t 秒後の発光強度 I は、発光寿命 τ を用いて以下の式で定義される。

# $I = I_0 e x p (-t/\tau)$

本発明の発光材料のりん光発光量子収率は、0.15から0.9と高い値が得られ、りん光寿命は 0.1~10 μ s e c と短寿命であった。りん光寿命が短いことは、E L 素子にしたときにエネルギー失括が少なく、発光効率を高めるための1つの条件となる。すなわち、りん光寿命が長いと、発光待ち状態の3重項励起状態の分子が多くなるために、失活過程が発生しやすくなり、特に高電流密度時に発光効率が低下すると言う問題があった。本発明の材料は、燐光寿命としては比較的短いために高いりん光発光量子収率を有し、E L 素子の発光材料に適した材料である。本発明者らはこの原因をさらに次のように考えている。

一般に発光物質の一重項基底状態から励起三重項状態への遷移に伴う 光吸収スペクトルのピークと、発光スペクトルの最大波長ピークの差は ストークスシフトと呼ばれている。このピーク波長の違いが起きる原因 は、三重項励起子が他の基底状態のエネルギー準位の影響を受けて、そ のエネルギー状態を変化させることによるものと考えている。このエネ ルギー状態の変化量が前記ストークスシフト量に関係しており、このシフト量が大きいと、一般に最大発光強度が低下し、また発光スペクトルが広がり発光色の単色性が悪くなる。この影響は特に前記一重項から三重項への遷移幅が短い赤色領域において大きく現れる。

5

例えば本発明のイソキノリン系イリジウム錯体であるトリス(1-7ェニルイソキノリンー $C^2$ , N)イリジウム(III) (後記表 1 から 2 3 中の例示化合物 N o. 1、略号: $Ir(PiQ)_3$ )、トリス[1-(2-f)]エニル)イソキノリンー $C^3$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 N o. 2 4、略号: $Ir(tiQ)_3$ )、トリス[1-(9,9-i)]メチルフルオレンー2 ーイル) イソキノリンー $C^3$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 N o. 2 8、略号: $Ir(F1iQ)_3$ ) のストークスシフト量はそれぞれ 37nm、55nm、33nm であり、相対量子収率はそれぞれ 0.66、0.43、0.48 であった。

10

15

一方、非イソキノリン系の赤発光材料であるトリス[1-(チアナフテン-2-(1))ピリジンー $C^3$ , N]イリジウム(III) (略号:  $Ir(BtPy)_3$ )、トリス[1-(チアナフテン-2-(1))-(4-(1)) (略号:  $Ir(BtPy)_3$ ) のストークスシフンー $C^3$ , N]イリジウム(III) (略号:  $Ir(Bt_5CF_3Py)_3$ ) のストークスシフト量はそれぞれ 132nm、85nm であり、本願化合物に比べると著しくストークスシフトが長くなっており、相対量子収率は 0.29、0.12 で本発明化合物に比べて小さい値である。

20

25

これら非イソキノリン系の赤発光材料も、従来にはない高い量子収率を示すものの、本発明のイソキノリン系イリジウム錯体のようにストークスシフトが少ないものは、更に量子収率が高い傾向にある。ストークスシフトが小さくなることはエネルギー幅射の速度定数を大きくして、 燐光寿命を小さくでき、そのゆえに発光収率が大きくなると考えられる。 以上からイソキノリン骨格の導入によりストークスシフトを小さくでき、 発光量子収率を高め、さらに単色性を良くできると考えている。

10

15

## ≪化合物の命名および構造表現≫

ここで本発明の金属配位化合物の構造の明示のしかたおよびその基礎となる原子の位置番号の付け方を  $Ir(PiQ)_3$ (例示化合物 No. 1)を例にして説明しておく。この金属配位化合物の配位子1-フェニルイソキノリンの位置番号は次に示すように付与される。

したがって、3個の1-フェニルイソキノリンがフェニル基の<math>2-位の炭素原子とイソキノリン環の窒素原子でイリジウムに配位している  $Ir(PiQ)_3$  はトリス $(1-フェニルイソキノリン-C^2, N)$ イリジウム(III) と命名される。

上述したように、Ir(PiQ)3 は高い量子収率を示すが、この Ir(PiQ)3 に置換基を付与したものが溶液中ないし固相膜中で更に高い量子収率を示すことが判明した。例えば、配位子の基本骨格の1ーフェニルイソキノリンのフェニル基の 4ー位にアルキル置換基を付与したトリス[1ー(4ーアルキルフェニル)イソキノリンーC², N]イリジウム(III)は、相対量子収率(トルエン希薄溶液中の Ir(ppy)3の量子収率を 1 とした量子収率)が高くなる。これらはアルキル置換基の種類に応じて次のような相対量子収率を持つことが分かった。置換基の炭素鎖が4以上で顕著な量子収率の増加を示している。

- 20 (1)  $-CH_3 = 0.65$ ;
  - (2)  $-C(CH_3)_3=0.7$
  - (3)  $-C_4H_9=0.82$

- $(4) -C_6H_{13}=0.88$
- (5)  $-C_8H_{17}=0.75$

このことから、前記骨格に置換基を導入して分子間相互作用を弱めることにより、発光量子収率の増加に効果があることがわかる。

5 他方、素子作成にタングステンボートを用いた抵抗加熱蒸着を用いる場合、分子量 1000 未満の材料が、低電流・高レートで蒸着できるなど素子作成のプロセス上適している。

上記アルキル鎖を付加したイリジウム錯体は、素子形成時の蒸着温度 が高くなる傾向がある。これらアルキル置換された Ir(PiQ)。の全体の 分子量は、アルキル置換基の種類に応じて次のとおりになる。

- (1)  $-CH_3 = 847$ ;
- (2)  $-C(CH_3)_3 = 973$
- $(3) -C_4H_9 = 973$
- $(4) -C_6H_{13} = 1058$
- 15 (5)  $-C_8H_{17}$  =1141

10

これら材料の 10<sup>-4</sup>Pa でのタングステンボートを用いた抵抗加熱蒸着時 の必要電流量を測定したところ、以下の通りとなった。

- (1)  $-CH_3 = 587 \times 7$ ;
- (2)  $-C(CH_2)_3 = 61 T V^2$ ;
- 20 (3)  $-C_{\lambda}H_{0} = 6.1 \, \text{P} \, \text{V}^{\alpha} \, \text{P};$ 
  - (4)  $-C_6H_{13} = 64 T V^2$ ;
  - (5)  $-C_8H_{17} = 677 \sim 7$ ;

またフッ素原子やポリフッ素化アルキル基などで置換基した金属配位 化合物の場合には、フッ素原子の影響で分子間相互作用を更に弱めるこ とができ、蒸着温度を下げる事ができるために、蒸着適性を損なわずに 分子量の大きい金属配位化合物を発光材料に用いることができる点で優

10

15

20

25

れている。例えば1個のメチル基をトリフルオロメチル基に換えると、 分子量は増加するが蒸着温度をおよそ1度以上低温度化することができ る。

また、前記一般式(1)または(9)で示される型の構造を有する金属配位化合物にイソキノリン骨格を導入することにより発光波長を調節することができるが、特にイソキノリン骨格が1一位で環状基Aに結合している本発明の金属配位化合物の場合には、予想に以上に発光波長の長波長化(つまり赤色化)に有効であることがわかった。

一方、公知化合物であるテトラキス(2-フェニルピリジン-C², N)(μ-ジクロロ)ジイリジウム(III)などでは発光スペクトルがほとんど観察されないが、前記一般式(7)で示されるイソキノリン骨格を導入した金属配位化合物では強い発光スペクトルが観察された。この事から、前記一般式(7)で示される金属配位化合物もEL素子の発光材料として適していることがわかる。

また、本発明の金属配位化合物に電子吸引性の置換基や電子供与性の 置換基を導入することにより発光波長の調節ができる。また、アルコキ シ基やポリフッ素化アルキル基などの電子的効果が大きくて、且つ立体 的に嵩高い置換基の導入により、発光波長の調節と分子間相互作用に由 来する濃度消光の抑制が同時に可能となる。また、アルキル基などの電 子的効果が小さいが立体的に嵩高い置換基の導入は、発光波長を変化さ せないで濃度消光を抑制できると考えられる。

また、前記一般式(1)または(9)で示される金属配位化合物のイソキノリン環を構成するCH基の1つまたは2つを窒素原子に置き換える事により、置換基を導入することなしに発光波長を調節することもできる。

以上のような観点からも、本発明の金属配位化合物は有機EL素子の

10

15

20

25

発光材料として適している。

また、有機EL素子の構成有機材料には、材料の熱的安定性が重要である。それは、素子作成時の生産安定性や、通電動作時の素子安定性に強く影響する。有機EL素子を作成するとき、作成プロセスとしては、真空蒸着やスピンコート、インクジェットによるプロセスが考えられる。特に、真空蒸着法では、抵抗加熱により有機材料を昇華あるいは蒸発によって飛ばして基板に堆積させるため、高温にさらされる時間がある。そのため、構成材料の熱的安定性は非常に重要である。

また、素子に通電して発光させる際においても、高電流が流れるため、 局所的にジュール熱が発生する。構成材料の熱的安定性が低い場合、こ の熱による温度上昇による素子劣化の因子になりうる。一例を示すと、 上記 Ir(PiQ)₃と〔ビス(1ーフェニルイソキノリンーC²,N)(アセチルア セトナト)イリジウム(III)〕(例示化合物 No. 4 2、略号: Ir(PiQ)₂acac)を比較した場合、窒素フロー下で分解温度を測定すると、 380℃と 340℃と分解温度に差がある。Ir(PiQ)₂acac を蒸着すると、あ る蒸着条件では蒸着室内での分解が確認されるが、同じ条件で Ir(PiQ)₃は分解が確認されない。種々の蒸着条件下で Ir(PiQ)₂acac の 分解の度合いを測定すると、蒸着スピードや蒸着時の真空度などの上限 が低く、言い換えれば、大量生産の際の生産マージンが小さい。従って、 材料の熱的安定性は生産性に大きな影響を与える。

また、分解のない条件で、真空蒸着によりEL素子を作成し、通電して上記 2 つの発光材料を用いた素子の輝度劣化の比較実験を行った。例えば初期輝度  $5000 \, \mathrm{cd/m2}$  の輝度で発光する条件で通電を開始すると、その輝度半減時間は、 $\mathrm{Ir}(\mathrm{PiQ})_3$  と  $\mathrm{Ir}(\mathrm{PiQ})_2 \, \mathrm{acac}$  に対し 3:1 程度であり、 $\mathrm{Ir}(\mathrm{PiQ})_3$  の方が輝度半減時間が長く通電に対して安定している。このように、構成材料の熱的安定性が、生産安定性・素子の安定性を決定して

10

15

20

25

いる因子であり、熱的安定性が高い材料を用いることが望ましい。

また、本発明の配位子には、本発明の特徴であるイソキノリン骨格が 導入されたことによって、分子構造がより剛直になり熱失活の原因とな る励起会合体形成の抑制が可能になって、分子運動によるエネルギー失 活が抑制されると考えられる。また、消光過程が減少したりすることに より素子特性が向上したものと考えられる。実際に、通電試験において も本発明の発光材料を用いると高い安定性をしめし、特に前記のイソキ ノリン骨格が1-位で環状基Aに結合している本発明の配位化合物は、 すぐれた安定性を示した。

すなわち一般式 (3) においてn=0であるトリス (1-置換イソキノリル) 金属配位化合物は、一般に熱的安定性に優れるので好ましい。

従って、これまで発光波長が長波長(赤)で、且つ高い発光効率を示す化学的安定性の高い発光材料はなかったが、本発明の発光材料で実現することができる。

図1 (a)、(b) および(c) に示すような層構成を有する本発明の高効率な発光素子は、省エネルギーや高輝度が必要な製品に応用が可能である。応用例としては表示装置・照明装置やプリンターの光源、液晶表示装置のバックライトなどが考えられる。表示装置としては、省エネルギーや高視認性・軽量なフラットパネルディスプレイが可能となる。また、プリンターの光源としては、現在広く用いられているレーザビームプリンタのレーザー光源部を、本発明の発光素子に置き換えることができる。照明装置やバックライトに関しては、本発明による省エネルギー効果が期待できる。

ディスプレイへの応用では、アクティブマトリクス方式である薄膜トランジスタ (TFTと略す) 駆動回路を用いて駆動する方式が考えられる。以下、図4を参照して、本発明の素子において、アクティブマトリ

10

20

クス基板を用いた例について簡単に説明する。

図4は、EL素子と駆動手段を備えたパネルの構成の一例を模式的に示したものである。パネルには、走査信号ドライバー、情報信号ドライバー、電流供給源が配置され、それぞれゲート選択線、情報信号線、電流供給線に接続される。ゲート選択線と情報信号線の交点には表示画素電極が配置される。走査信号ドライバーは、ゲート選択線G1、G2、G3... Gnを順次選択し、これに同期して情報信号ドライバーから画像信号が印加され、画像が表示される。

TFTのスイッチング素子に特に限定はなく、単結晶シリコン基板や MIM素子、a-Si型等でも容易に応用することができる。

上記ITO電極の上に多層あるいは単層の有機EL層/陰極層を順次 積層し有機EL表示パネルを得ることができる。本発明の発光材料を発 光層に用いた表示パネルを駆動することにより、良好な画質で、長時間 表示にも安定な表示が可能になる。

### 15 《合成経路の簡単な説明》

本発明で用いられる前記一般式(1)で示される金属配位化合物の合成経路をイリジウム配位化合物を例として示す。

Ir(CH<sub>3</sub>COCHCOCH<sub>3</sub>)<sub>3</sub> Ir(L)<sub>3</sub> 
$$\Rightarrow$$
  $\forall$   $\forall$   $\forall$   $\forall$  Ir(L)<sub>3</sub>  $\forall$   $\forall$   $\forall$  Ir(L)<sub>3</sub>  $\forall$   $\forall$  Ir(L)<sub>2</sub>Cl]<sub>2</sub>  $\forall$  Ir(L)<sub>3</sub> Na<sub>3</sub>IrCl<sub>6</sub>.2H<sub>2</sub>O Ir(L)<sub>2</sub>Cl)<sub>2</sub>  $\forall$  Ir(L)<sub>2</sub>(CH<sub>3</sub>COCHCOCH<sub>3</sub>)

以下本発明に用いられる金属配位化合物の具体的な構造式を表1から

表 23 に示す。但し、これらは、代表例を例示しただけで、本発明は、これに限定されるものではない。表  $1 \sim$ 表 23 に使用している  $Ph \sim$  Iq10 は以下に示した、上記式 (3) (ならびにその部分構造を表わす式 (2)、および (4)  $\sim$  (6) 式) あるいは式 (7) 中の、部分構造を表している。また  $R_1 \sim R_{10}$  は上記 Ph から Iq10 中の置換基を示し、E、Gおよび J は、式 (5) 中の置換基を示している。

【表1】

【双	1.4			•											
				•			Α					В			
No	М	m	n	Α.	В	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
• 1	Īr	3	0	Ph	Iq2	H	Н	H	Н	Н	Н	Н	H	Н	Н
2	Îr	3	0	Ph	Iq2	Н		Н	Н	н	н	Ή	н	Н	н
3	Ir	3	0	Ph	Iq2	н	Н	<u></u>	Н	н	Н	Н	Н	Н	н
4	Îr	3	0	Ph	Iq2	н		Н	Η	I	$\Diamond$	H,	н	Н	н
5	Ir	3	0	Ph	Iq2	Н	CH3	Н	Н	Η	Н	CF3	H	Н	Н
6	Ir	3	0	Ph	Iq2	Н	Н	CH3	H	Н	CF3	Н	Н	Н	Н
7	Îr	3	0	Ph	Iq2	Н		Н	н	н	Н	н	н	Н	н
8	İr	3	0	Ph	Iq2	Н	Н		Н	Н	Н	Н	Н	н	н
9	Ir	3	0	Ph	Iq2	. Н	0-8	Н	Н	Н	н	н	Н	Н	н
10	Ir	3	0	Ph	Iq2	Н	Н		Н	н	Н	Н	н	н	н

【表2】

【衣	<u> </u>														
		-	_	Α	В		A					В			<u>.</u>
No	М	m	n	_^	D	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
11	ir	3	0	Ph	Iq2	Н	CF3	Н	Н	Н	Н	Н	Н	H	н
12	lr	3	0	Ph	Iq2	Н	Н	CF3	Ŧ	Н	Н	Н	Н	Н	н
13	Ir	3	0	Ph	Iq2	Н		H	Ξ	н	Н	Н	Н	н	н
14	İr	3	0	Ph	Iq2	Н	Н		Н	Н	Н	Н	Н	Н	н
15	lr	3	0	Ph	Iq2	н		Н	н	н	Н	Н	Н	Ĥ	н
16	Ir	3	0	Ph	Iq2	н		н	Н	Н	н	Н	н	н	Н
17	lr	3	0	Ph	Iq2	Н	OCH3	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н
18	ir	3	0	Ph	Iq2	Н		н	н	Н		Ĥ	Н	Н	н

No.   No.	r	,			_		_	_	_	<del></del>	_	_	_		_		_	_			_	_		_				_	_								_					_			_
			88	Ľ	Ŀ	Ľ	-	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Н	Н	Ŧ	Н	Ξ	Ξ	Ξ	Η	Ξ	Ξ	Ŧ	•	1	Ŀ	-	1	1	,	١	ŀ	ı	ارا	-	١	•	ı	'	·	Ŀ	<u>'</u>
			8	ŀ	١	ŀ	١	1	ŀ	١	-	١	١		·	Ξ	Н	H	н	Н	Ξ	I	Н	Н	Н	Н	1	-	-	i	_	_	-		•	-	-	1	_	-	ı	•	ı	1	7
N		ш,	88	۱,	,		١	-	-	-	-	-		•	١	I	Н	I	Н	Ή	Ι	Ξ	Ξ	Н	Ξ	I	-	-	-	-	-	1		1	•	١	-	-	1		ī	ŀ	ı	1	╗
1	١		83	ı	ŀ	١	ŀ	-	1	-	-	٠	7	,	,	Ξ	Н	I	Н	Ξ	Ξ	I	Ξ	Н	Н	H	-	-	- 1	•	1	•	·	-	7	ı	-	-	ı		П	·	ī	ī	╗
1			F 10	Ξ	Ŧ	Ŧ	Ξ	Ξ	H	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Н	Ξ	H	Ŧ	Ŧ	Ξ	H	Н	Н	Ξ	I	H	Н	Ξ	Ξ	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	Ŧ	Н	I	Ξ	三	Ξ	王	I	킈
N   M   M   M   M   M   M   M   M   M			22	Ξ	Ξ	Ξ	I	Ξ	I	Ξ	Ŧ	Ξ	Н	Ξ	Ξ	Ή	Н	Η	Η	H	Ξ	Ξ	H	Н	н	Ŧ	I	I	Н	H	H	Ŧ	되	Ŧ	Ξ	Ξ	H	Н	x	Ŧ	듸	王	王	I	亅
N			82	Ŧ	I	Ξ	I	Ξ	I	Ξ	Ξ	Ξ	I	I	H	Ξ	Η	I	Н	Н	Ξ	Ξ	H	H	I	I	I	I	Н	H	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	H	Н	Ξ	I	크	I	三	I	킈
N   M   N   N   A   B   A   B   E   G   A   N   N   N   N   N   N   N   N   N	ı	8	8	Ξ	I	Ξ	I	Ξ	H	Ξ	Ξ	Ξ	Н	I	H	Н	Ŧ	Н	Н	Н	Ξ	Ξ	H	H	H	H	H	Н	Н	I	Ξ	H	딮	Ŧ	I	Ŧ	H	Н	H	Ξ	亅	Ξ		Ī	亅
N   M   N   N   A   B   A   B   E   G   A   N   N   N   N   N   N   N   N   N			82	Ξ	Ŧ	I	Ξ	I	Ξ	H	H	Ξ	Н	Ξ	Н	Н	Ξ	H	H	Н	I	H	I	H	I	Ξ	I	I	H	Ŧ	I		Ŧ	_	Ŧ	I	H	Ŧ	_ _	크	님			I	
N			<u> </u>	Ī	Ī	I	Ŧ	I	H	Ξ	×	I	Н	-	-	H	I	Ŧ	I	H	H	H	I	H	Ŧ	$\dashv$	Н	Н	Н	H	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	-	$\dashv$	Н	Н	Н	-	$\dashv$	$\dashv$	Н	$\dashv$	Н	$\dashv$
N	ł		<u> </u>	-	_	-	-	-			-	-		,	-	H	Ŧ	Ŧ	H	Н	H	F	I	H	Ŧ	$\dashv$	Н		Н	Щ		-	$\dashv$	-	$\dashv$			Н	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	$\exists$	$\frac{1}{1}$		-
M			⊢	-	-	-	-	-	-	_	-	-	<u> </u>	-	_	Н	Н	Н	Н		H	Н	Н	Н			Н		Н	-		-	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	-			À		$\dashv$		$\exists$	Н	$\exists$
M		Y.	├	-	-	-	-	-	-	-	-	$\vdash$	-	$ \cdot $	Η-	Н	Ŧ	Н	H		Н	Н	Н	Н	-		Щ	4		_				$\dashv$		+		H	Ĥ		$\dashv$	H	$\exists$	H	$\exists$
M	1		$\vdash$		-	_	<u> </u>	-	_	-	-	H	Н	-	-	Н		Н		Н	Н	Н	Н	Н	$\vdash$	$\dashv$	Н	4	Ĥ	_		$\exists$	$\exists$	4	$\exists$		H	Н	H	_	$\dashv$	H	-	Н	$\exists$
M	ł		<b>!</b> —	Ī	I	H	H	Ŧ	-	H	-		Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н	Н	$\vdash$	Н	Н	-	Н	Н	Н				$\dashv$	-	$\dashv$	_	Н	Н	Ĥ	4	$\dashv$		_	H	$\dashv$
M   M   N   A   B   A   B   E   G   J   R   R   R   R   R   R   R   R   R			<del> </del>	-	L			H	-	H	Ŀ	Н	Н	Н	Н	Н	Ш	Ц		Ш	Н	H	Ė	Н		$\dashv$	Н	_	Щ		┨	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	╣	_	H	Щ					$\dashv$	H	4
M		4	├	8	Ö	3	-	Н	-	_	Ľ	Ľ	H	Ė		1	Н	Ö	Ι	_	_	_	4	-	_	_	_	Ц	_		Ξ	<u>"</u>	-	_	4	_	_	I		-	-			Ц	4
M			┝	동	Н	Ю	<u> </u>	Ξ	H	Н	Н	Ξ	Н	Ξ	Н	H	당	Ξ	S	4	н	H	Ξ	Ξ	I	Ξ	Ξ	동	H	S	4	コ	Ξ	듸	二	Ŧ	Ξ	Ξ	Š	Ξ	핑	14-	듸	旦	듸
N			<u> </u>	<u> </u>		Ξ	ェ	Ξ	Ξ	ェ	н	Ξ	н	Ξ	Н	Η	Н	I	Ξ	Η	Н	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	王	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	旦	三		Ξ	Ξ
N	-		-	-	-	-	Ľ	-	H	-	÷	Н	-	Ľ	Н	Н	Н			H	-	-	H	Н	1	-	3 H	$\equiv$	3 H	3 H	핃	_	_	드	핅	3 H	3 H	3 H	3 H	Ξ 3	핃	H	프		H
3 0 0 D P P B B B C C C C C C C C C C C C C C C	ļ	_		Ľ	Ľ		Ľ	Ľ	_		-	Ľ	-	Ľ		-	_	-	1	-	Ŀ	_	-	-	_	_		-	-		_4	_	_	_	_	-	_	$\overline{}$	$\dashv$	-	$\dashv$		_	-	4
N			п	Ľ	•	_	-	Ľ	1	Ŀ	-	Ŀ	-	Ľ	-	-	-	-	-	1		1	-	1	ı	_	CHO	CHS	HO	CHO	웅	몽	꽁	몽	뙹	띥	CH3	CF3	CF3	S	ଥ	S. E.	င္ပ	SE	S
3		ē	Ω.	'	Ľ	Ľ	1	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	-	Ŀ	Ŀ	Pr	P	ሷ	P	Pr	Ъ	Ъľ	ď	Pr	P	P	١	1	-	•	١	_	1	<u>'</u>	اا	1	•	1	1	,	╝	ı	1	'	•
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		•	∢	ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	ı	-		-	Ph	P P	뮵	씸	Ph	Ч	P	Е	Ы	占	ፎ	ı	1	1	1	1	1	1	<u>'</u>	'	'	-	-	1	1			:		1
E 000000000000000000000000000000000000		Ċ	22	125	75 102	<u>1</u> 2	20	1 <sub>4</sub> 2	la2	la2	192	Iq2	lq2	195	la5	la2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	lq2	lq2	<u>l</u> q2	192	lq2	lq2	lq2	lq2	2	<u>1</u> 2	<u>1</u> 2	2	궠	192	Iq2	lq2	la2	192	192	192	12	102	120
E 000000000000000000000000000000000000			∢	뮨	Ph	윤	듄	H	Tn1	Tn3	Tn4	Np2	FI	뮨	FI	Ph	Ph	Ph	吊	Ph	Ph	Int	In3	In4	Vp2	ᇤ	Ph	뮵	Ph	Ph	된	됩	Ξ	2	3	Vp2	Ы	Ph	F F	듄	듄	돈	됩	Ξ	딜
				0	0	0	6	0	Н	Н	Н	H	Н	Н	Н	1	H	_	ļ	1	1	. [ [	1	1	1	1	1	1	1	-					$\exists$	1	H	1	1		$\exists$				$\exists$
			E	က	<sub>2</sub>	3	<u>د</u>	6	3	ص ا	3	3	H	H	Н	2	2	2	2	2	2	2 T	2	- 7	2	7	2	2	7 لـ	2		2	7			2	7	7	2	7		2	7	2	$\frac{1}{2}$
	ŀ			$\vdash$	H		_	<u>.</u>	_	H	H	Н	Н	-	-	Н	Н	Н	H	Н	Н	Н	Н	Н	Ц		ل	Н				$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	١	H	Н				Н		Н	$\dashv$
	<u>2</u>	•		Н	-		-	Н	H	Н	H	Н			Н	Н	Н	Н		Н	Н	Н		Н		_			H	Н		-	$\dashv$	-	$\dashv$		H	Н				Н	$\dashv$	Н	$\dashv$
	7	_	<b>z</b>		<u></u>	~	_	2	~	~	~	2	~	2	<u></u>	r	က	က်	Ģ	က်	ကိ	3	ř	గ	¥	4	4,	4	4	4	¥	7	₹	¥	ಜ	5	2,	2	24	5	26	2	2	32	

表3)

																_																						_	_			_
Γ	88	-	1	ı	Ξ	I	I	Ξ	I	Ξ	=	=	-	-	-		Ī	·T	·	٠,	-	-	-	•	-	1	١	1	'	<u>.</u>	ا ا	1	Ξ	=	=	ا	•	<u> </u>	'	1	<u>'</u>	
	R7	-	_	-	I	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	=	= =	=	-	-		T	·T	,	·	<u>، ا</u>	7	·	1	·	1	·	-	_	٦	-	-	푀	=	=	-	1	·	·	۱,	·	,
ľ	82	ŀ		-	H	H	Ξ	Ξ	Ξ	=	=	•	=	= =	=	+	1	,	,	,	٦	•	·	•	-	1	•	-	1	ī	·	1	曰	=	Ξ	•	٠Ţ	•	,		•	7
	R5		-	-	H	I	I	Ξ	=	<u> </u>	=	=	:	-	=	=	1	.		,	-	,	-	-	1	1	-	-	-	ī	-	•	되	Ŧ	Ξ	7	•	7	1	1	-	-
┢	R10	I	I	Ξ	H	F	Ξ	Ī	1	=	-	= =	=	d:	<b>d</b> :	:	= :	=	=	듸	工	Ξ	I	I	Ή	Ŧ	H	Н	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	工	되	=	=	Ŧ	Ξ	三	=	=
	88	ᇁ	Ī	Ī	I	I	Ī	=	-	1	<u> </u>	=	:		d:	=	=	= :			三	I	F	CF3	H	H	Н	Ŧ	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	三	王	=	듸	三	듸	三	耳	
	88	₽	모	도	I	Ī	Į	-	<u> </u> -	-		_ _ _	:	:	<u>.</u>	= :	=		Ŧ	듸	Ξ	I	Н	F	CF3	14.	CF3	Ξ	Ξ	H	I	I	I	포	듸	되	되	듸	囙	되	三	듸
ď		╁	Ī	Ī	I	Ī	╀	H	<u> </u>		=		<u>.</u>	= :	=	=		_	ㅣ	Ξ	H	H	H	I	1	┪	Т	Г	Ŧ	Н	H	Η	H	王	되	Ξ	듸	듸	듸	듸	I	Ξ
1	R6   5	╁	┝	╀	Ī	I	-	=	-	-		1	<del> </del>		_	_		╛	되	H	Н	H	I	H	Ξ	Ŧ	Ξ	I	Ξ	Ξ	Н	H	Ξ	I	Ξ	크	듸	듸	되	Ŧ	I	I
	R5 1	╀	╀	╀	┞	╀	╀	-	<u>+</u>	-			=		1		1	듸	ᠴ	Ξ	Н	H	Ī	Ī	I	Ξ	Ξ	-	F	I	I	H	Н	Ŧ	Ξ	Ŧ	되	Ξ	듸	Ξ	囯	三
F	72	╄	<del> </del>		-	-	-		<u>+</u>		╁	=			<u> </u>	되	,	;	7		-	,	,		١.	ļ ,	1	ļ,	١,	,	ļ -	11	Ξ	Ī	H		-	-		-	-	7
	5	╁	+	١.	-	-	-	-	-	-	_					ᅱ	-		-	1	-	١,	-	١,		١,	١,	<del>ا</del> ،	ļ,	-		ļ ,	Ī	Ξ	Н		1	1	-	-		
F		╀	╀	<del> </del>	Ī	╀	╁	╁		1	:		1			亅	,	7	-	•	-		١,	١.	<u> </u>		ţ,	†	۱.	1		-	Ī	Ξ	H	7	-	-		1	Ī	1
	ă	╀	╀	۱,	-	-	-	-	1	+	_		ፗ	듸		되	7	_	-	•	-	١.	١,	١,	١,	١,	١,	١,	١,	١,	,	1	Ī	Ξ	н	-		_	-	-	H	-
ŀ	2	┿	╁	+,	╀	╀	╀	-	1		_	╢	,	-		-	듸	I	H	H	-	Ī	-	-	: -	=	=	: -		1	١,	١,	Ī	Ξ	I	Ŧ	I	I	Ŧ	I	Ŧ	ī
-	60	╁	+	1	╀	╀	+	2 9	25:	1				_			ፗ	I	CH3	CH3	-		<u> </u>	]	1	-	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	١,	١,	١,	Ī	Ī	CH3	Ξ	I	I	CH3	I	ī	
ŀ	< -	╀	+	+	╀	1	4-	-	-	╁	+	4	4	-	$\dashv$	$\dashv$	Н		П	_	•	╀	╀	╀	+	╀	+	+	+	-	-	Ł	-	딸	F	$\vdash$	Ļ	당	문	-	도	
1	â					2	5 -		3,	_	_	긔	Ξ	Ξ	픠	Ξ	Ξ	CH3	H	ပြ	╁	╀	-	╀	17	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╀	۴	┢	┞	-	┪	0	-	H	Н
-		2 2	╀	+		+	+	+	+	4		4	Ξ	Н		I	H	L	H	┞	╄	╀		╀	1	╄	╀		+	╀	╀	╀	╀	╀-	Ļ	I	Ξ	Ŧ	F	-	1	H
}	<u>ح</u>	200		213	╗┪	+	+	+	<u>'</u>	<u>'</u>	<del>'</del>	_		-	-	-   -	CH3 H	CH3 H	CH3 H	L.			1	╁	╁	+	╁	+	╁	╁	+	╁	ļ.	╂	<del> </del>	뎓	L	-  -	-	ļ,	1	
		2			<u>3</u> 2	+	+	+	;	$\exists$		<u>.</u>	-	-	•	-	CH3 CI		CH3 CI					╁	, ,	╀		+		+	╀	╀	+	╀	<del> </del>	F3 C	١.	١,	<del> </del>	١,	<del> </del>	H
}	ш 	+	+	╅	+	+	+	4	4	4	4		H	H	Pr .	<u> </u>	- 0	<u></u>	Г	1	†	T	1	╀		+	╫	+	+	╀	+	+	à	۵	à	10	١,	۲,	١.	<del> </del>	<del> </del>	
ł	<u>.</u> B.	+	╅	+	4	+		4	4	4	ш	H Hd	⊢	⊢	-	⊢	L	-			╀	╀	+	╁	╫	+	+	+	†	╀	1	+	4-	ń	╄	╀	١,	۲,	١,	۱,	†,	H
-	_	+	4	4	+	-	+	4	4	la2   P	Н	┝	⊢	⊢	⊢	ļ	┡	Ļ	ļ.	╀	+	4	4	4	+	<u> </u>	4	+	2		315	3 5	4-	45	4-	╄	5	15	15	15	岩	129
				_	4	4	-+	4	4	-	Н	┝	-	┺	L.	_	┡-	ų Į	₽	+	+-	+	֟ ֓֞֞֞֞֞֞֞֞֩֞֞֞֩֞֞֩֞֞֞֩֞֞֩֞֞֩֞֞֩֞֞֩֞֩֞	+	┿	4	5 6	4	+	-1	1	1	_	 - 6	4-	1	1	+	╄	á	+-	+-1
1	<u>~</u> <u>-</u> -	┪	114	Np2	+	2 P	됩	ᅱ	2 P	2   P	2   P	2 Tr	۲	t	Н	1	۲	t	t	†	╅	7	╅	+	╅	╅	+	+	+	+		+	+	+			٠		+-	3	╈	, 0
٠, ٠		-	7	7	+		-						Ë	E		E	E	+		+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	┿	+	7	1.	1.	1	╁	╁	╀	╁	╁	+
	E	+	4	-			<u>_</u>		Ir 1	r		_	<u>.</u>			+		<u></u>	1.				+	+	+	+	+	4	4	£ i	4	4	+	= =	E 6	╀	ă	╀	+	4	4	ď
表4]	×	-	┪	<u>-</u>	7				Н	┝	╀╌	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╁	╁	+	+	+	+	+	+	4	+	╅	╁	÷	╁	+	+	╁	╫	╋	╁	+	+-	┿	++
表	2		<b>≅</b>	8	8	8	65	99	67	8	6	٢	•	F	12	ľ	ľ	1	上	ľ	Ĭ	Ĭ	<u>ه</u>	9	8	ဆ်	Ď	<b>∞</b>	<b>∞</b>	œί	Š	ە اھ	7	20 8	n c	'n	٦	مام		7	٥	100 100 100 100 100 100 100 100 100 10

																					٠.								_					_		_	_		_	_	_	· ·	
Γ	88	1	Ξ	Ξ	Ξ	ᄑ	1	ı	i	ī	Ξ	<u> </u>	1	-	-	-	ŀ	ŀ	ŀ		1	1	١	'	1	١	'	1	1	<u> </u>	<u> </u>	<u>'  </u>	1	<u>.  </u>	1	<u>'</u>	<u>'</u>	三	<u>'</u>	1	<u>'</u>	4	
	R7	ī	Ξ	Н	Ξ	Ξ		-	ī	ŀ	E	ī	Ī	1	1	ī	Ī	Ī	T	·T	ı	-	1	-	-	ı	١	1	١	1	·	,	1	,	1	1	1	王	1		<u>'</u>	<u>.</u>	
Œ	8		Ξ	Н	H	H		-	1	1	Ξ	1	ī	Ī	-	Ī	Ī	Ī	T	ī	•	1	7	1	1	1	ī	١	1	1	ij	ij	7	1	٦	٦	_	Ŧ	١	١	1		
	R5	7	H	Ξ	H	H	1	1	1	١,	Ξ	1	1	ī	Ī	1	ļ۰	T	1	1	1	,	7	7	-	1	1	·	ī	7	1	1	ন	1	1	ī		Ħ	-	1	1		
T	R10	I	Н	I	Ξ	H	ェ	Ξ	=	Ī	=	=	Ξ	Ξ	Ξ	Ī	-	\$	4	4	=	Ξ	뒥	H	Ŧ	Ξ	Ξ	耳	되	日	=	=	王	王	国	囯	I	耳	日	王	=	彐	
-	162		E	I	Ξ	I	Ī	Ξ	Ī	=	1	=	Ī	Ξ	Ξ	Ξ	=	1=	4	₹:	土	彐	王	H	H	Η	Ξ	$\exists$	日	日	=	I	듸	彐	日	Ξ	I	王:	$\pm$	囯	=	司	
	88	+	Ī	Ī	I	Ī	亍	Ξ	=	1	=	=	Ξ	I	Ī	1	-	:	4	1		耳	王	I	H	Н	Η	Ξ	Ξ	囯	曰	I	되	日	되	Ξ	I	国	Ξ	国	三	ᅱ	
a	EJ,	+	Ī	Ξ	I	Ξ	Ī	Ξ	Ŀ	1	=	1	Ξ	ī	I	-	;	‡	4	=	I	日	Ξ	I	H	H	Н	H	Ξ	王	王	日	≖	彐	I	Ξ	I	国	Η	国	耳	ᅱ	
	188	4	Ī	1	E	Ī	1	Ī	1	1	1	1	1	Ē	Ī	=	\$	4:	4		日	듸	Ξ	I	Ξ	I	Ξ	Ξ	H	耳	耳	王	되	킈	H	Ξ	T	日	Ξ	日	王	彐	
	8	₩	Ī	Ī	F	Ī	Ī	-	-	<u> </u>		1	=	=	F	1	‡	4	₫:	日	킈	彐	Η	I	E	Ξ	I	Ξ	Ξ	王	듸	듸	国	Ξ	H	H	I	国	I	王	크	彐	
+	72	-	긒	Ī	Ī	-	<b> </b>	╁	ţ,	١,	1 5	╁,	١,	1	ļ,	١,	1	†	7	,	╗	ı	-	ı		ļ,	1	-	-	1	ı	7	1	.,	-	-	1	囯	1	ı	1	1	
	2	+-	ᆵ	Ī	Ē	Ī	١.	١,	†,	†	1 2	<u></u> ;	١,	1	١,	ţ,	1	†	7	,	7	1	-	1	1	ļ.	ļ-	•	-	ı	1	1	-	ı	-	-	ı	目	ı	Ī	ı	1	
		-	Ī	-	Ŀ	Ξ	1	ţ,	†,	t	1	١,	†;	†,	۲,	†,	†	1	7	,	7	-	1	7	1	1	Ī	,	-	П	1	ī	ı	-	ι	ı	-	国	1	1	1	1	
	100	+-	ᇤ	-	=	-	<u>†</u> ,	١,	†	†	,	1	†,	†,	†;	t	†	,	,	╗		-	-	i	1	١,	1	ļ.	ī	Ī	•	-	1	•	1	ī	1	囯	1	1	ī	1	
H	2	4-	╘	<u> </u>	1	<u> </u>	=	-	đ,	†	,	۲,	-	=	†,	t	†	╗	,	7	_	ı	,	1	ļ,	,	١,	Ξ	E	Ξ	-	ı	1	-	Ī	ī	Ξ	囯	H	Ξ	Ξ	国	
	20	+	<u> </u>	Ę	35		-	5	2		1	1	+	1	<u></u>	1	,†	1		_	1	1	,		T,	١,	,	I	Ī	F		1		,	,	ļ.	-	上	H	Ŧ	Ξ	I	
	∢├	+	╀	10	╁	╀	+	۲	7	╀	+	+	+	+	╁	+	+	+	$\dashv$	-	Ц		-	┞	┝	┞	╀	3	E	3	Н			$\vdash$	┝	╁	1	24	15	· 2	2	우	
	ြိ		=	7	- FH2	7						1		!	1	1		Ξ		Ξ	H	H	Ξ	Ξ		ľ	I	5	SE 3	당	Ξ	H	Ξ	Ξ			COHE	C2H5	C2H5	120	C2H5	C2H5	
ł	č	2 =	-	=	= =	=		╬	=	=	4	=		43	= =	=	= :	Ξ	Ξ	Ξ	Н	Н	Ξ	Ξ	1	=	Ξ	Ξ	Ξ	E	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ε	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	国	
	7	Τ,	T				T,	Ī	,	Ţ		,	3	513	25	2:	_	<u>S</u>	CH3	H	CH3	CH3	Ŧ	Ę.	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1	1		15 15 15	-	CH3	CH3	ᇁ	CH3	3	=	뚬	١,		I	몽	Ŧ	CH3	
		$\downarrow$	1	1	1	1	$\downarrow$	1	1	1	1	ľ	┸	1	7	↓	1	٩			L		┞	Ļ	1	Ļ	1	1	1_	<u> </u>	Ľ	L	Ľ		╀	Į.	1	igspace	Ļ	F	╄	Ц	
	g				.			.				, ,					SHSS	SH	CH3	C(CH3)3	C6H13	CH3	C(CH3)3	OH V	25	C/CH3/3		=	CH2)3	24H9	E	CH3)3	24 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	1	SET C	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1	,	,	EHO.	를 된 된 된	C(CH3)3	<b>C4H3</b>	
					١	۱	١	İ				ľ		3	ď	7		ပ	O	)))	၁		<u>ر</u>	10	1	<u> </u>	₹°	1	Ċ			Ö			2		Ĺ	$\perp$	Ľ	$\Gamma$	4—	ш	
		T	T	T	1	T	1		1	1	1	7		7 7 7 7 7 7	7,	2	333	3	က	3)3	<u></u>		CH2 CH2	3	٦,	500	2	2	200	200	<u>~</u>	<u>e</u>	2	2	2 2	일 일 <u>다</u>	2		2	2 2	CH3)3	2	
	Ш	1	۱	ا'	1	۱	۱'	۱'	1	'	'	1			3			CH3	CH3	(CH3)	를 등	Ę							STO C		35	CHU)C		E	いたコンノン		7	' '	CH3	35		S S	
		+	+	7	7	7	7	+	+		-	집	+	<u>5</u>	+	┪	0		-	1	1	<del> </del>	C	╁	†	+	1	,   ,	+	1	†,	+	╁	†,	Ŧ	1	$\dagger$	ı là	†	;†;	+	H	
	m	+	+	+	4	+	+	┨	+	-	-	됩	+	+	+		-		<u> </u>	1	╀	╀	╀	╀	+	+	╀		╁		╀	╀	╀	╀	╁	+	+	占	+	╁	╀	H	í
	-	-	-	2 1	-	7	-+	7	7	_	$\rightarrow$	_	102	_	4	4	[02]		ļ	L	<u> L</u>	╄	4-	4	┸	+	4	4	1	262	Ŀ	╀	╀	╄	4	757	4	200	+	1	┸	102	
ı	82			-1	-	-	-	4					-+	-+	-	-4		-		1	<u>.                                    </u>	1_						-	-		+-	+	t	+	+	-	+	-+-	+			+	
	4	-	103	4	5		티	티	티	딘	ITn3	티	티	티	티	Ē	Tn1	Tni	Tn2	Tro	ŀ	7.5	1	1	2		7	7		4		10	10	4				겉	#	뒥	丰	E	
	٩		2	口	1	Ⅎ	1		9	0	0		口	口	7				-	r	1	1	士	‡	‡	1	‡	#	‡	‡	1	1	†	‡	‡	1	‡	7	1	#	1	坩	ŀ
	Ε		4	$\exists$		$\exists$	$\exists$	7	2	2	2		7	4	7	7	7	~	Ľ	4	1	4	4	业	ľ	业	4	4	4	*	4	\$	4	4	Ý	4	4	2	1	7	1	17	
	≥		趈	ă	췹	리	ă	Pd	Pd	Pd	Ρd	Ьd	۲	닉	닉	-	4	<u>-</u>	Ŀ	ŀ	ŀ	ŀ	┧.	Ⅎ.	닄.	날	1	1	1	+	낟	ť	ŀ	士	날	1	님	바	<u></u>	坣	土	늴	
表5	Š	2	10	102	8	펄	3	106	107	108	601	110	111	711	=======================================	114	115	18		0	96	200	3	1	122	2	2	125	2	7	36	25	3	3		3	2	135	핡	133	36	35	
_	<u> </u>				لـــا				Ш	L	1_	<u> </u>	Ш	Ш	ل		ட	L	ı_		1	1			لمن		_					Ļ				_Ŀ	ᆚ		_1_		ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	j

L/#3110	【牧の一と」「続く】								-							-		-														-									
H	K		_		_												_	_				_		_				_					_	_			_	_	_	_	_
\[ \]	. A	2	3	192	,	,	,	,		•		,	ì	<u>.</u>	701	١,	ا،	ا،		۱'	,	ا'	ا.	٠	١		•	à	à	707		ا.	,		<u>.</u>	'	١	, ,	ż	ì	70
	7	•	•		-	•	<u>'</u>	,	Ξ,	3	T G	3	-	•	-		-	,	,	1		-	-	Ŧ	S S	Ŧ	왕	-	-	-	,	٠	,		=	3		몽	ا.		٠
	9	'	-	-	<u>.</u>	'	1	,	몽	CH3	SCH3)3	CAHB	-	-	-	,	'	'	'	-	-	-	1	양	윉	C(CH3)3	S 35	-		_		,	i	ı	CH3	CH3	C(CH3)3	C4H9	-	-	
	ш	,	'	,	'	,	,	-	T	-1	2	EES	,	-	,	'	'	'	-	,	,	-	-	CH3	CH3	С(СН3)3	CH3	•	ı	-	-	:	-	•	CH3	CH3	C(CH3)3	CH3	_	1	'
	œ			-	-	•	-	à	•	'	,	-	-	•	'	-	'	-		-	,	١	P	_	-	-	•	1	•	-	_	•		P			,	-	-	-	
	٦.	-	•	,	•	,	'	栕	,	•	•	'	'	-	•	'	-	1	1	ı	1	_	된	ŀ	ſ	,	-	-	1	_	-		•	Ph	1		-	;	1	1	
	8	la2	lq2	lq2	Iq2	la2	la2	Iq2	Iq2	Iq2	la2	la2	Iq2	la2	lq2	la2	la2	lq2	lq2	la2	Iq2	162	lo2	Ja2	Io2	Ia2	la2	la2	la2	Iq2	Iq2	la2	la2	la2	la2	lq2	Iq2	la2	lq2	Iq2	la2
	∢	셤	듄	ᄯ	H H	Ph	Ph	H.	Ph	Ьh	Ph	Ph	Ρh	Ph	Ph	h H	ď	H.	ď	듄	뮵	듄	占	ď	듄	ď	듄	4	듄	ď	Ph	Ч	ď	년 년	占	μ	ЧЬ	Чd	Чd	Ph	Æ
	. c	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	1	-	_	-	0	0	0	0	0	0		-	-	-	_		_	-	-	0	0	0	_	_	1	1	-	-	-	-
.	E	~	~	2	က	3	6	2	2	2	2	7	7	2	2	က	3	9	6	3	F-	·	-	-	,		2	-	~	2	3	3	3	~	2	2	2	2	7	2	1,2
-	Σ	-	-	_	-	_	_	<u> </u>	_		<u> </u>		_	<u>.</u>	-	_	-	-	-	-			-	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>.</u>	-		_	_	-	-	-	_		_			È
[表6-1]	<b>8</b>	Ę	100	143	144	145	148	147	148	84	150	22	152	153	154	155	158	157	25	150	2	-	183	182	2	78	99	3	ğ	9	5	-	1.7	5	1.74	175	178	12	178	179	180

Г	פו	2	١.	<b>I</b> -	Ţ,	Τ.	T	T	π	Π	, [	Π	7	٦	ī	Ŧ	Π	7	1	<u>, T</u>	1	7	1	ı	1	ī	Ţ	Ţ	٦	1 3	-[	T	1	1	1	Ţ	T	1	ij	ī	1	=
	9 R	+-	Ľ		╀	+	╀	+	+	+	-						7	<del>,</del>	1	;	+	,	+	†	╁	,	1	†	;†	1		,	1	†	1	1	1	,	寸	1	1	4
	P	Ľ	Ľ	F	╀	╀	╀	+		+	•		-	Н	4	-				-	┪	╗	╫	;†	†	;†	1	,	=		4	,	1	;†	1	,	†	1	1	===	= =	Ξ
ī	) a	╁╴	<u></u>	╁╴		Ľ	+	+	+	+		Н		Н	6	$\dashv$	-	Н	$\dashv$	1		1	+	1	†	,	,	, :		<u> </u>	_	,	,†	,	1	1	,	,	1		<u> </u>	I
•	0		<u> </u>		1		1	<u>'</u>	'	'	1	Ľ		Ξ	C4H	Ξ	'							<u> </u>	<u>'</u>	`	4	4	4	4	1	4	1	4	4	4	1	4	1	-49	4	_
١	90		Ξ	=	ŀ		•	١	_	_	1	ŀ	-	Ξ	Ξ	Η	1	Ŀ	1		1	_		-	<u>'</u>	4	+	-	┥	+		+	+	4	4	4	4	+	4	<u> </u>	7	1
	30	2 =	===	==	1		<u>.</u>	<u>'</u>	ı	1	-	ľ	Ľ	Ξ	Ξ	Ξ	1	1	1	_		-	1		4	<u>'</u>		4		+	7	+	4	4	<u> </u>	4	4	4	+	+	7	_
	S	ا گ	ŀ			<u> </u>	<u> </u>	١	I	-	Ŀ	Ľ	Ľ	ľ	Ŀ	Ľ	1	Ŀ	Ľ	L	1	_	-	Ξ		_	4	╝	1	4	4	+	4	-	日	-	<u>'</u>	<u>'</u>	-	+	$\exists$	_
		3	ı		1	<u>'</u>	١	1	Ξ	1	Ŀ	ŀ	Ŀ	<u> </u>	ŀ	1	Ľ	Ľ	Ŀ	ŀ	Ľ	Ľ	Ľ	H	1	1	-	1		4	4	4	<u> </u>	-	Ξ	4	_	4	4		-	_
100		2	1	·T	•	٦	•	_	Н	1	١	ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	1	ŀ	Ŀ	1	Ŀ	Ŀ	1	Ŀ	H	1	-	Ц	1	_		_		4	4	Ξ	_	'	_	1			_
		2	١	ı	•		ı	1	Н	ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	1	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ľ	ľ	'	L	Ξ	1	_		1	_		_		1	1	H		1		Ľ	-	4	-
		<u></u>					I	I	Ī	I	-	╁	-	4	╁	=	=	=	=	-	╁	╁	I	I	ᆂ	ェ	ᆂ	ェ	Ŧ	듸	Ξ	=	ェ	I	ᆂ	ェ	F	Ŧ	ĮΞ	ㅍ	Ξ	ŀ
	-	4	1	+	4	4	_	H	H	┞	╀	╀	+	╁	╀	╀	+	ŀ	╁	-	╁	╁	<u></u>	-	$\vdash$	$\vdash$								113			Ļ	上	Ļ	I		١
-		운:	디	듸	듸	됙	I	ᄪ	┇	╡≖	╬	4	╬	43	╬	╡	╬	듷	ы_	ة	<b>}</b> =	╁	딩	4	干	I	I	F		Ξ	Н	I	Н	응			Ė	Ľ	广			ļ
		8	_		#	寸		Ļ	١.,	Ι,	1	١,	1	_ 		]_		1	-	+	_		1	-	-	-	-	=	=	Ŧ	I	┰	և	±	=	┰	┰	┰	┢	<del> </del> =	I	١
j	ш	2						L	1	1	1	4	1	4	4	4	4-	1	1	╀	1	1	╀	╀	╀	1	╀	┞	╀	┞	┞	╀	┞	╀	╁╴	┝	┢	t	╁	╁	┝	۱
		$\mathbb{R}$	되	뉙	Ŧ	Ξ	Ŧ	Ξ	þ	= -	4	╡	= :	= =	4	42	4	4	43	47	먁	47	= =	╬	╀	I		1	1	F	Ξ		Ξ	ľ	ľ					王	Ξ	
		R6	_				Ļ	1	‡	1,	‡	╡.	ॏ.		1	1				]		],	]	],		Ţ.,	-	-	-	1	F	-	_	-	-	=	=	╪	╪	╪╼	╁	-
		Ш	$\Box$			ш	↓_	┺	4	4	+	+	+	+	+	┰	┿	-	╁	+	╅	+	╅	╅╴	十	+	十	t	1	1	Т	Т	Т	Т	Т	Т	T	Т	Ţ	1	1	
		8	모	Ŧ	Ξ	I	╒	₽	4:	티	4	4	딕	듸	탸	4	탸	댝	뒥:	탸	듸:	4	ᄗ	雸	먁	╬	7	1	9	7	ľ	ľ	ľ	1	7		1		1	1		
	H	7	-	7	<b> </b>	١,	ţ,	†	1	=	1	7	1	1	1	1	•	1	1	•	1	1		ŀ	4	1	1			1	Ŀ	ŀ	Ŀ	1	1	1	1	1	1	<u>'</u>	1	
		R3	1	١,	١,	١,	t,	+	,	╛	7	귀	,	╗	٦	1	7	1	7	1	ī	7	1	1	4	·T	1	1	ı			ŀ	Ŀ		1	1	1	1	1	<u>'</u>	1	ĺ
	4		<del></del>	١,	1	١,	t	†	1	寸	1	7	7	,	╗	1	7	1	1	7	1	<u>,  </u>	1	,	=	,	·		ı	ı	1	• [	٠]	·	1	=	<u>'l</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	بل!	1	1
		R11	╄	۱,	١,	١,	+	†	1	寸	7	1	1	1	ī	7	7	7	,	7	1	╗	ij	1	目	1	,	ī	1	·	•	1	1	<u>.</u>	1	1	1	<u>.</u>	1	<u>'</u>	1	ı
	-	1	t	1	1	力	1	†	力	┧	╣		_	Ħ	_	ᅱ	亅				寸	亅	1		1		]:			1	4	-	4	-	4	4	=	=	ᆈ	늬:	타	Ι
		RA RA	┺	1	Ļ	ļ	4	4	4	4	Ц	H		H	Н	$\perp$		Н	Н	Н	-	┨	+	┥	+	┪	+	┪	┪	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	$\pm$	-
		8	₽	╡ᠴ	+	42	4	늬	뉙	뒥	I	ፗ	I	I	Ŧ	ᆂ	Ŧ	Ξ	=	Ξ	=	되	퓌	듸	듸	듸	뒤	디	듸	캬	7	딕			- 1	ı	1	- 1	- 1		- 1	
		╁	١.	1	1.	1	t	1	3)2	7	1			ļ	Ļ	7	7	Г	Π	$\mathbb{Z}$		9	6	<u></u>	6	<u></u>	6	<u></u>	9	6	9	6	3	3)3	333	33	33	9	띩	e e	3	
		â	郭				뒷	핅	<b>H</b> 0	33H	33 H	듥	E		33	띥	SH	F	I	동	띥	C4H	상	뒹	윉	싱	췽	힑	힝	형	킹	킰	ġ	녌	힞	벍	힞	헑	힞	C(CH3)	以	ز
٠			1	1	1	1	1	7	$\Xi$	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	lacksquare	L	Ľ	Ľ	-	L	L	Ľ	Ľ	Н	$\dashv$	H	-	$\dashv$		4	$\dashv$	+	$\dashv$	믝	믝	쒸				1			
6		ă	2 -	4:	4	4	뉙	되	I	Ŧ	<b> </b> ∓	┰	₽	=	╞	Ŧ	Ī∓	<del> </del> ∓	Ŧ	Ξ	F	Ŧ	Ξ	Ŧ	H	Ŧ	크	Ŧ	ㅋ	ㅋ	뒥	퓌	ㅋ	ㅋ	퓌	퓌	日	H	Ŧ	日	Ŧ	=
. (	삵		+	╁	1	1	╣	2	8	F	-	1	t	<del> </del>	ţ	ļ.,	4	ي	ļ.	ļ.		6	9	<u></u>	22	33	34	35	36	187	88	66	2	71	172	73	74	175	78	11	178	ç
1	K)	å		\$	4	4	4	14.	=	2	13	43	15	꾸	깢	745	15	2	2	15	감	15	8	٣	۳	٦	۳	۳	F	Ĭ	$\exists$						-				口	•

	<del>╻</del> ┇┩╃╃╃╃╫╫╫	나!됩니다다다다다다다!!됩니다다니다	<del></del>	<u> </u>	20202020202020202020202020202020202020	H H H H H H H H H H H H H H H H H H H
CH3333 CH333 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH33 CH		<del>┞╏╏╏╏╏╏╏╏╏╏</del>	222222222222222222222222222222222222222	<del>┞┦╏╏┪╏╏┩╏╏</del>	£&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&&	
CCH33 CCH333 CCH333 CCH333 CCH333	<del>╶</del> ┩╃╃╃╃╃╃╃╃╃╃╃	<del>╶┧┨┧╏╏╏╏╏╏</del>	20202020202020202020202020202020202020	<del>╶╏┞┪╏╏┩╇╏╏╏</del> ╃┼┼┼┼┼┼	& & & & & & & & & & & & & & & & & & &	
CCH3)3 CCH3)3 CCH3)3 CCH3)3 CCH3)3	<del></del>	<del></del>	22222222222222222	<del>╶╏┪╏╏╏╏╏</del>	EEEEEEEEEEE	
CCH3)3	<del>┇┩┩┩┩┩┩┩</del>	╀┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼	22222222222222222222222222222222222222	<del>╡╏╏╏╏╏╏</del>	56666666666666666	
CCH333	╃╫╀╫╫┼┼┼┼┼┼┼┼┼	200000000000000000000000000000000000000		╌┼┼┼┼┼┼┼┼┼┼	255555555555555555555555555555555555555	
C(CH3)3		222222222222	444444444	<del>┦┦┦┦┦┦┦┦</del> ┼┼┼┼┼	5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	000
C(CH3)3		2222222222		<del>┦┦┦┦┦┦┦</del> ┼┼┼┼┼┼	5666666666666	000
CCH3)3		22222222222		╫╫╫╫	56666666666	
CCH3)3	<del>╂┧╏╏╏╏╏╏</del>	222222222	T T T I I I I I I I I	╀┼┼┼┼┼┼	5666666666	566666666666666666666666666666666666666
CCH3)3	<del>╏╏╏╏╏╏╏╏</del>	2022222		╁╂╂╂╂╂╂╂	66666666	66666666666
CH3 CCCH3)3 CCH3)3 CH3 CH3 CCH3)3		2222225		<del>╏┩╏╏╏</del>	8666666	666666666
C(CH3)3		22222		┞╂╃╁┼┼┼┼	$\left\{ \left\{  EEEEEE6	
CCH333		2222				
C(CH3)3		2020				888866
C(CH3)3	<del>                                     </del>	2929				
CK1333		<u> </u>		+++	+++	
C(CH3)3	++++		- 1	+	+	5 6 6
C(CH3)3	+++			+	4	- c
C(CH3)3	$oxed{+}$	26.	ı		_	
CCH333	ļ	12		╀	╀	á
CH3)3		102		f	+	, 0
C(CH3)3	Ph Pr	Iq2		듄	$\vdash$	-
CH3)3	Н	la2	, ,	Ph	- Ph	2 1 Ph
מאכווואי	+	102		H.	1 Ph	-
5H70 - 1	' '  -  -	20,2				+
-	-	3 5		á	i d	† †
-	H	12		á	á	<del> </del>
_		12		f	i d	-
		102	1	á	á	╁
	-	192		ą	t	-
1	-	192		á	╁	-
-	4	102		f	$\dagger$	-
	H	102		ď	f	-
	Н	Iq2		ď	4	2 1 Ph
1	-	Iq2		Ph	0 Ph	0

[表7-1]

							_												<u>.</u>	_		_	_	_		_		_	-	_		_		<u>.                                      </u>		_,	_			_	$\overline{}$	_		l
$\Box$	E10	ı	ı	1	ı	1	١	ŀ	Ī	•	1	1	H	ı	-	-	1	-	Ŀ	Ŀ	1	1	<u>'</u>	<u>'</u>	彐	_	_	_		-	-	7	1	<u>'</u>		픠		ᆸ	_	1	-	Ľ	Ľ	İ
	R9	-	1	1	١	-	Ī	Ī	Ī	1	1	ı	Н	_	-	1	-	ŀ	ŀ	Ŀ	1	<u> </u>	<u>.</u>	<u>'</u>	Ξ		1	•		-	-	-		긔		Ξ		-	-	-			Ľ	
1	88	ī	•	-	١	ī	1	T	1	1	日	Ξ	I	1	1	ŀ	1	,	1		•	1	Ξ	王	Ξ	1	1	-	1	-	<u>'</u>	Ŀ	-	ェ	Ξ	Ξ	_	'	1	-	Ľ	Ľ	<u>'</u>	
m	R7	,	-	-	-	,	ŀ	T		,	H	C4H9	H	,	ļ	,	,	,					I	C4H9	I	1	1	ا , ا	,	١,	١,	١,	,	Ŧ	C4H9	Η		١.	,	ŀ	ŀ	١,		
	R6	├.	١,	-	-	<del> </del>	۱,	╁	1	+	T	H	Ī	-	١,	١,	١,	t,	t	1	,	7	H	Н	H	ŀ	-	,	,	1	1	1	1	도	Ξ	Ξ	ī	1	1	1	Ī	Ī	1	١
	R5 F	H	1	-	<del> </del>	╀	╀	+	+	-		Ī	⊦	١,	١,	١,	t,	t,	†	,	7		I	H	Н	Ī	1	1	1	1	1	1	Ī	Ξ	Ξ	Ξ	1	1	Ī	1	Ī	Ī	Ī	1
-	R8 F	-	╀		=	+	╀	+	+	_	-		<del> </del>	<b>†</b> ,	١.	١,	╏	+	†	,	1		ı		-	1	ţ,	ı	I	1,	١,	T	ļ .	1	Ī	ī	ļ-	Ī	1	Ξ	Ţ	1	Ī	1
	R7 R	╀	$\vdash$	H	F	╀	+	+	-	_	-	  -	H	╀	╀	╀	╀	+	;†	,	1		1	┝	-	1	1	۱,	ᇁ	١,	1	<del>ا</del> ر	ļ,	1	Ī	1	1	Ī	,	Ξ	1	Ţ	Ī	1
'n	R6 R	4-	╀	╀	Γ	+	╀	+	1	1	-	┞	₽	╀	╀	١,	╀	╀	,†	,	-	-	1	-	╁	1	1	١,	Ξ	1	T,	١,	١,	Ī	Ī	Ī	Ī	Ī	Ţ	1	1	1	1	1
	R5 R	-	+	╄	₽	+	╀		1	1	  -	١.		╀	╀	╀	15	╀	+	7	-	-	-	١,	1	١,	1	١,	=	‡,	1	†,	1	1	1	ħ	<u> </u>	ţ,	ţ۰	1	1	١,	1	1
$\vdash$	ta	,†	╁	╀	F	+	╁	┥	-	-	┞	╁	╁	╁	+	-	+	╀	+	╣	_	_	-	Ļ	_	<del> </del>	<del> </del>	1,	<del> </del>	<del> </del>	-	1,	<u> </u>	1	-	1	1	-	1,	1,	1			=
1	2		!	1	l				_	1	广	ľ	1	1	1	1		7	1			L	L	F	L	ļ	1	5	١.	1	1	$\downarrow$	1	+	╀	╀	╀	+	╁	╁	╀	+	+	$\frac{1}{2}$
	8		4	Įα	<b>]</b> -	<b>d</b> :	= :	듸	Ξ	Ī∓	=	₽	╞	╬	4=	1+	٥.	4	뒥	Ŧ	İ	Ŧ	=	=	=	╪	╪	-1790	디그	╬	╡	4	┋	╬	╬	╬	╡ᠴ	= -				扌	먑	4
	$\vdash$	+	$\dagger$	۲	7	+	+	-	Н	$\vdash$	╁	$\dagger$	t	╁	†	1	1	1								1	1	T	1	1	1			<u>t</u>	1,	1,			1					3
<u>a</u>	ğ			47				Ξ	H	I					]	1		Ξ		I	L	ľ				1	ľ	1		1		1	1	1	1	1	1	1	1	7	1	7	- 2	딍
	6	2 =	=	-	=	듸	뒥	I	Ŧ	=	= -	4	4:	= -	= :	=	티	ᅱ	=	Η	Ŧ	=	þ	╬	╬	4	╬	4	┇	= :	= :	=	4	4		=	=	=======================================	1	5	= :	1	1	
	12	일:	1		_	고	三	Ŧ	Ī	<b> </b>	<u> </u>	1		1	4	_		Ξ	I	I	1	1	ļ	43	=	=	4	=	Ŧ	=	4	=	=	4	=	4	4	타	4	뒥	=	=	┰ :	Ŧ
	F	4	╁	+	+	$\dashv$	-	H	╀	╀	+	+	+	╅	+	1	1				t	$^{\dagger}$	$^{\dagger}$	$\pm$	†	†	†	1	<u>†</u>	#	1	<u></u>	╁.	#	‡	1	‡.	†	7	╣	,	_	_	
	į	윈	T		티	Ξ	Ξ	Н	Ξ	ľ			7					Η	I	Ξ		1	1	4		1	1	#	1				1	+	+	4	+	+	4	4	+	4	4	4
Γ	7	ž	1	1	1	Ξ	1	Ŀ	ŀ	1	<u> </u>	<u>'</u>	1	<u>'</u>	<u>'</u>	븨	1	Ξ	٢	Ľ	Ľ	1	1	4	1	4	4	<u>'</u>	<u>'</u>	듸	<u>'</u>	4	4	+	+	+	4	4	4	4	듸	4	4	_
.	ہے آ	2	1	1	1	H	-	ŀ	ŀ		ı	١	1	1		山	1	I	Ŀ	Ŀ	Ŀ	1	1	1	1	4	4	<u>'</u>	4	듸	<u> </u>	<u>'</u>	4	4	<u>'</u>	<u>'  </u>	4	<u>'</u>	$\dashv$	-	픠	4	1	_
		R2	1	1	ı	Ξ	-	Ŀ	Ŀ		<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	-		1	I	Ľ	Ľ	Ľ	4	1	<u>'</u>	1	4	<u>'</u>	4	4	듸	<u>'</u>	-	4	-	+	-	4	4	4	4	Ξ	4	$\dashv$	1
		쮼	-	ı		Н	١	١	Ŀ	1	<u>'</u>	<u>'</u>	<u> </u>	山	_	1	1	H	Ľ	Ľ	1	1	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	4	<u>'</u>	<u>'</u>	4	듸	_		<u> </u>	4	4	<u>'</u>	-	_		_	듸		4	_
Ī		R4	H	H	I	Ŧ	┰	╞	45	4	ᅱ	뉙	ᆂ	Ŧ	_	Ξ	I	Ξ	=	₽	╪	4	4	뉙	듸	뒥	뒥	푀	푀	Ŧ	Ŧ	뒥	ᅱ	뉙	ㅋ	ᅱ	뒥	Ξ	Ŧ	H	H	I	Ŧ	Ξ
	ŀ	23	H	H	I	Ţ	-	<u>†</u>	<del> </del>		土	日	H	Н	H	I	Н	Ī	-	‡	†	1			듸	日	五	H	Ξ	Н	H	H	Ξ	日	日	王	Ŧ	I	H	Н	Н	Н	Ξ	Ξ
1	-	ır.	F	F		F	F	+	+	4	4	Н	Щ	H	Н	╀╌	⊢	┝	╁	+	+	+	┪	_	$\exists$	$\exists$		H	H	2		5	_	2	2	2	2	7	77	7	L	Ľ	Ľ	$\vdash$
ľ	\^	22	토	듶	Ē	E	E		1		H	<b>C5H11</b>	HII	C5H11	C6H13	<b>C6H13</b>	H.3	Caria				C6H 33	<b>C6H</b> 13	CGHI3	<b>C6H13</b>	<b>C6H13</b>	7H15	C7H15	C7H15	C7H1	C7H15	C7H1	<b>C7H15</b>	<b>C7H15</b>	C7H15	7H1	C7H15	C8H1	C8H1	C8H1	동	CBH1	SBI	I
		<u>ند</u>	CSH	CSH	C53.	15.5	35		양	ဒါ	CSH	CS	င်	ပြ	ပြ	ပိ	င်	ځ	ادّ	كادً	3	ಠ	ಠ	ŏ	ŏ	ၓ	Ö	Ö	ပ	ပ	ပ	0	၁	၁	ပ	ပ	ပ	2	0	L		Ľ	Ľ	Ļ
		~	Ŀ	-	Ī	1.	Ţ.	4	_	H	1	Ξ	Ξ	-	-	-	=	-	-	4	H	刊	H	Ή	H	Н	Ŧ	F	=	ļ±	=	┰	ェ	I	Ŧ	Ξ	<u> </u> =	F	Ξ	┢	=	<del> </del> =	F	F
表7-2	لــا	<u> </u>	$\vdash$	-	Ļ	Ŧ	+	1			_	Ļ	-	Ł	1	1	-	1	1.	١,	1		6		÷	2	6	-	2	٠	-	   @	6	6		2	5	4	255	218	-	918	90	200
衷	ž	2	181	18	Ę	4			8	18	188	Ĕ	ĕ	Ē	镎	修	100				쒸	198	199	200	20	20	12	12	12	15	Ę	28	209	210	2	212	213	214	6	f	21.	1	4	Ť

【一の一の一様人】	YOU   71-10元						•						-			•																							· .					
Г	$\neg$	·\	٠	<u>.</u>	2	-			,	,	'	١,	١		à	12	ı	1	,		Ī.				à	à	5	ļ,			•				ا.	ا.	ı	-	la2	<u>,</u>		<u> </u>	<u>.</u>	
-	ر ا	3 3	=	-	•		·	'	·	-	1	'	•	,		•	,	'	,		]	5	2	5	2 1	,				'	<u>.</u>	<u>.</u>		<u>.</u>	,	,		ŀ	ŀ		1	,	<u>.</u>	
	5	C4H3	- 당 당	-	'	-	,	_		ı	-	1	1	1	_	-					6113	255	2/2/2	2000	2413	·			,		,	-		-	1	1	1	,			•	,	,	
	ш	CH3	CH3	1	1	1	•	1		,			,			1	•	,	<u> </u>		51.0	350	2H2	CCHSS	33	-	ı		-	,	-	1	1	•	٠	1							1	
-	<u>.</u>			-	-		'	-		,	,	  -	,	ļ,		,				'	1	-	'		,		,		'	3	ı	•	ı	٠			ŀ			<u>.</u>	·	-	ı	
ľ	٠.			'	,	,			,	,		,			,	1			•		5	•	,	•	-	,	1	,	-	1	٠	1	ŀ	Ŀ	,			١.	•	٠	,	-		
	6	202	5	102	200	2	25	12	100	1		1	312	100	100	125	,	3	¥,	70	192	192	192	la2	la2	la2	la2	102	la2	la2	Ja2	la2	102	5	15	15			2	Ja2	la2	lq2	102	
Ī	⋖	á	á	á	á	á	á	á	á	į	E	É		Ē	5 6	E	-	٤	5	돈	占	Ph	Ph	Ph	Ьh	Ph	ц Н	ηd	ď	셤	듄	f	á	á		į		5	F.	Чd	4	ď	ń	
	c	-	-	+	-	-	,		3	*		,	3	3		-	-	9	0	0	-	l	-	-	-	-	-	_	6	-	-		٥				3	٥	0	-	6	0	\ -	,
	Ε	,	1	†	1	4.	*	1	7	7		7	7	7	7	1	7	6	3	3	2	2	2	,	~	7	7	-		-	-		\ -	1	3	7		က	3	2	-		<u> </u>	ہ
1]	×		+	+	+	1	_	-	1	_	-	1	_	_	1	-	-	١.	٠.			_	<u>.</u>			-	<u>.</u>	<u> </u>		<u> </u>	1	1		<u>-</u>	<u>-</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> -</u>		=				
[表8-	ž			737	523	3	722	228	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	940	241	243	250	244	245	3,4				250		721	222	223	254	255	258		320	8 8	3	707

									_	_		_	_		_	_		_	_	Γ-	Ť	Т	Ť	Т	T	Т	Τ.	7	Т	Τ	.T	.1	.1	7		Γ,	Ι,	T	1	7	,	,	7		
	R10	ı	_	,	Ξ	1	1	י	1	ŀ	١,	1	'	<u>'</u>	1	Ξ	_	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	1	1	4	7	4	'	-1	4	_	4	-	┝	╀	+	+	4	-		$\vdash$		
1 1	82	1	-		I	-	Ξ	1	•	-	ı	ı	-	1	ı	Н	1	ŀ	ŀ	ŀ	Ŀ	Ľ	Ŀ	1	1	1	<u>'</u>	듸	4	<u>'</u>	4	_	4	1	Ľ	Ľ	╀	+	+	4	4	Н			
	<u>=</u>	1	١,	I	I	Ī	7	Ī	7	7	$\overline{}$	•	1	Ξ	Ξ	Ξ	•	-	Ŀ	Ŀ	1	1	1	1	<u> </u>	=	王	듸	<u>'</u>	<u>'</u>	'	깈		-	Ľ	Ľ	1	'\	4	듸	4	-	H		
ъ	R7		,	C4H9	I	,	,	,	,	,		-		I	C4H9	I		,					ا،		,	ᅱ	C4 13	Ŧ		,	1	1	,	١,	١,		•	۱.	'	푀	1	,			
	15	1	╀	╀	╀	1	+	╁.	╁.	╀.	<del> </del>	-	┞.	Ļ	1_	┺	<del> </del>	1	1	+	;†	, †	,	;†	1	I	Ξ	$\exists$	-	ı	1	Ī	Ī	Ī	1	1	1	1	Ξ	H	ı	1	ŀ		
	1 R6	4-	+	ᄪ	╀	+	1	╀	╄	╀	╀	╀	╀	╀	╀		┿	+	╁	+	+	+	1	7	7	Ξ	I	느	-	-	1	1	1	Ţ,	Ţ	1	7	7	•	Ξ	1	Ī	ŀ		
_	RS	4	+-	=	╀	1	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╀	╁	╀	╀		╀	+	+	+	,	,	7		,	1	1	1	1	١,	Ti	١,	Ţ	T,	1	7	1	1	1	Ī	Ī	1	]	
	E E		1	╀	╀	╀	╁	╀	╀	╁	╀	╀	╀	╀	╄	╀	+	+	+	+	+		1	-	-	-	╁	1	١,	<del>ا</del> ،	ţ,	ţ,	١,	t	†	1	1	ī	1	1	Ţ	Ti	Ī	1	
ī	0	-	4	╁	+	4	+	1	╬	╀	+	╀	╀	+	╁	╁	╁	+	+	+				1	-	┡	۱.	١,	t,		t,	۲,	†,	†	†	7	7	•	,	1	1	١,	1	7	
	la	-+	1	4	4	4	+	+	+	+	+	4	+		+	+	+	+	4	4	呈	•		1	-	١,	╀	╀	١,	١.	1	†	1	†	;†	7	1	,	١,	†	1	1	1	7	
L	ď	2	4	<u>'</u>	1	4	<u>'</u>	4	4	4	'	4	<u>'</u>	4	4	<u>'                                    </u>	4	<u> </u>	-	4	Ħ	_	Ë	ŀ	ŀ	F	╀	╀	+	+	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	†	†	1		t	t	t	†	†	†	1	
	1	2	ᅬ	=		4	뒥	4		ᆈ	=	+	╬	= :	=	ᅱ	ᅱ	ᅱ	Ŧ	I	I	I	Ŧ	Ξ	Ī	1		=	1-	-		1	=			듸	I	I	1	‡	+	다 나	<b>=</b>  -	키	
	ŀ	-	1	1	1	1	1	1	$\Box$	1	1	1		1	1					13	1						<u> </u>		]		.		1	$\perp$	ل	F3	╏┰	١,	١.	<u>. </u>		되:	되	띬	
	-	8	푀	ㅋ	듸	푀	뉙	뒥	빙	ᅱ	퓌	닉	S	뮈	干	Ŧ	H	I	H	SE	I		-		†	1	7	1	1	٦		5				2			1	1	1	$\bot$	_		
		 &	Ŧ	H	H	H	H	H	H	u.	CF3	I	Ŧ	u.	CF3	I	I	H	L	-	=		1	-	=		=	1			=	Ŧ	CE3	Ŀ	I	I		١	3	듸	=	Ξ	u.	Ξ	
٦	٦	_	L		L			L	L						L	L	L	L	L	L	┺	1	4	+	+	+	$\dashv$	┥	1	1	$\exists$	$\exists$		_		<u> </u>	1	‡		7		王	_ 	I	
	-	R	F	┰	┰	Ŧ	Ŧ	ᆍ	<b> </b> ≖	Ŧ	Ŧ	ᄑ	Ξ	ᄑ	ΪΞ	Έ	╁	ŀ	╌	1	7	1		1			日	日				_	_		Ė	ľ	1	7	7				F		
		9	1	1	_	_		1	<b> </b> _	-	=	Ţ	1	-	-	-	1		[	-	<u>.</u>	4	=	=	ച:	ᅬ	ᅬ	되	푀	I	I	I	Ξ	Ŧ	┢	₽	4	듸	듸	Τ	Ξ	ᄪ	I	F	
		88			ľ	ľ	Ľ	L	1	1	1	F	F	L	1_	1	4	4	4	4-	-	+	-	-+	-1	_	Н					Г	Г	Т	T	1	١	┧		+	ļ	-	ļ.,	1	
1		临	<u> </u>	╪	=	╪	╪	╡╛	╪	₽	┤╌	┾	┢	₹	₽	╬	₹	╬	43	4	딕	딕		-	믭	Η	Ξ	Ξ	Ξ	L		Ľ	广	ľ	ľ	1			Ĺ	-	┞	╀	╄	╀	-
ŀ	_	12	;	1	1	1	†	Ť,	1	1	1	Ţ	T	Ţ	Ţ	1	1	1	ī	,	1	日	ı	i	1	1	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ľ	Ľ	Ľ	1	1	<u>'</u>	1	Ľ	Ľ	Ľ	╀	╀	╌	-
		120	-	†	+	,	†	1	†,	,	†,	Ţ,	Ţ,	Ţ	1	1	1	1	1	7	1	日	•	-	ì	ı	١	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	1	1	4	<u> </u>	-	Ľ	Ľ	╀	╀	+	╀	-
	Ϋ́	ъ	2	+	†	†	;†	†	†	,†	,	1	†	1	1	1	1	1	,	1	ار	H	_	ι	1	١	Ŀ	١	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	1	'1	1		Ľ	Ľ	Ľ	'	+	4	+	-
		H	_†	;†	;†	†	†	;†	1	;†	,†	,†	†	1	1	1	1	,	1	1	-	I	-	ı	ı	ŀ	ŀ	Ŀ	Ŀ	ŀ	Ŀ		_	1	_	<u>'</u>	1	Ľ	╀	+	4	1	+	4	4
	$\vdash$	1	4	1		#		1			=			₫:	4		=	曰	曰	Ξ	Ŧ	Н	Ξ	I	F	=	=	= =	1	Ė	9	4	Ė		日	Ξ	Н	Ξ	早	1	4	듸	7	7	7
		ľ		$\exists$	1	+	7	7	1	+	+	†	†	1	1	1	1				Г											]	┦,			L	l.	<u> </u> _	]=	d:	1	1		노	ᅱ
		1	2	픠	뜅	키	ᅱ	ᅱ	뙹	띡	딕	딕	딕	딕	4	щ	퓌	H	I	Ξ	F	ľ	╁	ľ	-	ľ	77	7	7	9	٦	1	1						1		1	┙	ight floor	_	_
		ŀ	-	Н	$\dashv$			$\exists$	1	1	7	$\dashv$	1	1	1	_	9	6		Ę	Ę	Ę	†	ţ	<u></u>	<b>†</b>	1	1	7	7	55	1						,	٦,	٠,	, J		C12H25	C12H25	9
		۲	2	H17	L.	<b>C8H17</b>	C8H17	H19	u	Ξ	ш	Ц	Щ	Щ	ᅱ	I	<b>C9H19</b>	C9H19	C10H2	C1017	10E	35	3=	1000							吕	듸	ㅋ	щ	4	۳	┞	╬	3	3	S	C11H23	22	2	히
	١	١	_	CBH		ဗ	ဗ	H60									Ö	Э	ပ	Ċ	S	ķ	2	ľ	半	4	9	7	7	4		4	4		L	┞	╀	+	4	$\dashv$	$\dashv$	Н	$\exists$	H	Н
	ł			T	T	T	r	_	Γ	Γ											1	].	4:					_	닖	亅	ᅱ	٦	Ŧ	L	ا	<u> </u>	4.	4		늬	늬	크	Ξ	I	뉙
			8	I	F	╁	Ŧ	I	I	T	F	I	F	F	۲	۲	ľ	ľ	-	17	7	7	1	1	]									L	L	L	1	1	_			Ц	L	Į.	Ц
C	1		Ŀ	t	+	+	1			<u> </u>					Ţ	Ţ.,	Ţ	Ļ	<b>T</b>	1	J.	٦	مارد	J		2	္ဌ	4	5	9	247	8	6	ļç.	1	냚		S	27	55	28	57	28	100	100
i H	X0-1/2	2	2	291	36	160	35	150	15	15	228	22	13	23	Š	3	35	3	36	3	ॳ	3	्य	খ	2	24	243	24	24	27	27	2	12	٦	15	46	1	7	7	2	~	$\Gamma$	$\Gamma$	1	
<u>.</u>	-1		_	1	L	L	1	L	L		L	L	1_	ㅗ	_	上	L		٠.	_	_	_1	_1	_1	1	_	۳	<u>.                                    </u>	_	_	-	_	_	_						_					

「一番」	1 1 m - 1 7 - 6 XF						•	• -						4				-										-											•			٠.
	T	<u>.</u>	,	-	<u>.</u>	<u>.</u>	•	,	-		-	,		,	•	<u>.</u>	,	·	•	, ,	ì	·	<u>.</u>	·	١	'	<u>'</u>	-		,	,		ı		-	,	,	-	_	1	•	
-	,	•	•	•				-	,	,	-	٠	-	<u>.</u>	-	•	,	,	=	•	•	-	•	!	-	-		-	•	·	·	'	'	'	1	٠	-	-	ı		•	
,	9	'	•	-	1	•	<u> </u>	'	,	-	•	'	,	'	-	-	,	-	C(CH3)3	'	,	'	'	-	-	'	'	-	,	•	,	,	1		1		_	-	ı		-	
,	<u></u>	'	'	-	,	-	'	-	-	1	-	,		,	-	,	'	-	C(CH3)3	-	-	'	'		,	,	,	'	'	-	-	-	•	-	1	1		1	,	,	ŀ	
	in	ä		-	-		_	٠	-		-	•	,	_	,		P	٠	•	•		Ia2	la2	lq2	Ia2	195	192	la2	la2	192	Jq2	la2	la2	Iq2	Ia2	102	192	192	20	202	1/2	1744
	4	P.	-	-	-	-		ŀ	,		,			1	1	-	Ph	,	,		-	占	Ph	Ph	P	P	占	Ph	h H	Ph	Ph	Ph .	P	뮵	늄	4	4	á	á	á	ó	
	8	la2	la2	la2	la2	Iq2	lo2	102	102	[2]	20	la2	Ja2	la2	Iq2	la2	Iq2	la2	la2	la2	la2	la2	Iq2	Ig2	la2	Iq2	la2	la2	lo2	lg2	lo2	lg2	102	lo2	102	102	2	202	100	201	35.	781
Ī	∢	栕	Ę	ď	듄	듄	á	á	á	á	ď	á	ď	ę	듄	듄	듄	H.	Ph	ď	ď	듄	듄	ď	P.	돈	듄	4	F.	F.	4	Æ	ď	Ę	á	á	á	á	á	á	ا د	5
	c	-	6	-	-	-	-	,	-	-		-	0	-	0	0	-	0	-	0	-	-		-	-	-	-	-	-	_	_		-	-	-	-	-	$rac{1}{2}$	-	$\frac{1}{1}$	-	-
Ī	E	~	-	~	~			*	*	,	7	•		-	-	-	~		~	<b></b>	~	~	,	~	-	2	,	-	-	,		-	1	,	4	•	1.	1	4	1	1	7
ᅴ	Σ	<u> </u>	Ļ	ţ.	<u> -</u>	-	-	- -	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>	-	Ļ	<u> </u>	-	ŀ	<u> </u>	-	<u>.</u>		<u>.</u>	<u> </u>	<u>-</u>	_	<u>.</u>	-	<u>.</u>	<u> </u>	_	<u>.</u>	-	<u>.</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>.</u>	-	<u> </u>		-	<u>.</u>	_
[表9-	ž	281	26.2	282	284	28.	886	200		907	607	275	272	27.2	25.2	275	37.6	1	, K	200	200	Ē	283	283	287	, ,	288	287	280	ě	300		606	202		700	CR S		£ 1	<b>3</b>	5	8

																				_	_	_	_	_	_	_		-	_	_	Τ-	_	τ-	_	Т.	Т.	1.	Τ.	1.	T	Τ.	٦.	
П	<b>R8</b>	[i]	7	7	1	1	Ţ	ı	Ī	Ţ	Ţ	Ī	ŀ	١	ין	1	1	1	1	1	12		1	1	'   '	1	<u>'</u>	1	<u>'l'</u>	_	Ľ	Ľ	1	Ļ	Џ'	1	Ψ'	1	╁	-	+	-	
	\	ቨ	7	ī	1	-	١	Ī	1	1	1	1	Ţ	ŀ	Ī	ŀ	ŀ			1	止	5	<u>'</u>	1	<u>'</u>	1	1	1	<u>'</u>	1	1	Ľ	1	<u> </u> '	<u> </u>	4	\\	4	+	+	<u>'</u>	4	
'n	R6	1.	1	1	ī	ī	١,	1	Ţ	1	1	1	Ţ	Ī	Ti	Ţ	1		·	١	1		<u>'</u>	<u>'</u>	1	<u>'</u>	4	¹⊥	1	1	1	Ľ	4	1	1	1	4	4	+	+	+	-	
	R5	-	-	•	1	١,	1	ţ,	1	1	1	,	1	1	Ţ	T	1	T	-	וי	1	Ξ	١	<u>'</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>'</u>	1	ᆚ	<u>'</u>	<u>'</u>	1	1	4	4	+	<u>'</u>	+	+	4	+	4	
	210		-	-	1	۱,	١,	١,	1	1	1	1	,	1	1	T	T	•	1	١	-	1		工		Ξ	三		듸	듸	달		<u> </u>			]	1	듸	1	+	+	4	
	8		1	1	1	†,	۲,	1	1	,†	,	1	,	1	1	ıŢ	1	ī	ī	7	ī	٦]	Ŧ	Ξ	三	Ι	三	듸	되:		듸	4	1	1	-	4	+	듸	4	4	+	4	
-	ă			١,	١,	t	1	,	,†	1	7	1	1	,	1	,	,	=	7	1	1	٦	曰	푀	푀	I	푀	되	$\Xi$	I	=	5	=	듸		Ξ	듸	듸	4	4	4	4	
œ	150	-	╌	١,	ţ,	†,	+	†	;†	1	7	1	1	ij	1	ı	,	Ξ	٦	ī	1	ı	Ξ	Τ	Η	I	Ξ	Ξ	工		크:		듸	듸	듸	듸	듸	듸	'	4	4	4	
1	300		+	١,	†,	+	†	寸	1	,	7	1	1	1	,	1	7	囙	1	1	ı	1	Н	Η	Н	Н	ェ	Н	듸	듸	三	듸	三	旦	듸	三	듸	彐	4			4	
	h	-	╁╴	۲,	+	†	+	†	7	7	7	7	7	7	1	,	1	Ξ	1	-	•	-	Н	Ξ	Ξ	H	Ξ	Н	I	三	三	듸	듸	픠	듸	Τ	Ξ	Ξ	_	Ц			
$\vdash$	╁	5	1	:		:	1	土	듸	듸	三	王	듸	工	킈	킈	되	Ξ	Η	Ξ	E	Ξ	Ξ	F	Ξ	Ξ	I	Ξ	ェ	I	王	Ξ	픠	듸	크	H	Ξ	Τ	H	Ξ	Ξ	픠	
	1	5		+	+	ᆉ		┪	_1	<u> </u>	H	Ξ	王	되	彐	듸	王	ェ	H	I	Ξ	Ξ	Ξ	I	Ξ	I	I	I	I	Ξ	포	ᅬ	Ξ	I	I	I	Ŧ	ᄑ	ェ	ェ	Ξ	Ξ	ļ
	ľ	-	7	7	1	7	7	7		၁	H	H	$\dashv$	$\dashv$				_	┞	$\vdash$	┢	H	$\vdash$	t	T	t	T	T	T	┌	П					Γ	Γ	<u>유</u>		Γ			
		 چاچ	_ _		╢.	_	ل	贸		_		I	Ξ	F3	I	Ξ	I	H	Ţ	L	-	-	=	=	=	: -	╣≖	¦≖	╁	I	Ŧ	Ξ	ェ	ェ	u	Į≖	┞	8		Ŧ	I	ᆂ	
	ام	٦	-	٦.	1			ပ		Γ	l			0			ŀ		1											1							L	ပုံ	1	L	L	_	
	-		+	1	1			-	_	-	<del> </del>	-	_	_	_	Ţ	Ī	-	1	1		-	-		1=	-	=	-		Ī	Ī	Ξ	Ξ	Ξ	┰	=	: =	=	=	I	=	 	
					- 1	1	. 1		L	ł.	1		1	1		1				I	1_			_	_	_	-	-	-	-	仧	_	_	<u> </u>	ţ	-	<u> </u>	1	<u> </u>	<u> </u>	1	=	
-		8	듸	듸	日	Ξ	Н	E	Ξ	=	ľ	E	Ξ	I	I	I	I		1	1			1	1		_	_	_	4	_	_		1						•				1
1		32	日	三	Ξ	Ή	Ξ	I	=	=	= =	=	=	Ī	ļ≖	=	╁	: -	╬	= =	47	5	43	딕				=	= =		ŀ				ľ	]]	]	]=	1	7	1		1
1		4		_		┞.	-	T.	t.	t	1	Ι,	t,	١,	١.	١.	١,	Ţ.		T	Ţ	Ţ	1	_	=	_	= :	=	늬	- -	= =	-	= =	= =	= =	- -		-	= =	디	타	디크	-
1		R4		1	-	Ľ	Ľ	Ľ	Ť.	ľ	1	1	Ļ	ļ	Ļ	1	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	┽	+	+	+	+	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	$\dagger$	1	<u> </u> ;	<u>†</u>	1	†	†		_[_
		8	Ξ	,	۱	١	۱	۱	١	1	۱,	۱	۱	ا	ŀ	1	1		티	۱'	۱'	۱	۱ŀ	디	+	딕	퓌		=			1						5	4				_
	⋖			-	<del> </del>	t.	t.	1.	†	†	†	,†	,	†	1	,†	†	1	_	,	,	,	,	Ŧ	_	Ξ	土		Ξ:	=	Ξ :	-	-	- -	-	ᆈ	┷ :	╼	듸		CZTP	SHI	Ę
		E	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	<u> </u> '	1	1	4	1	4	7	1	1	4	4	1	7	4	4	4	4	4	-	4	Н	-	$\dashv$	+	╁	╁	+	+	╅	+	_	+	+	┪		十	7
		\ <u>~</u>	Ξ	۱.	١,	۱,	۱	1	۱	۱,	۱,	1	١	۱.	۱'	۱	۱,	۱ ا	ᅬ	1	۱'		'	工	듸	I	듸	픠	되	T	1	1					I					1	1
	$\vdash$	+	+	T	t	t	$\dagger$	†	1	1			1	┧,	,†	#	_	╗	ᅱ		]	Ī	Ξ	H	Ŧ	I	Ξ	Τ	国	I	=	r]:	ᆈ	노	ᅵ	ᅬ	ᆈ	ᅬ	ᅬ	되	푀	=	ᅬ
	1	å	I		ľ			1	1			┙	4		1			4	$\exists$	$\exists$				H	Н	_	$\vdash$	H	Н	$\dashv$	┪	$\dashv$	+	+	1	$\exists$	1	1	-	$\dashv$	7	1	1
			, _	15	2 5	2		-	ES ES			丄	C7H150			ᅬ	ᅬ	ᆜ	I	I	Ŧ	H	I	ı	I	I	<u> </u> _	r	노	Ξ	ᅬ	工	ᆈ	ᅬ	푀	I	I	Ξ	Ξ	되	Ξ	ェ	ᅱ
		8	-	٦			5	3	Ö				밁		1									_			L		Ш							L	Ц			Ц		$\sqcup$	4
		$^{\circ}$	۲	3	†	†	7	1				27		듨		0	2	06	137	139	665	<u> </u>	14	2	15	F	19	C(CH3)3	I≡	113	C7H15	<b>C8H17</b>	<b>C9H19</b>	H21	C11H23	C12H25	C15H31	C18H37	C20H41	I	I	모	上
	١	18		22/2/2	=	뒥	듸	ᅱ	Ŧ	Ŀ	느	C13H2	Ξ	C15H3	노	<b>CF30</b>	<b>C3H70</b>	C4H90	C18H37	C19H39	C19H39	C20H41	C20H41	S H S	C2H5	7		Ç	동	<b>C6H13</b>	C	80	60	C10H21	11	CIS	25	2	8				
_	1	-	4	7	4	4	-	Н	H	$\vdash$	ŀ	10	H	2	Н		-		t	t	t	t	T		1	†	†	t	T			H	I	I	Ī	-			Ī	Ī	-	Ē	旦
	38 1 C	Įč	2	= :		ᅱ	ᄑ	I	ᄪ	۳	۳	F	Ξ	Ξ	1	Ξ	Ξ	Ξ	-		E			1		1	1		╄		L	L	-	_		╀	L	┞-	┞	1	1-	F	Ц
C L	깕	<u>۔</u> ع	1	781	262	263	264	265	996	287	ğ	269	270	271	272	273	274	275	37.6	11.0	12 K	100	36				202	S S	388	ie E	288	289	28	291	292	18	ğ	295	18	16	36	365	8
T T	7	Z	- F	~	~	7	2	12	10	40	40	46	۱ <sup>۲</sup> ۷	12	ľ	1	ľ	ľ	Ľ	'n.	ľ	Ľ	L	1	Ľ	l	Ĺ	L	ᆚ_	┸	<u>_</u>	1_	_	1_	_	_	_						

$\overline{}$
続
IJ
7
0
-
表
_

_			_	_,			_	_	_			_		_		_	-т		-т	-,	_	_		-	_	_	_		7	_	_	-	_	_		_	-	-1	_	$\neg$	$\neg$
	В	Ia2	la2	Ja2	<u>I</u>	<u>la2</u>	192	la2	la2	Ia2	la2	Ia2	la2	ı	t	•	1	,	1	'	ı	ì	1	ı	1	ı	1	1	'	la2	102	70	192	1a2	Ia2	Ia2	la <sub>2</sub>	<u>la</u> 2	<u>la2</u>	la2	la2
	Α,	Ph	Ph	돈	됩	占	Ph	Ph	P.	Ph	Ph	Ph	Ph	ı	ı	_	•	,	•		-		-	1	1	_	1	1	1	F	됩	4	됩	ď	占	Ч	Ph	H H	Ph	<u>ء</u>	ద
ĺ	8	la2	la2	lo2	la2	la2	la2	la2	la2	la2	la2	Iq2	la2	la2	la2	Ia2	Ia2	Ia2	Ia2	Ia2	Ia2	la2	la2	la2	Iq2	la2	Ja2	la2	[02	la2	<u>la2</u>	192	la2	la2	la2	la2	la2	la2	<u>la2</u>	la2	Ia2
	∢	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	P.	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	됩	Ph	Ph	Ы	Ph	Ph	Ьh	Ph	Ph	Ph	ተ	٩ ۲	a	뮵	된	Ph	Ph	Ph	Ph	된	된	ď	둡
	c	-	1	1		-		-	-	-	_	-	_	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	1	-	-	1	0	-	1	-	-	-
	٤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	33	က	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	3	3	3	2	2	2	2	2	2	3	2	. 2	2	2	~
-1]	Σ	<u>.</u>	_	<u>.</u>	<u></u>	<u> </u>	-	-	-	-	٤.			_	_	_		] I	<b>!</b>	ŀ	- 1		-	-	_	-	_	<u>_</u>	Į.	٢.	ŀ	ľ	Į,	Į.	4	<u> </u>	4	ľ		ŀ	_
(表10-	£	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340

																					_												_				_	_	<b>.</b>		_			_	
	15		Ξ	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	I	Ī	F	4	-	日	Ξ	-	ı	ī	Ī	Ī	I		-	1	-	ł	1	ı	-	-	-	-	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	13	上	9	듸	듸	듸	
	00	_	1	F	Ξ	Ξ	Ξ	=	=	=	=	4	目	Ξ	ı	ī	ŀ	Ī	ŀ			١	'	1	-	1	ı		Ŀ	1	-	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Έ	Ξ	上		4	=	=	目	
	8	2 =	=	Ī	Ξ	I	Ī	1	1	-	=		囙	Ξ	-	1	1	ŀ			1	•	ı	1	1	-	-	-	Ŀ	١	'	Ξ	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	E	1	皇	= :	=	=	듸	
B	10		=	┋	Ξ	Ξ	Ξ	=	-	=	=	=	日	I	1	ī	1	Ī	T		:	ī	ı	1	1	-	-	Ŀ	Ŀ	Ŀ	Ŀ	工	ェ	Ξ	Ξ	Ξ	E	1	扌	댠	=	Ξ:	耳	듸	
	180	2 =	=	=	Ξ	Ξ	Ē	-	=	=	=	Ξ	H	Н	-	ī	ľ	Ŀ			1	<u> </u>	1	-	1	1	1	Ŀ	1	Ŀ	ŀ	Ξ	Ξ	Ξ	三	Ξ	Į	=	⇟	1	듸	耳	耳	픠	
	l d	2 =	-	==	F	Ξ	=	=	=	4	=	딕	Н	н	ı	ı	ŀ			'	1	<u> </u>	_	-	-	Ŀ	Ŀ	ŀ	Ľ	Ľ	'	드	Ξ	上	Ξ	Έ	13	上	⇟	=	=	三	듸	픠	
	1 7	= =	= =		-	=	-	=	=		Ŧ	I	H	Ξ	Ξ	Ξ	13	1	4	4	듸	三	Ξ	Ξ	Η	Ξ	Ξ	Ξ	E	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	1	===	13	╬	듸	丁	듸	日	Ξ	
	8	₹ 2	=		Ξ	=	===	=					Н	Ι	Ξ	I	1	1	4	=	크	王	H	Ξ	H	Ξ	Ξ	Ε	+-	╄	Ξ	Ε	Ξ	王	1	-	卫	\$	\$	듸	Ξ	크	Ξ	Ξ	
a	1	2			3	]		=	-		ᅬ	-CT-CT-CH3	I	I	I					=	I	H	I	Ι	I	]  - 	I	-	COOCAH13		OCH203F7		I	1	1		=	<b>E</b>		I	I	I	エ	I	
	-	<u> </u>			-	  -	1				Ŧ	Ť	I	===	-	-		1	늬		H	H	I	I	-	1	-	-	Ť	+	╁	=	-	-	+	=	=	=	+	뒥	Ξ	王	Ξ	Ξ	
	H	<u>.</u>	+		+	+	1	+			H	-	-	<del> </del>	١,	1,	<del> </del>				I	H	<u> </u>	1	-	<u> </u>	-	-	+	<u>†</u>	‡	1	<u>_</u>		d :	<del> </del>	=	#	ᅱ	亅	エ	I	I	F	
	ŀ	-		7	+	7	7	7	7				╀	╀	╀	+	+	┨	$\dashv$	$\dashv$	_	$\vdash$	┞	+	╀	╀	╁	╁	+	+	+	1	+		1	+	╁.		┧		_	-	Ī		
		8	크	丁	1	5			듸	エ	Ξ	Ξ	Ξ		1	1	1		Ξ	H	I	Ξ		-	1	-	1	7	7	7		7	1	1	1	7		7	7		Ė	F	F	F	
		쮼	ᅬ	邦	탸		Ξ.		I	I	Ξ	Ξ	=	1	=	1	<u>'</u>	<u>'</u>	1	-	1	,	Ŀ	Ŀ	ŀ	1		1	<u>'</u>	<u>'</u>	1	<u> </u>	1	=	1	=	=	1	Ξ	エ	Ξ	I	I	Ξ	1
1		82	$\equiv$	=	=	=	-	Ξ	Η	I	Ŧ	Ξ	-	=	5	1	<u>'</u>	'	1	ı	1	ľ	ŀ	ŀ		1	1	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	=	1	1	5		크	Ξ	H	Ξ	Ξ	=	=	1
	¥	R2	C(CH3)3	되	C6H13		C8H17	C9H19	C10H21	C11H23	C12H25	C15121	2480027	/SU013/	לאטאט	-	ı	8		ı	1								'	-	,	<u> </u>					Ŧ	Ξ	I	I	I	  - 	I	1	
		R	H	Ξ	4	Ŧ	Ŧ	I	Ξ	I	F	-	4	=	=	1	ı	ı	-		,	ŀ				•	ا.	'	<u>.</u>	١	'	<u>.  </u>	=	日	크	크	Ξ	Ι	I	Ξ	Ξ	╪	=	中	=
Ī		R4	H	Ξ	日	王	I	Н	Ξ	=	=	-	-	=	-	日	Н	I	I	I	-	-	=	=	+	=	듸	뒥	푀	=	Ŧ		Ξ	되	크	I	Ŧ	Ξ	Ξ	E	-	1			4
	¥	22	I	I	H	I	Ξ	I	I				=	F	Ŧ	CH3	C2H5	CH(CH3)2		C(CH3)3		5,190	SPE SE	C/H15	) I I I I I I	C9H19	C10H21	C11H23	C12H25	C15H31	C18H37	C20H41	C꿈3	C2H5	C3H7	C4H9	C(CH3)3	C5H11	C6H13	C7H15	75000	2000	-15	CIVITAL	듸
		R2	I	<u> </u>	Ξ	Ξ	I	CH2OCEH11	1000					H	Ŧ	I	I	1						H	<u> </u>	Ŧ	I	H	H	I	H	H	Ŧ	Ξ	Ξ	I	1	I					= -		
-2]	١.	2	=	=	Ξ	Ξ	-	=	4	+	4	뒥	뉙	Ŧ	Н	Ξ	<u> </u> =	<del> </del> =	₽	╡	4	4	뉙	크	丰	$\pm$	I	H	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	F	Ξ	Ξ	Ξ	Ε	Ξ	ŀ		生	=	=	日	크
[表10-2]		ير چ	301	303	303	305	305	300	350		88	300	310	311	312	313	315	2,0	***			318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	333	32	325	***	200	3	33	88	339	8

[表11-2に続く]																					-	-																			
in m		1	-		-	'	-	,	-	-	٠	,	'	-	,	,	,	ا.	,	_	٠	-	۱.	•	۱.	,	١,	٠	•	۵	۵	12	۱,	٠	۱	۱.	·	۱	1	à	ď
2		•		,	'	١.	-	,	-	•	,	'	,	,	-	•	-	'	•		,	'	'	,	·	Ξ	몽	Ξ	뜅	•	-	•	'	'	•		윉	Ξ	윉	-	1
ŋ		·	:	-	:	ı	1	-	-	-	-	1	1	<u>'</u>	'	'	'	1	1	,	1	ı	,	1	•	CH3	CH3	C(CH3)3	C4H9	_	,	ı	_	ı	-	-	CH3	C(CH3)3	C4H9		-
n		•	-	1	ŀ	1	-	•	_	1	ı	_	1	1	-	-	ı	•	ł		1	1	•	1	ı	CH3	S 당	C(CH3)3	윉	-	-	-	1	1	-	-	CH3	С(СН3)3	СНЗ	-	•
à,	1	ě	la2	la2	lq2	lq2	la2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	lg2	lq2	la2	la2	la2	lq2	la2	lq2	ı	, -	_	٩	•	•	'	'	,	1	-	1	•	Pr	-	-	1	٠	-	-
~	ź	5	돈	됸	ዋ	Ph	Ph	ዋ	£	Ph	ď	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	P	Ph	-Ph	Ph		٠		ď.	-		-	-		-	-	1	ì	Ph	_		_	•	•	-
80	5	ğ	la2	Iq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	192	Iq2	lq2	lq2	lq2	lo2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	192	lq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	la2	la2	Jq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	la2	Iq2
<	á	Ē	Æ	P,	Ph	Ph	Ph	Ph	P.	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	P.	Ь	Ph	ď	h L	Ph	된	P.	Ч	Ph	ዋ	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	ЧЬ	Ph	Ph	чд	ча	P.	Ph	P.
۲	1	-	1	1	1	_	1	-	_	-	-	-	1	1	1	1	1	ļ	-	-	_	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1 .	1	0	0	1	0	l	1	-	-	-
Ε	Ţ	7	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	- 7	2	2	2	2	2	3	3	က	. 2	2	7	2	_ 2	2	- 7	2	3	3	2	က	2	2	2	2	. 2
2	ŀ	ŀ	4]	4	1	-			.5	.5			-	-1	J.	41	-41	1	_		<u>.</u>		41	_			1	1	Į.	1	J.	1	۵		<u>.</u>	1	-	۵	, <u>,</u>	ı,	<b>.</b>
2		341	342	343	344	345	348	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	388	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380

											_		_	_	,	_	_	_	_	-,	_	_		Τ-	$\neg$		Т	1	_	<del>- : -</del>	<u> </u>	Τ.	Т	T	, 1	I	1	П	1	П	1	1	Π	1	7	
$\prod_{i=1}^{n}$	띪	ı	7	1	1	1	١	ı	ı	1	١	ŀ	١		<u>'</u>		1	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	1	L	닠		'	1	<u>'</u>	1	Ľ	↓'	4					H	Н	Н	Н	Н	+	+	+	
	82	ī	7	7	1	ī	1	1	1	1	ī	1	Ī	Ī	1	Ī	1	ı	ı	١	ان	וי	ı		<u>'</u>	ı	<u> </u>	<u> </u>	╚	1	Ľ	Ľ	1	4	1	H		Щ	Ľ	Ц	Ľ	Ц	Н	<u>'</u>	4	
I L	82			1		-		1	ī	,	Ī	ţ,	1	1	1	1	1	1	ī	1		1	1	T	1	1		•	i	ı	1	<u> </u>		되	I	I		Ľ	Ŀ	Ц	1	Ľ	Ľ	1	П 55	
E	-	H	H	Н	Н	_	Н	H	$\vdash$	<del> </del>	١.	t	†	1	1	†	,	1					1	†		-	T	,	,	Ī,	1	1		ᅟ	C4H9	н	,	h	١,	,	,	l.	ŀ	-Е	<del>1</del>	
	R	וי	-		1	1	_	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	ľ	1	'	<u>'</u>	_	<u>'</u>	_	_	Ĺ	Ŀ	Ĺ	Ľ	1	_	Ĺ	1	4		-	┞	╀	$\dashv$	_		-	-	+,	t,	1	١,	1	Н	1		
	<b>R</b> 6	ı	Ī	Ī	ı	-	ŀ	ŀ	١	ŀ	ŀ	1	ı١	١	<u>'</u>	1	'	ı	1	-	'	Ľ	Ľ	$\perp$	_	Ľ	1	<u>'  </u>	_	<u> </u>	Ľ	1	<u>'                                    </u>	듸	I	Ξ	╀	╁	╀	╀	╀	╀	Н	$\dashv$	$\exists$	
	R5	1	Ī	1	Ī	ī	ī	ī	1	Ī		T	1	_	ı	-	,	1	1	ŀ	١	Ŀ	1		1	<u>'</u>		<u>'                                    </u>	1	<u>'</u>	1	1	<u>'</u>	Ξ	エ	드	<u>  '</u>	1	1	╀	╄	╀	Н	Я	7	
H	R10	+-	-	-	Ē	Ē	Ī	1	Ļ	\$	4	4		Ξ	日	Η	Η	Ξ	Ξ	F	F	-	,		1	ŀ			1	1	Ŀ		_	-	1	<u>  '</u>	<u> L'</u>	<u> </u>	Ľ	上	<u> </u>	1	Ľ	Ц	4	
	6	ī	Ļ		<u> </u>	Ļ	1	1		1	4	1	4	Ξ	Н	1	Н	Н	-	Ļ	F	-			ı	1	T	1	ı	1	ŀ		,	1		1	Ŀ	Ŀ	Ŀ	止	Ľ	止	L	Ц	Ц	
	R	+-	E	E	E	E	L	Ŧ,	I	1	1	_		_	H	-	F	Ţ	ļ.	١,	<u> </u>	Ι.	1	7	1	١,	†	Ξ	1	1	1,	1	1	ī	-	1	Ī	ı	þ	۱	ŀ	ŀ	1	١٠	<u>'</u>	
<u></u>	88 88	+	#	#	#	ľ	#	#	Ŧ	+		٦	7	Ш	E	Ē	E	E	E	L	Ł	Į,	}		1	١.	+	Ŧ	-	١,	١,	$\dagger$	ι	<b>!</b>	1	1	T	1	1	٦,	1	, ,	1	1	N	
	127	上	丰	1	土	ľ	#	#	7	7	7			Ė	F	Ė	Ľ	Ľ	#	#	ť	Ŧ	╌	$\dashv$		╁	╅		┝	+,	╁	+	1	1	١.	١,	+	,	, [	<u>+</u>	,	1	1,	Ţ	П	
١	18	护	中	中	中	ŧ	中	生	生	4	크	Ξ	Н	Ε	Ξ	ľ	Ε	Ľ	ľ	7	7	T	1	<u>'</u>		╽,	4	<u> </u>	Ľ	╀	╫	+		-	├	+	╁	+	╫	╬	;†	+	:†;	+	H	
١	20	2	ф	4	ф	Ŧ	4	4	4	4	귁	I	Н	E	1	7	1	P	Ż	生	4	生	٩_		_	Ľ	'	エ	<u> </u>	<u> </u>	-	4	1	-	Ľ	-	╀	+	7	7	7	7	+	H	H	
T	ļ	1				1			1		$\blacksquare$	I	-	ļ.	L	-	Ļ	Ļ	╬	4	4	╪	<b>d</b> :	I	I	: =	╒╽	I	ד	: =	= =	Ę∖	I	ן≖	ļ≖	∶│≖	- -	┰╞	+	Ŧ	干	干	十	士		
	ē	4	7	4	7	+	+	+	4	4	Н	_	┞	╀	+	ł	╁	╁	+	+	+	+	$\dagger$	_	$\vdash$		ᆵ		T	十	十	_		Τ.	1_	1.	Τ.		=		Ţ	Ţ	$\mathbf{I}$		Ļ	
	100	콷	4	4	4	4	4	뉙	귁	귁	Ξ	Ξ	Þ	þ	中	ŧ	ŧ	ŧ	ŧ	+	4	#	뒥 :	I	٦	:   }	ᇙ	エ	=	=   =	-   :	디	工	I	=	╌	- -	Ι,	g				1	I	I	
	ا		$\pm$	4	1	Ⅎ	1	1			F	L	Ł,	‡	1	‡	‡	‡	;	#	+	1	#	 I	l		Ĭ	H	†3	: 1:	=1:	Ξ	I	Ξ	2	= =	= 1	L.	耳	H	7	4	#	中	中	1
ľ		윋	7		7	4	4	╡	Ħ	Ξ	F	Ë	F	#	Ŧ	1	1	$\pm$	3	3	$\exists$	$\exists$	₽	_ _	╁	╁	H	ᄪ	†-	:1:		Ξ	I	1	:   -	=   =		王	$\equiv$	日	耳	国	4	毒	丰	1
١	[	$\geq$	当	П	7		Ξ	H	Ξ	H	Ε	E	T	7	Ŧ	7	4	7	7	4	4	$\dashv$	7		╀	╁		├-	╀	+	+	_	I	┿	╁	-1-	=	긒			H			1	丰	1
١	18	8	뉙	ㅋ	푀	-	日	Ξ	Н	E	F	t	Ŧ	\$	4	4	4	7	7	Η	H		7	工	13		I	Ξ	╄	-+	+	-	-	╀	╫	+	┰		E	$\Box$		H		+	#	1
		R5	H	H		H.	H	Н	F	-	┾	þ	ŧ	4	#	4	4	ᄇ	크	Ξ	H	Η	王	Ξ	Ŀ		I	E			듸	エ	I	=   =	1	-	4	エ	╀	H	Н	₽	Н	7	Ŧ	-
	1	7	H	Н	Н	Η	H	F	F	F	þ	þ	4	4	4	4	4	뒥	H	Н	Н	H	Ħ	ŧ			1	I		1	<u>'</u>	1	Ľ		$\perp$	<u>'  </u>	4		Ľ	F	<u>'</u>	Ľ	<u> </u>	'	"	-
	ŀ	=	H	H	Н	r	r	r	t	t	ţ	1	1		1	7	_		3	2					Τ			Ţ	Ī		١			1	١	1	١				١				1	
		2	Ļ	Ļ	L	_	£	Ĕ	Ė	É	É	Ŧ	3			H	Ī	OH2	1H2	<u>2H7</u>	5H3	8113	0H4	ι		,	1	=	= [	1	1	ı	۱	·		1	۱	1	1	F	<b>†</b> '				1	1
	L	Щ	Γ	Γ	Γ	Γ	۲	٤	***	¥	¥	≹	3	S	Ö	င်	ပ	$c_{10}$	ပ		C	ö	Ö			١		1	١				١			1	Ì			L		L	L			
	۲	┝	╀	╀	╀	┞	╀	╁	╀	╀	+	+	1		Н		Н			L	t	t	H	Γ.	†	:1		١.	_		,	1	T	.T	7	7			Ţ	ī	١	Ι,	١,	$ \cdot $	,	ıĮ
		R	<b>:</b>  -	t	1	t	₹	₹	t	Ŧ	4	7	۶	I	F	н	H	Ľ	Г	ľ	ľ	Ľ	Ľ	Ľ	1		'	L	1	_	_	Ŀ	1	4	4	-	$\dashv$	_	╀	╀	╀	+	╀	Н	Н	$\dashv$
		1	١,	1,	1	Ţ	Ţ		Ţ	I	1		H	Н		Н	L	L	1	┡	₽	₽	₽	۱ ا	1	ı	1	=	=	•	1	١	1	١	۱	그 [	1	١.	1	۱þ	٩'	۱ ۱	<u>'</u>  '	'		1
	L	Ľ	Ţ	Ţ	Į	Ŧ	1	1	+	+	4	4	Н	ŀ	╀	ŀ	H	┞	╀	╀	╀	╀	╀	┝	+	-	┝	+	_	_	_		Τ.	_	⇉	#	ェ	1	.†		‡	#	‡	Ţ	$\Box$	
		2	ᅣ	+	中	╪	中	中	4	4	긕	ᅻ	Ŧ	F	╆	F	t	P	t	t	t	中	Ŧ	17	-	I	┸		F	Ξ	Ξ	Ξ	1		듸	듸		Ļ	1	7	Ţ	Ţ	Ŧ	F	П	П
		H	1	٦,	‡	‡	‡	†	†	1	┪	1	r	T	T	T	T	T	Ē	4	K	1	T	Γ	T		Π	1	1			1				1					<u>k</u>	킈.	$\perp$	L		Ц
-		18	26	Ť		╬	<u> </u>	4	4	뉙	土	T	┢	þ	┾	þ	þ	₽	℟		₫		虍	<b>3</b> =	- ]	I	Ī≖	=   :	디	I	Ξ	╽≖	-	┸╽	┸┃	ᄑ	I	╽≖	- [	Ŧ	٦		Т	Ħ	†	П
	١		k	⇉	苳	⋠	Ĕ	١	1					L			1	1	ľ	9	ľ	3	┸		_		L	4	_		L	L	4		-1		_	╀	4	+	╁	+	+	╀	╁	Н
	r	4	7	1	1	1	٦	٦	٦				Γ	T		I		١	1	١	١	١	l	١.	ļ	þ	\ \		ļ	ļ	ļ		, [	١١	ļ		þ	ļç	3	g	g		æ	*	实	ø
		12	갈	ᅿ	4	႕	귁	ᅬ	뉙	H	F	þ	þ	ŧ	中	#	4	ŧ	4	4	4	4	#	d,	M		ľ	\			卜	ľ	1						5	덩	경	1		果	苯	悶
•		١					١			İ		١	١			١				_	_ [			ľ		~	上			$\leq$	$\mathbb{M}$	Έ	1	$\preceq$		$\geq$		4	4	Ц	Ц	Н	$\dashv$	+	+	H
-	1	t				⇉		H	Ľ	Ļ	Ļ	Ţ,	1	1	Ţ	1	Ţ	Ţ	7	7	$\Box$		$\blacksquare$	1	I	Ξ		Ξĺ	I	I	I	:   :	ᄃ	=	I	Ŧ	Ŧ	: =	I	Ħ	H	Ħ	H	中	中	Ħ
-	双二-77	1	R		П	_		Í		Ľ	Ľ	T	Ţ	1	1	1	1	1	4					4		Ļ	╀	_	_	<del> </del>	<del> </del>	Η,	_	╗	· 6	0	+	+,	7	H	4	2	占	‡	*	幫
Ħ	K	Ž	2	4	342	343	344	345	<b>9</b>	E	Ŕ	*	*	₫	1	Ź	4	ş	355	356	357	358	329	9	361	362		363	364	385	188	1	8	368	369	32	37	<u> </u>	372	6	6	F	376	$\dot{\mathbf{r}}$	Ŧ	Ť
<b>-</b>	4	_	_	ב		Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	Ľ	1	1	ı		_1	_1	٢	نب	L-	_	_	٢		_		<u> </u>			•	-	_									-					

	【表12-2に続く】															-								٠							٠										
٦		la2		,	-	-	,		,	-	à	à	192		,						à	à	Iq2	-		-	•	•	٠	•	-		٠	la2	'	•	٠	1	•	à.	192
Ì	٦	,	-	-	,	,	Ξ	CH3	Ξ	똜	-	-	-		-		=	몽		똜	,	,	,	<u>.</u>		١	1	•	,	•		١	'	-	-	1	1	'	Ξ	•	•
	g	•	,	•	-		CH3	CH3	C(CH3)3	Q 보 원	,		,	-	'	-	옰	똜	,	<u>숙</u> 명	•	1	-	,	-	,	•	1	,	ı	ا،	-		ı	1	,		•	양	•	
	ш	-	•	'	•	-	당	CH3	С(СН3)3	<del>당</del>	,	-	•	1	'	•	옰	똜	'	윉	-	1	•	٠	'		-	-	'	,	'	,	,	-	1	1	1	•	CH3	-	-
ļ	œ.	-	:	-	-	Pr		-	-	ı	-	,	1	-	,	Ρŗ	•	1	1	-	-	1	-	7	'	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ı	-	Pr	-	-	
	٠	ŀ	1	•	•	Ph	-	,	-		_	1	1	•	•	ᄯ	-	-	-	1	_	-	1	•	,	1	1	•	1	ı	1	-	-	-	-	-	-	Ph	٠	•	·
	ω	Iq2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	192	192	Iq2	Iq2	Iq2	la2	Iq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	la2	la2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	lq2	la2	Ja2	la2	Ja2	la2	Iq2	Iq2	192
	∢	듄	된	P.	듄	듄	Ę	튭	ď	栕	전	H 나	Чd	Р	栕	ď	Ph	Ph	듄	ď	듄	듄	Ph	Ph	ЪЬ	ď	ЧД	Чď	P	44	РP	Ph	ዊ	ď	듄	ď	4	8	P.	돈	ዊ
	Ε,	-	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	-	1	-	0	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	-	L		
	ε	2	9	3	6	~	6	2	2	2	2	2	2	က	က	2	~	2	6	2	2	~	2	3	3	3	3	3	က	3	3	3	3	2	<u>س</u>	6	6	2	2	2	2
2-1]	W	1	-	جد		<u>.</u>	_	-	_	-		١.		۲.	-	ے	<u>.</u>	<u>-</u>	1	<u>.</u>	<u>.</u>	-	۲.	-	جد	<u>,</u>	'n	١.	<u>.</u>	3	-	_	-	<u> </u>	-	Ŀ	È	د.	-	_	<u>.</u>
[表12	å	381	382	383	387	385	ä	8	388	389	8	391	392	393	394	395	396	397	388	399	9	6	405	403	404	405	408	407	408	409	410	411	412	4	414	415	416	417	418	419	420

																			_	_		_	_	_		_	_	_	_		_	_	_	_	Т	_	Т	. T	Т	.1	$\overline{\mathbf{T}}$	$\Box$	
	12	=	ī	1	Ī	Ti	T	Ţ	īŢ	7	ı	1	1	=	•	1	ı	1	1	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u> </u>	彐	<u>'</u>	1	<u>'</u>	1	4	1	1	1	4	4		4	4	4	4	4	-		
	8	_	1	1	t	1	1	1	1	न	1	1	1	=	ī	ग	1	•	1	•	1	1	1	曰	<u>'</u>	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u> </u>	1	1	1	1	4	듸	╝	4	<u> </u>	4	4	-	二	
	ĕ	-	,	†,	†	†	†	1	1	1	ī	国	三	三	1	1	٦	ı	-	1	•	Ξ	王	王	刂	<u> </u>	<u>'</u>		<u>'</u>	1	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u> </u>	픠		븨	_		$\Box$	_	二	
'n	Н	十	<u></u> ,	1,	1	,	,			•	,	Ξ	C4 13	되		,	,	-	-	١	-	Η	<b>C4H9</b>	I				1	ا.	,	,	۱,	ا'	1	Ŧ	,	١	1	•	'	C4H9	푀	
	L	┸	+	+	+	+	+	+	-			Ŧ	┥	亅	┧	-	7	-	╗	_	1	I	H	Ξ	-		_	Ξ	1	╗	ī	7	╗	ī	Ξ	7	1	-	ī	1	国	Ŧ	į
	200		+	+	4	+	+	+	-		-	I	$\vdash$				1			1	-	I	Н	Н	-	-	-	,		1	7	ī	7	1	I	ī	1	1	ī	ī	Ξ	Ξ	
-	_		+	+	+	+	<u>'</u>	<u>'</u>	4	Н		-		-				_		1	-	-			-	-	-	Ī	,		ı	,	1	•	1	1	ī	ī	Ξ	ī	1	ī	
	⊢	2	+	+	+	-1		-		-	H	-	ŀ		-		H	1		-	┝	-	١.	-	-	-	-	1	,	H		1	-	-	1	ī	Ī	,	Ξ	1	1	Ī	
Īα	٦ <b>١</b> -	<u> </u>	+	4	<u>'</u>	┥	듸	<u> </u>	_	1	<u> </u>	Ľ	-	-	H	-	H	-	-	ŀ	-	⊢	١,	⊢	١,	١,	,	<del> </del>	1	-	1	-	1	ī	١,	١,	1	١,	Ξ	1	1	Ī	
1.	⊢	윈	+	4	4	4	듸		1	Ľ	╀	1	<u> </u>	<u> </u>	-	-	I	H	┞-	L	-	╀		1	┞	١.	١,	<b> </b>	1	1	-	,	1	1	١,	ļ,	t	١,	Ī	1	1	1	1
L	_1	8	4	4	<u>'</u>	-	Ξ	-	-	Ľ	<u> </u>	╀	Ľ	┞	⊢	⊢	├-	┝	┞	╀╌	╀	╀	╀	╀	-	╀	╀	-	-	Ī	三	Ξ	I	Ī	=	-	=	=	= =	=	=	=	
-		<u>~</u>	듸	듸	Ξ	3 H	Ξ	H	E	I	-	F	F	I	Ξ	65	-	F	-	F	F	+	F	+	F	F	~	4-	+	╁	十	t	_	t	t	t	†	5	-i	T	T	†	1
ļ		2	Ŧ	푀	Ξ	C6H1	I	I	Ŧ	╬	╬	=	╒	=	I	1=		I	I	=	=		Ξ		=	Ī	CET.	ગ		I	٢	L	Ľ	=	-	17	1	Le C	1	1			
		82	Ŧ	ェ	щ	Ŧ	I	I	1	=	-	===	-	-	-	Ξ	=	=	=	-	= =	-	= =	= =	= =	- -	- -			-	Ξ	CES		1	1			上				1	=
ľ	B	<u>ج</u>	I	I	Ŧ	I	=	=	-		= =	<u>-</u>		-	=	=	-	-	-	-	= =	-	= 3	=	=	= -	= =	=	6	= =	=	=	-	-		=		=	= -	1			
		R6	I	I	Ξ	=	=	= =	-	=	= :	=		=	-	1	=   =	=	= =	=	=		=	=	=	=	=	=	= =			-	1	-	=	1				1	1	= =	
		R5	H	Ŧ	1	=	= =	-	+	=		=	=	4	1	=	c =	=	=	=		=	=	=	=	=	=	=	=	=	= =	<b>c</b> 3	=	=			= :		=	1	=		
		72	١,	١,	١.	†,	15		†	†	;	1	7	;†	†	,†	1	4	7	1	i	1	7	1	1	,	1	ار	1	1	ī	•	١	ا	<u>.</u>	<u>'</u>	山	<u>'</u>	<u> </u>	듸	<u>'</u>	1	╣.
į		R3 F	₽-	۲,	١,	1	1	;	†	1	7	7	;	7	7	;†	1	=	1	1	1	1	╗	1	1	1	1	1	1	٦	ı	•	1	1	•	1	<u> </u>	凵	<u>၂</u>	크	긔	<u>'</u>	<u> </u>
	۲		<b>-</b>	+	†	+	1:	‡	†	7	╗	1	╗	7	1	1	1	=	7	1	٦	7	ī	7	ī	1	٦	1	1	1	ij	1	١	<u> </u>	ك		山	<u>'</u>	山	三	<u>'</u>	<u>'</u>	1
			+-	ϯ,	t	†	1:	士	1	7	7	1	╗	╗	1	7	1	耳	1	1	7	1	1	1	1	٦	-	1	•	1	1	1	1	<u> </u>	╝		1		<u> </u>	픠		긔	_
	H	72	╈	<del> </del> -	1.	<u>.</u>	<u></u>	1	亅	듸		Ξ	工	ᅱ	寸	寸	_	三	되	Ξ	工	I	三	H	I	Ξ	H	Н	Ξ	되	ᆈ	ᆈ	푀	ᅬ	I	I	Ξ	I	푀	ェ	Ŧ	푀	되
		12	1		1	1	7	1	4	$\Box$		П			-	4	4	-	$\dashv$	_	50		Н	H	Н		Н	H	Н		1	1	1	1		$\vdash$	Н	Г	Н	П	П	П	1
		8	<u> </u>	= =	=	=	I	Ŧ	모	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	푀	포	I	Η	Ξ	C7H15	Ξ	Ι	Ξ	Ξ	H	Ŧ	Ι	Ξ	Ξ	ᄑ	Ŧ	I	Ŧ	I	I	I	Ι	エ		工		
	-	╬	$\dagger$	+	$\dagger$	+	7	$\frac{1}{2}$		L					C	0	0	0	0	_	-	Н	õ	Q	õ	Q	õ	lo O	ဗ္ပ	10	0	0	0	0	50	20	138	250	250	250	(CH3)3Si	370	370
	١	8	إر		SZE SZE SZE SZE SZE SZE SZE SZE SZE SZE	C2H50	C2 72 72 72 72 72 72 72 72 72 72 72 72 72	C2H50	C2H50	C2H50	C2H50	)H	C2H50	C2H50	C2H50	<b>C6H13O</b>	C6H130	<b>C6H130</b>	C6H130	C6H130	Ŧ	C6H130	C6H130	C6H130	C6H130	C7H150	C7H150	C7H150	CH3)3C0	C5H110	CF30	CF30	CF3	CF30	C7H150	C7H150	C4H9)3S	C12H250	C12H250	된	3	C18H370	C18H370
		٦	1	히	겅	ଧ	ଧ	ठ	ၓ	ပြ	ပြ	ပြ	ပြ	ပြ	ပြ	ပြ	ၓ	ပိ	ပြီ	ပိ	Ŀ	Ċ	ပြ	č	Ö	ပ	0		<u>Ö</u>	Ö			Ĺ	Ĺ	C	10	4		40	华	ľ	10	임
2-0	Į,	1	Ξ	귀	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	F	=	-	=	F	Ξ	Ξ	Ξ	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	=	=	Ξ	F	Ξ	Ξ	=	E	Ξ	Ξ	L	L	L	E	1.	╀	1	Ŀ	+-	1	Ļ	4-4
「年10-0]	村	운		381	382	383	384	385	386	E E	388	38	Sec	301	392	393	394	395	396	207	300	000	QQ QQ	Ş	402	403	Ş		18	407	408	409	410	14	= 2	120	#	12	1 2		E	617	420

$\sim$
辉
- SE
1)
==
N
- 1
က
-
麦
11/4

册						· ·					_			<u></u>					_			_			_,		_,						_,	_,	_	·	_	_	_
a		,	'	-	•	,	۱.	•	à	مة	142				,				ا،	à	٦	lq2		,	١,			•	'	•	à	ď	192	ا،	ا،			;	٠
7	-	,	'	'	Ξ	똜	Ŧ	S S			-	,	,		-	Ŧ	똜	Ŧ	똜	'	'		,	'	-	'	Ŧ	윉	=	<del>당</del>	-	'	,	'	'	,	Ŧ	똜	1
<b>o</b> .	'	,	,	ı	CH3	윉	C(CH3)3	04 <u>H</u> 3	-	-	,	'	•	'	'	뚱	뚱	C(CH3)3	<u>양</u> 원	•	,	-	,	'		'	웅	뚱	S(SH3)3	<b>Q</b> 3	'	,	-	,	,	,	몽	몽	C(CH3)3
Ш	•	-	-	1	CH3		က	윉	-	,	,	'	'	'	,	货		힖	윉		,	'	-	,	-	-			8	뚱		,	,	١	1	'	똜	_	C(CH3)3
à	1		1	ď	1	,	1	,	'	'	'	1	'	'	ď	-	-	-	-	1	1	,	-	ı		ď	-	ı	-	1		-	1	•	-	ď	-	-	-
.A	1	,		P.	-	]	_	t		1	,	1	-	,	F	•	-	ı	1	-	-	-	ı	_	1	Ph	1	1	_		1	1	1	-	-	Ph	ī	_	,
80	Iq2	Iq2	la2	la2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	la2
¥	ď	æ	£	듄	윤	栕	栕	Ph	Ph	Ы	Ph	占	Ph	F.	Ph	Ч	ዋ	Ph Ph	чd	ą.	ď	٩	чЬ	ď	Чd	윤	P	ď	Чd	ηd	币	Ph	η	Ч	Ph	Ч	Ph	Ph	ቒ
Ľ	0	0	0	-	_	-	_	-	1	-	ı	0	0	0	1	-	_	-	-	-	-	1	0	٥	0	-	-	-	-	1	-	-		0	0	-	-	1	_
E	۳	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	က	3	က	2	2	2	2	2	2	2	ż	က	က	2	2	2	2
≥	<u>.</u>	_	-				_	_		_			-	-		٤.							_		<u>_</u>		_	_	-	_	_	_	<u> </u>		-	_	-		. <u>.</u>
2	421	422	423	424	425	428	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	448	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459

			à							1		ı		,	•		1			1			ı		,	ı	1	1	1	i	ı	ı	ı	. 1	. I.	_1	. 1	. 1	. 1	. 1	. 1	. 1	
9		<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	1	ı	1	1		<u>'</u>	<u>'</u>	<u> </u>	듸	'	'	<u>'</u>	<u>'</u>	_	-	Ľ	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u> '	1	1	1	1	1	'\	4	4	<u>'</u>	<u>'</u>	4	<u>'  </u> :		<del>'</del>	4	<u>'</u>	4	-	4	
	2	1	١	•	1	1	ŀ	١		'	'	<u>'</u>	되	<u>'</u>	<u>'</u>	'	1	1	Ŀ	Ŀ	Ľ	1	1	<u> </u>	1	1	1	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'  </u>	1	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	_	
1 1	2				1	_	ŀ	,	•	١	=	ᅬ	ᅱ	١	1	1	-	-	١	,	ŀ	-		1	1	<u>'</u>	<u>'</u>	1	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u> </u>	1	┙	_	듸	<u>'</u>		<u>'</u>	_'	<u>'</u>		
B.	≥	,	-	-	•	ŀ	,		-	,	Ξ	C4H9	Ξ		1		1	1	١,	١,		-			티	۱	۱,	ا	۱	۱	•	1	,	Ŧ	04 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	Ξ	,	'	1		-	_	
	8	,	-		ļ,	,	١,	1	,	,		I	Ξ	1	1	-	,	,	1	1		1	F	=	Ŧ	-	,	,	!	-	,	-	,	Ŧ	Ŧ	H	1	-	1	-	-		
	8	-	1	,		١,	1	†	,	1	I	I	Ŧ	1	1		,	,	١,	1	1	,		=	Ŧ	,	-	-	1	-	'	'	,	Ξ	Н	Ξ	1	-	_	1	,		
$\vdash$	æ	-	-	,	=	<del> </del>	$\dagger$	,	,	1	,	-	,	-	١	,	=	ļ,	†,	1	,	,	,	1	,	-	ı		H	i	1	,	ı	-	1	,	-	,	I	ı	١.	1	
11	F3	-	-	<b> </b>	-	<u>+</u>	+	;	-	-	-	,	1	,		,	1	<u></u>	1	†	1	,	1	•	7	-	1	,	Ξ	:	-	-	ı	-	-	·		,	Ξ		,	١,	
œ	R6	<u>_</u>	<u> </u>	<del> </del>	-	<u> </u>	+		_	-	-	<del> </del>			<b> </b>	<b> </b>	-	+	+	,		1	-	-	-	1	,	,	F		-		1	-	,	ı	ŀ	1	Ξ		١,	1	1
	R5 F			╀		╀	+		1	<b> </b>		<del> </del>	١,	-		<del> </del>	-	+	+	+	-	1	-	1	-	1		,	I			,		,	,	,		١,	Ξ	-	١,	١,	
H	-	_ _	╀	  -  -	+	╀	+		H	1	-	-	-	1	<u> </u>	+	<u> </u>	<u> </u>			되	H	I	F	エ	I	=	=	╁	1	Ī	=	I	=	I	=	   u	1.	<u> </u>	_	<u> </u>	1	<u> </u>
	-	┞	1	-	╬	+	+		L	+	╁	+	╁	+	$\dagger$	1	1	+	+	$\dashv$	$\dashv$		-	$\vdash$	$\vdash$	┞	t	ام ام		1	-	Ī	1		-	+		- F	-1	լև	+		
	82	=					듸	I	<del>-</del>				-	- -		- 3	3				Ξ	H	_		F	I		190			-	-	-	-	-	+	╀	15	T	╀	+	+	$\frac{1}{2}$
8	82	-	-	1			듸	I	Ξ			= =			4	1			日	Ξ	Н	H	Ξ	Ξ	I		-	1			-	-	-	-	7		-	- -	╀	- '	-  -  -	- -	-
	2	-	:	=	Ξ	ᅵ	Ŧ	Ŧ	=	-	=	=	= =	=				Ŧ	Ξ	I	Ξ	Ξ	I	I		-	-				1		1		-	-	1	- -	- -	<u> </u>	-	-	_
	28	1	=	-	=	=	I	Ξ	-	=	=	=	=	=	=	Ŧ	=	Ŧ	Ξ	I	Ŧ	I	=	=	=	╬	=	=	= -				-	===	=	1		1	- -	1	-	-	<u>.</u>
	la La	<u></u>	=	Ŧ	I	Ξ	I	I	†  -	=	=	=	=	=	Ξ	ᅱ	Ξ	Ξ	Н	H	Ξ	=	-	-			-	-	=	4	=	=	=	= =	=	= =		┸┝	ᅪ	-	ᆈ	ᆈ	니
-	1	1	-		-	I			†	,	,	+	,	1	,	-	•	Ŧ	-	,	,	ţ.	†	1	,	,	,	,	,	=	•	,	•	•	,	-	,	-	1	되	•	,	-
	L	2	-	1	_	H	-	<del> </del>	+	+	1	-	+	,	-	,	ı	H	,	١,	<u> </u>	†	+	†	<u>,</u>	,	,	†	1	=	,	•	,	•	,	1	-	-	•	Ŧ		·	
[	۲	<u> </u>	-		_	E	,	+	+		-	-	1	,	_	_	-	I				1	†	,	1	,	,	1	•		,	1	,	1	-	,	,	1	,	Ξ		•	-
	$\vdash$	Ž	_	_	-	Ī		$\dagger$	+	+		1	,	-	ı		-	-	<del> </del>	١,	+	+	,	†	,		-		,	되	1	,	,	1	1	ı	,			Ξ	ı	•	
-	+	<b>K4</b>	H	$\vdash$	┞	┞	╁	-		Ŧ	Ŧ	H	H	I	14	L	_	L			+	<u></u>	1		L	L	F	<u>.</u>	L	ш	L	Ш	L.	ц	ı	L L	F	L	Ŀ	Ŀ	ı	L	L
	ŀ	_		$\vdash$	$\vdash$		-		+							_	-		<u> </u>	+	+			┧		Ŧ	_	1		14	ı.	L.	L.	F	F	L	ı	L	L.	L	L	L	
	⋖┟	<del></del>	-	ľ	-	1	1			<u> </u>	Ľ	Ľ	-	-	Ξ		├	╀	+	ł	+	+	+	Ξ		_		-						_					1.		L	-	
73		2	Ξ	=		1	1		H	Ξ	Ξ	Ξ	E	Ξ	<u> </u>	۲		ľ	1	4	1		ч	1	F	4	4	-	_	-	4	<u> </u>	-	F	F	H	F	$\vdash$	F	F	$\vdash$	$\vdash$	H
表13-2]		~	L	1	ŀ	1	4		L	L	ш	u	L	٢	F	L	↓	1	1	1		Ξ	I	I	Ŀ	Ξ	L	L	1	4	1	<u>u</u>	4	1	-	-	-	L	Ļ		L	1	1
(表1	2	2	164	407	775	3	\$75	425	426	427	438	430	430	431	Ş	**			\$ P	455	5	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	455	45	15	45	12	15	半	459

11
₹
2
1
4
_
袠
Ē
_
$\neg$

		_			_				_	_	_	_				-	_	_		_			_		_	
B.,	1	ል	ď	Iq2	١	ا ا			1	ı	1	1	ڄ	ፈ	192	1	ı	ı	ı	1	١	ı	1	ı	ı	Iq2
٦	CH3	-	1	1	٦.	1	,	1	I	L	1	1		-	-	ı	ı	ı	ı	1	1	1	CH3	ı	ı	-
O	C4H9	-		ł	-	1	ŀ	1	CH3	1	1	-	1	-	_	1	1	1	1	ı	-	-	C4H9	ŀ	1	1
ш	СНЗ	_	1	1	1	1	-	-	CH3	1	1	-	ŀ	1	_	-	ı	_	i	-	1	-	CH3	-	-	-
œ.	ı	-	_	-	1	1	1	Pr	ı	ı	Iq2	Iq2	ı	-	-	-	-	÷	_	Iq2	Iq2	. 1	1	Iq2	Iq2	-
Α.	-	1	1	-	1		1	Ph	1	_	Ьһ	Ч	1	_	-	_			ı	Ph	Ph	j	-	Ph	Ph	'
æ	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	7 <sup>b</sup> 1	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	1q2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2
∢	Ph	Ч	Ч	ЧЬ	Ч	ЬЬ	ЧЬ	Ч	Ph	Ph H	Ы	ЧЫ	Чd	ЧЬ	Ph P	栕	H.	윤	Ph	Ph	Ч	ЧЫ	Чd	Ь	Ъ	ď
٦	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	ı	1	- 7	-
Ε	2	7	7	2	3	3	3	2	2	3	2	-	7	2	2	က	3	3	3	7	2	3	2	2	1	2
Σ	<u>.</u>	ŀ	1	<u>, 1</u>	1-	۱.	lr	Ŧ	۳	1	1	1	ŀ	1	1	٦	1	<u>.</u>	ŀ	<u></u>	7	Ir	1	٤.	ļ	1-
Š	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485

【表14-2Bに続く】

.a	1	ı	1	_	,	1	1	1	P	P.	192	-	1	ļ	1	1	-	1	ı	ď	ď	142	1	,
٦	1	,	1	,	Ŧ	S 문 의	Ξ	CH3	-	i	1	-	,	!	ı	I	윉	Ŧ	CH3	_	ł		1	1
G	ı	_	'	ı	CH3	CH3	С(СН3)3 С(СН3)3	C4H9	i	_	1	1	ı	1	_	СНЗ	CH3	С(СН3)3 С(СН3)3	C4H9	1	1	1	ı	1
ш	1	1	ı	ı	CH3	CH3	С(СН3)3	CH3	1	1	1	ì	ı	-	1	CH3	CH3	С(СН3)3	CH3	1	1	1	1	1
'n	1	i	1	Pr	_	_			-	-	Ł	1	ı	ı	Pr	ı	1	ł	i	ı	1	1	ı	'
Ā	•	ı	_	Ph	-	1	1	1	ı	-	1	-	1	1	Ph	ſ	-	ı	ı	1	_	-	_	ţ
æ	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2
<b>▼</b>	4	유	Ph	Ph	Ph H	Ph	Ph	Ph	F H	Ph	Ph	柘	Ph	Ph	Ч	H <sub></sub>	Ph	Ph	Ь	Ph	P H	Ph	Ph	Ph
	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	0	-	-	-	-	1	-	-	1	0	0
ε	8	က	3	2	2	2	2	2	2	2	2	က	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
Σ	-	Ŀ	۵	<u>_</u>	1.	1	<u>.</u>	<u>_</u>	1	۱.	<u>.</u>	1	-	<u>.</u>	1	1	1	۲.	<u>.</u>	1	1	1	1	-11
2	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	200	501	502	503	504	505	909	207	208	509

	R8	7	피	Ξ	Ξ	-	1	ı	-	•	1	-	١	Ŧ	Ŧ	H	,	ī	-	•		1	_	_	-	1	H
B,	R7	,	Ξ	C4H9	н	•	ı	1	ı		1	1	1	I	C4H9	I		1	ı	-	١	ı	-	1		1	Н
	88	1	Ξ	Ξ	Ξ	-	-	-	1	1	-	1	1	CH3	I	Η	•	1	-	!	-	1	1	-	ı	ı	ェ
	R5	ı	ェ	Ξ	I	.1	ı	1	1	1	1	ı	ı	I	エ	I	ı	1	١	1	1	1	1	1	, I.	1	Η
	R10	1	۱	1	1	ı	ı	ı	ı	_	١	工	I	1	1	ı	1	1	1	1	I	エ	1	ı	ェ	ェ	,
	R9	1	•	1	1	1	ļ	1	1	1	1	I	Ξ	i	ı	1	1	_	'	1	Ξ	Ξ	1	1	I	Ξ	-
B,	R8	-	-	-1		1	1	1	Н	1	Ŀ	H	H	_	.1	1	1		ı	-	Н	H	_	_	Н	Η	-
	R7	ı		ı	1	1	-	1	Н	1	-	Н	Ξ	-	1	_	-	1	1	١	Ŧ	Н	1	_	Η	Η	-
	R6	1			1	ı	1	,	Τ	1	:	I	Ξ	1	1	1	1	1	1	1	Ξ	Ξ	1	1	ェ	I	
	R5	1			1	1		1	I	1	1	工	Ξ	1	1	-	1	1		1	エ	ェ	-	ı	エ	Ξ	Ľ
	R10	ட	ட	ட	ഥ	ェ	ェ	ェ	I	ェ	I	I	I	I	Ξ	ェ	Ŧ	エ	Ξ	Ξ	I	ェ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	ェ
	R9	ட	Ŀ	L.	ш	ェ	Ŧ	C6H13	Н	Н	Ŧ	Н	Η	H	Ŧ	н	H	Ŧ	CF3	Ŀ	Ŧ	Н	Ι	Н	H	ェ	I
<u>m</u>	R8	Ŧ	ட	ட	ш	Ξ	Ŧ	Н	Η	Η	Н	H	Ξ	Н	Н	Н	Ή	CF3	I	H	H	Н	Н	Н	Н	Η	Ξ
	R7	щ	ட	Ь	Ŧ	Ή	H	I	H	I	H	Ξ	ェ	Ξ	H	I	Ή	Η	Ξ	エ	I	H	I	Ŧ	H	H	I
	R6	F	ட	F	F	H	H	H	Н	Н	Н	Н	I	H	Н	н	Н	Ŧ	H	I	H	Н	Н	Н	Н	Н	王
_	R5	ட	ᄔ	ட	ഥ	H	エ	H	Ŧ	H	H	Η	Ξ	I	H	Ξ	I	H	I	H	Ξ	н	Ξ	H	Ŧ	Ŧ	Ξ
	R4	1	ı	1	-	-	-	1	Ξ	1	-	エ	エ	ı	-			1	1	1	Ξ	H		1	H	Ξ	'
	R3	-	_	1	<u>'</u>	-	-	-	Н	-	1	Ξ	H	_	_		_	_	1	-	I	I	<u> </u>	ı	H	H	1
¥	R2	-	-	-	1	_	-		Н	-	1	H.	Н	-	-	'		1	t		H	C6F13	1	-	I	I	,
	R <sub>1</sub>		-	~	-	-	_	-	Н	1	-	Н	Н	-	i	'	-	-	_	-	Н	Ξ	1	-	H	Н	1
	R4	ட	F	ı	ட	工	王	Ξ	I	Н	Ξ	Н	I	Ξ	H	I	ェ	H	ェ	Ξ	Η	ェ	Ξ	Н	Ξ	ェ	I
	R3	F	4	ட	ш	н	Ξ	Н	H	Н	I	Н	н	Н	Н	Ŧ	Τ	Ξ	Н	Н	Н	Ξ	ェ	Ξ	Ξ	ェ	I
¥	R2	Ľ.	F	Ŀ	££.	C2F5	C2F5	C3F7	C3F7	C4F9	C3F7CH2CH2O	C3F7CH2CH2O	C3F7CH2CH2O	CSF11	C2F5	C3F7	C6F13	C6F13	C6F13	C6F13	C6F13	Ŧ	C6F13CH20	C18F37	C6F13CH2O	C6F13CH20	C20F41
	<u>R</u>	4.	ш	ш	ட	I	Ŧ	Ŧ	Ξ	Ξ	Ŧ	Ξ	×	Ξ	Ŧ	포	Ξ	Ξ	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	Ŧ	I	Ξ	Ξ	Ξ
	ę Ž	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	488	481	482	483	484	485

[表14-

 ≥				İ			-			c										٥			
ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	A				A,		-			a	Ì		<u> </u>	-	ום	L.	-		_	í		ć	ž
	1 R2	R3	74	R1	R2	R3 F	R4 R5	5 R6	3 R7	82	82			8	R7 F	<u></u>	R9 R10	0 8	2 76	ž	2	Ŷ	2
486 H	F30-	Ξ	Ŧ	1	1	<u> </u>	I	<b>I</b>	н	н	Ŧ	Ξ	7	7	1	·	1	-	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		1
487 H	-(cH2)-	Ξ	Ŧ		,		H -	H	Ξ	ш	x	I	_	-	1	-	-	<u>'</u>	<u>'</u>	,	<u>.</u>	1	1
╁╌	之	I	Ξ		1	1	エ	エ	ェ	Ξ	C6H13	I	_	ı	ı		<u> </u>	-	-	1	<u> </u>	ı	1
╂-		Ξ	王	I	I	工	エ	프	ェ	Ξ	ェ	I	エ	ェ	エ	·			<u>'</u>	-	1	,	-
		Ξ	Ξ		'	-	エ	투	三	ェ	I	王	-	-	-	•	-	<u>'</u>		,		'	1
╇		Ξ	Ξ	1	,	1	エ	エ	I	н	ェ	ェ	1	-		-	-	-	<u>'</u>	-	<u>'</u>	1	
492 H	1 (CH <sub>2</sub> )3-	Ξ	Ξ	1	1	-	1	H	エ	Ξ	Ξ	포	1	7	-		-	<u> </u>	<u>'</u>	-	<u> </u>	1	1
493 H	-v(cHo)-	I	I	1	,	-	1	Н	エ	Н	I	王	,	-	-	$\dashv$	-	<u> </u>	<u>'</u>	'	╧	<u>'</u>	1
494 H	-(CH2)%-	Ξ	王	ľ	-	-	-	H	I	I	Ή	三		-	-	-	-	듸	프	ᄑ	듸	<u> </u>	
+	1 (CH <sub>2</sub> ),2	ェ	Ξ	ı	1	1	_	H	工	H	Н	I	ı	-	1	$\dot{\dashv}$	!		エ	C2H5	푀	<u>'</u>	
-		윉	I	1		1	-	エ	エ	Н	×	Ŧ	1	ı	1	,	1		프	エ	포	픠	ェ
1-	I	L	Щ	Ī	,	1	+	エ	エ	Н	Н	Ξ		-	7	$\dot{\dashv}$	<u> </u>	$\dashv$	<u> </u>	ı	<u>'</u>	<u>'</u>	<u> </u>
+		Ŀ	ш			1	-	エ	エ	ı	Н	H	1	1	1		$\frac{1}{1}$		<u> </u>	I,	<u>'</u>	1.	<u>'  </u>
┿		L	ட	ŀ		1	-	エ	エ	H	C6H13	I	,	,	1	-	$\frac{\cdot}{\cdot}$	$\exists$	<del>'</del>	-	1	ᆜ	
┿		ш	ш	Ξ	Ŧ	ェ	三	エエ	H	Н	Н	エ	ェ	되	듸	듸	-	-	<u> </u>	1	<u>'</u>	1	<u> </u>
+	·	LL.	ш	1	,	1	-	H	H	Н	н	Ξ	寸	1	7	1	-	-	1	1	<u> </u>	1	<u>'</u>
+-		ш	ш	1	,	-	-	H	픠	ェ	Ξ	포	1	7	7	-	$\dashv$	╗	1	1	1	1	1
503 H	I	и.	ь	1	ı	1	1	H	프	Ξ	Ŧ	Ŧ	1	1	7	+	$\dashv$	$\dashv$	<u> </u>	-	<u> </u>	<u> </u>	<u>'</u>
504 H	Ξ	ш	ш	-	1	1	1	エ	エ	エ	ェ	Ξ	T	1	1	+	$\frac{\cdot}{\cdot}$	$\dot{\exists}$		4	<u>'  </u>	<u>-  </u>	<u>'  </u>
╄		ů.	Ŀ	1	1	1	-	Н	エ	I	ェ	Ξ	1	-	$\exists$	1	$\frac{\cdot}{1}$	-	픠		-	1	<u>'  </u>
506 H	Ŧ	ш	ш	1	ı	1	1	Н	エ	王	H	포	1	7		1	-	<del>-  </del>	피	Ŏ	$\dashv$	-	1
<del> </del> —	I	u.	4	1	ı	1		H	Ξ	Ξ	I	ェ	1	7	7	1		-	피	Ŧ _	듸	듸	듸
╄	H CH3	L	ட	1	-	1	-	エ	エ	CF3	Ŧ	エ	1	7	7	$\exists$		-	1	1	1	4	1
┞—	н : СН3	4	щ		-		_	핔	픠	ш	Ŧ	Ξ	1	ᄀ	$\exists$				-	1	1		<u> </u>

差替え用紙 (規則26)

\	/
*	Ş
1	J
_	_
C	1
R	)
T	-
H	¥

| t   | -             | 1        | ı   | 1   | 1   
   | Pr  
   
   | P   
   | Iq2   
   | 1   
   
   | 1   
   | 1   
   |   
   |   | _   
   | ,   
   | -   | ď   | ď   
   | Iq2   | 1   | -   | 1               | ı   | ١   | '   | ľ        | ·        | à   | ď   | Iq2        | ,   | 1   | 1   | ı   | 1   | -   | ,       |            | ď  |
|-----|---------------|----------|---|---
--
---
--
---
--
---
--
---
--
---
--
---
---
---
---
---
---
---|---
---|---|---|---|-----------------|---|---|-----|----------|----------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|------------|--|
| i   | -             | I        | CH3   | Ξ   | CH3   
   | -   
   
   | ,   
   | -   
   | -   
   
   | '   
   | ,   
   | ı   
   | Ξ   | CH3   
   | Ξ   
   | 똜   | '   | -   
   | ,   | '   | ı   | ı               | 1   | Ξ   | 윉   | Ξ        | <u>당</u> | '   | '   | '          | ,   | -   |     | ı   | L   | 윉   | I       | 윉          | -  |
| _   | -             | CH3      | CH3   | C(CH3)3   | C4H9  
   | -   
   
   | •   
   | i   
   | 1   
   
   | 1   
   | 1   
   | l   
   | CH3   | CH3   
   | C(CH3)3   
   | C4H9  | 1   | 1   
   | 5   | -   | i   | L               | ı   | СНЗ   | CH3 | C(CH3)3  | C4H9     | 1   | 1   | 1          | 1   | 1   | 1   | ı   | CH3 | CH3 | С(СН3)3 | C4H9       | '  |
| -   | -             | CH3      | CH3   | C(CH3)3   | CH3   
   | 1   
   
   | 1   
   | -   
   | I   
   
   | t   
   | -   
   | -   
   | СНЗ   | CH3   
   | C(CH3)3   
   | CH3   | ŧ   | 1   
   | -   | •   | -   | f               | 1   | CH3   | CH3 | C(CH3)3  | CH3      | ī   | 1   | 1          | 1   | t   | l   | L   | CH3 | CH3 | С(СН3)3 | 양이         |  |
|     | Pr            | _        | ÷.  | -   | _   
   |   
   
   | +   
   | -   
   | _   
   
   | -   
   | _   
   | Pr  
   | _   | -   
   | _   
   | ,   | _   |   
   | -   | 1   | ı   | _               | Pr  | -   | 1   | _        |          | 1   |     | ı          | ı   | -   | 1   | Pr  | 1   | -   | 1       | -          | •  |
| -   | Ph            |          | 1   | -   | 1   
   | -   
   
   | ŧ   
   | _   
   | ı   
   
   | 1   
   | ı   
   | Ph  
   | _   | 1   
   | t   
   | ١   | ı   | _   
   | •   | ı   | 1   | _               | Ph  | -   | 1   | 1        | _        | 1   | 1   | -          | _   | _   | -   | Ph  |     | _   |         | 1          | -  |
| Iq2 | Iq2           | Iq2      | lq2   | Iq2   | Iq2   
   | la2   
   
   | la2   
   | Iq2   
   | la2   
   
   | Iq2   
   | Iq2   
   | lq2   
   | Iq2   | lq2   
   | lq2   
   | Iq2   | la2   | la2   
   | lq2   | la2   | Iq2   | Iq2             | Iq2   | la2   | Iq2 | lq2      | lq2      | Iq2 | lq2 | Iq2        | lq2 | lq2 | lq2 | lq2 | lq2 | lq2 | Iq2     | lq2        | lq2  |
| P.  | 된             | H<br>H   | Ph  | Ph  | Ь   
   | Ph  
   
   | Ph  
   | Ph  
   | Ph  
   
   | Ph  
   | Ph  
   | Ph .  
   | Ph  | Ph  
   | Ph  
   | Ph  | Ph  | Ph  
   | . Ph  | Ph  | P,  | Ph              | Ph  | Ph  | Ph  | Ph       | Ph       | Ph  | Ph  | P<br>P     | Ph  | Ph  | Ph  | Чd  | Ph  | Ph  | Ph      | Ph         | ዊ  |
| 0   | -             | -        | -   | 1   | 1   
   | 1   
   
   | 1   
   | 1   
   | 0   
   
   | 0   
   | 0   
   | 1   
   | 1   | 1   
   | 1   
   | 1   | 1 .   | 1   
   |   | 0   | 0   | 0               | +   | _   | 1   | -        | 1        | 1   | 1   | 1          | 0   | 0   | 0   | 1   | 1   | 1   | 1       | -          |  |
| 3   | 2             | 2        | 2   | 2   | 2   
   | 2   
   
   | 2   
   | 2   
   | 3   
   
   | 3   
   | 3   
   | 2   
   | 2   | 2   
   | 2   
   | 7   | 2   | 7   
   | 2   | 3   | 3   | က               | 2   | 2   | 2   | 2        | 2        | 7   | 2   | - 2        | 3   | 3   | 3   | 2   | 2   | 7   | 2       | 2          | 2  |
|     | ۲.            | <u>.</u> |   | <b>-</b> I  | <u></u>   
   | Ŀ   
   
   | <u>.</u>  
   | ŀ   
   | ]r  
   
   | _4]   
   | ]r  
   | 1   
   | 4   | ١.  
   | <u>.</u>  
   | 4   | 4   | ી   
   | 1]  | <u> </u>  | -   | ١.              | <u>.</u>  | <u>.</u>  | 1   | <u>.</u> | 'n       | -1  | -1  | <b>.</b> ] | Į.  | 4   | 4]  |     | 1   | -11 | .1]     | <u>. E</u> | <u>,                                    </u> |
| 510 | 511           | 512      | 513   | 514   | 515   
   | 516   
   
   | 517   
   | 518   
   | 519   
   
   | 520   
   | 521   
   | 522   
   | 523   | 524   
   | 525   
   | 526   | 527   | 528   
   | 529   | 530   | 531   | 532             | 533   | 534   | 535 | 536      | 537      | 538 | 539 | 540        | 541 | 542 | 543 | 544 | 545 | 546 | 547     | 548        | 549  |
|     | ir 3 0 Ph Iq2 |          | ir         3         0         Ph         Iq2         -         -         -         -         -         -           ir         2         1         Ph         Iq2         Ph         Pr         -         -         -           ir         2         1         Ph         Iq2         -         -         CH3         CH3 | ir         3         0         Ph         Iq2         -         -         -         -         -         -           ir         2         1         Ph         Iq2         -         -         CH3         CH3           ir         2         1         Ph         Iq2         -         -         CH3         CH3 | ir         3         0         Ph         Iq2         - <td>ir         3         0         Ph         Iq2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -  
      -         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Iq2         - <td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         - 
       -         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -
        -         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -    
    -         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -  
      -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -      
  -         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>ir         3         0        
Ph         ig2         -<td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         ig2         -        
-         - <td>ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>ir         3         0         Ph         ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>ir         3         0         Ph         ig2         -      
  -         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td></td> | ir         3         0         Ph         ig2         - <td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -        
-         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td></td> | Ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3  
0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td></td> | Ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td></td> | Ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td></td> | Ir         3         0         Ph         Ig2         -     
   -         - <td>Ir         3         0         Ph         Ig2         -<td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td><td>  Ir   3   0   Ph                                  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td><td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td><td>                                     </td><td>  F.   2</td><td>                                     </td><td>                                     </td></td> | Ir         3         0         Ph         Ig2         - <td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       -  </td> <td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     -  </td> <td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     -        </td> <td>  Ir   3   0   Ph                                  </td> <td>  Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     -  </td> <td>  Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -  </td> <td>                                     </td> <td>  F.   2</td> <td>                                     </td> <td>                                     </td> | Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     -       - | Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -     - | Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -     - | Ir   3   0   Ph | Ir   3   0   Ph   Iq2   -   -   -   -   -   -   -   -     - | Ir   3   0   Ph   Ig2   -   -   -   -   -   -   -   -     -     -     -     - |     |          |          |     |     |            |     |     |     |     |     |     | F.   2  |            |  |

1:18	텕	1	1	1	ı	. [	ı۱	ı [	· {:	<b>=</b>	ij	· 1	1	·	۱	۱	4	ч	1	1	ļΞ	ا ا إ	ļ	1	· [ '	1		יןי	'	1 !	۱,	=	1	۱ ا	<u> </u>	'	[ '	'		۱۱'	· [ '	١].	
1 1	&    -	1	-	-	1	,	-	1	<del> </del>		,	†	1	+	<del> </del>	7	,	_	ı		I	,	1	1	,		1	,		1	ŀ	F	1.	,		,			-		•		
1 }	82			-		_  -	1		되		+	†	+	+	1	1	_	-	I	I	1	<u></u>	,	†	,	+	,	,	1	<b>†</b>	=	=		١,		١.	1	1		-	,	=	
В	$\dashv$			_	_		-	듸	4H9	I	1	-	1	1	-	,		-	Ī	04H9		+	$\dagger$	,	†	†	,	,†	†	,   =			<u></u> ,	١,	<u> </u>	†	+	+	,		,		
- 1 1	6 R7		Н		H		_	$\dashv$	H C4	_ 				-	_	1	1	<del> </del>	-	T	1	+	+	+	+	+	+	+	1	<u> </u>		十	<u></u> ,	<del> </del>	۱,	+	+	,	,	1	,	되	
	5 R6	Ľ	1	<u> </u>	<u>'</u>	-	Н	H	_	± =		-		_				H		╀	+	+	+	+	+	+	+	+	†	1		-	- ,	1	,	+	†	,	1	7	1	킈	
	3 R5	┞	'	-	<u> </u>	_	  -	H	H	H	Н	Н	$\dashv$		_	-	<u> </u>		┝	╀	+	+	,	-		되	1	+	-	+	+	+	+	+	+	<del> </del>	+	+	1	,	-	,	
	7 88	<u> </u>	F	┞	$\vdash$	┝	'	'	<u>'</u>	1	-	-	-	-	┝	$\vdash$	$\vdash$	╀	╀	+	+	+				듸		+	+	+	,	+	+	+	+	,	F		-	,		,	
ī		+	╀	┞	┞	┞	┞	<u> </u>	Ľ		-	<u> </u>	<u>'</u>	H	┞	<u> </u>  -	┞	╀	+	+	+	-				五				-	1	1	+	+	+	,		,	_		1	-	
	R	╀	=	'	<u> </u> '	Ľ	<u> </u>	<u> </u>	-	┞	<u> </u>	┞	<u>'</u>	Ξ	┞	╀	'	╀	+	+	+	+	-	_	-	Ŧ			1			+	+	+	+	-	되	-					
	Ja Pa	╀	-	╀	$\dotplus$	╀	╀	<u> </u> '	╀	╀	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	$\vdash$	╀	╀	╀	╀	+	+	<u> </u>	<u> </u>	_	-		H	Н	Н		$\dashv$	<u> </u>	+	+	+	+	4	I	<b>-</b>	I	I	Ŧ	F	
	1010	╁	+	17	- -			1	=	-	-	1	ŀ.	Ļ		-			다: 十	+	+	$\dashv$	Н	$\vdash$	H	L	-	H	H	Н		$\dashv$	+	$\dashv$	4		_		I	H	Ī	-	1
	9	2 3		1		= 3		= =	= =	-	1	=	E E		-	-	1		디: -		듸	I	H -	I	Ceri	=	Ξ		F	H		I	4	3 E	_	C6H1		L	ļ_	╁	$\vdash$	$\vdash$	$\frac{1}{1}$
٥	1	일:		:	= =	= -	= 3			1	= =	-			-		1		= :		ゴ	エ	I	4	F	F		I	Ξ	エ	H	Ξ	ᅥ	$\dashv$		_	┝	H	t	╀	I	+	┨
		ž	= :		= =		1	= =				13	1	1	1	4	<b>:</b>	= :	=	Ξ	Ξ	I	Ξ	=		Ξ	╀	╀	┞	Ξ	H	Н	$\Box$	I	H	H	-	$\vdash$	┞	-	╀	╀	-
		2							= :		= =		4	4	1		:			Ξ	Н	ェ	I	-	17	=	=	=	=	I	F	Ξ	H	H	H	H	F	Ξ		-	╀		-
Ì		82		Ξ	=		= :				= =	1	1	=	= :			듸	듸	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	: :  -			===	-	=	=	F	E	Ξ	I	I	Ξ	I	=			+		1
		7	<u>.</u>		<u>'</u>	<u> </u>	1	•	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>:</u>	<u>'</u>	<u>: </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	ı	1	ľ	'	<u> </u> '	1	<u>'</u>		<u>י</u>	1	<u> </u> '	Ļ	Ľ	Ľ	'	Ľ	<u> </u>	<u> </u>	=	'		1	╀	\\	<u> </u>
	٧.	æ	,	Ξ	<u>.</u>	<u>.</u>	<u>'</u>	'	'	<u>. </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>.</u>	1		<u>'</u>	<u>'</u>	•	ţ	ľ	,	Ľ	Ľ		'	1	1	1	1	1	ļ.	'	<u> </u>	'	<u> </u>	'	-	1	4	<u>'</u>	<u> </u>	<u> </u>	-
		R2	ı	I	Ŀ	'	1	<u>'</u>		'	<u>.</u>	<u>'</u>	<u> </u>	<u>'</u>	Ξ		_	-	-	ľ	Ľ	<u> </u>		1	<u>'</u>	<u> </u>		1	<u>'</u>	1	1			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u> '	-	-	<u>'</u>	4	<u>'  </u>	4	4
		R1	1	Η	-	1	ı	Ŀ		'	1	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	H	1	١	Ŀ	ľ	Ľ	ŀ	1	1	<u>'</u>	1	<u>'</u>	1	1	<u>'</u>	<u>'</u>	1	<u> </u> '	<u> </u> '	<u> </u> '	<u> </u> '	<u> </u>	2	-	<u>'</u>	4	<u>'                                    </u>	1	4
		R4	L	L	L.	ட	J	ட	4	u.	<b>L</b>	ட	ш	Ł	ı	Ŧ	LL.	u	L	L	-   -	1	- -	-	닠	╣			-	<u> </u>	4	1	-  4	ļ	- 4	1	<u> </u>	<u> </u>		4	- 1	<u> </u>	
		83	ш	ı	L.	L	Ŀ	ш	F	F	F	F	F	ഥ	ı	L.	щ	12		L	- -	4	- -	_	4	Ц				1	1	1	4	١	L	-1-	Т	-		1	4	4	<u>"</u>
	٧	8	F. F.	EE	: 당	F 등	SES	CH3	CH3	CH3	CH3	C2H5	C2H5	C2H5	32H5	C2H5	C2H5	COHS	12.5 17.5	35		3	E S	C4 T9	C4H9	<u>양</u>	04B	04 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	04 139	04 <del>1</del> 8	3						SECTION OF THE PROPERTY OF THE	SHOO	SHI	SE 1	SH:	SH11	SHI
-2		F	╀	+	╀	+	$\vdash$	╁	┝	H	H	H	$\vdash$	H	H	t	H	t	t	t	ť	+	$\dashv$	H	H	王	Ξ	Ξ	Ŧ	+	+	7	7	. 1	- 1	- 1	- 1	의 도	Ξ	Ŧ	Ξ	エ	H
[男15-2	-		1	╀	╀	Ļ	╄	Ļ	L	L	L	┡	Ļ	_	L	╄	Ļ	Ļ	4	4	4	4	4	530	Ц	Ц	533	534	35	536	537	538	133	240	241	542	543	544	545	546	547	48	549
船	1	ž	15		15	7 2 2	2 2	515	518	517	518	519	520	521	2	15.	ြင်	252	٦	ဂျိ	72	2	Š	2	က်	بي	Š	5	'n	S	S	2	٠Į٠	<u> </u>	<u>က</u> ု		ري ا	3	3	<u>"</u>		۳,	تا

$\nabla$
촱
岩
ï
9
表
_

-	<u> </u>												_									_														_					_
	m.	à	192	,	١	-	٠	-	,	'	١	۵	à	<u>1</u> 2	'	'		,	-	1	,	١	à	å	Iq2	'	'	,	١		,		•	ة	à	la2	1		۱,		1
	7	•	'	'	<u>'</u>	-	t	Ξ	CH3	Ξ	윉	1	<u>'</u>	,	'	•	1	1	Ξ	CH3	Ξ	윉		'	-	-	-	-	·	Ŧ	윉	Ŧ	윉	Ţ	٠	1	,	-	•	-	=
	g	1	١	-	1	-	1	CF3		O	C4H9	'	'	'	,	-	-	-	CH3	CH3	C(CH3)3	C4H9	-	1	1	-		'	,	윉	S 문 의	C(CH3)3	CA H3	-	-	-	-	1	1	,	윉
	Ш	-	1	'	-	-	1	CF3	CH3	C(CH3)3	CH3	-	-	,	ı	-	•	_	CH3		)3				1	1	ı	1	,	윉	<del>왕</del>	C(CH3)3	윉	-	-	t	1	_	-	•	몽
	Ö	-	1	1	•	1	Pr	-	-	-	·	1	,	-	ı	•	:	Pr	1	ı	-	1	-	-	-	-	-	-	Ρŗ	ı	•	'	-	1	-	-	-	ı	1	Pr	7
	₹	-	1		-	i	Ph	-	-	,	-	1	•	-	-	ı	-	H.	1	-	-	-	-	1		-	-		Ph	1	-	,	-	1	-	-	1	-	-	Ph	7
	ω.	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	Iq2	lq2	Iq2	192	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	lq2	Iq2	lq2	lq2	Iq2	절
	×	ď	Ph	Ъ	Ph	P.	돈	栕	Ph	Ph	Ph	Ph	占	Ph	P	된	Ph	£	Ph	Ь	柘	Ph	d H	Ph	Ph	Ph Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	柘	유	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	됩
	=	-	1	0	0	0	-	-	-	1	-	1	1	1	0	0	0	-	-	-	-	1	-	1	-	0	0	0	1	1	1	1	1	1	-	1	0	0	0	-	
	Ε	2	2	3	3	8	2	2	2	2	2	2	2	2	3	8	3	2	2	2	2	2	2	2	2	က	3	3	2	7	2	2	2	2	2	2	3,	3	3	2	2
1)	Σ	-	۵	Ŀ	ļ	_		1	١.	-	Ŀ	ŀ	ŀ	Ir	-1	-	.=		<u>, _</u>		-	7	<u>.</u>	-		-	<u>.</u>	<u>.</u>	'n	ŀ	ŗ	ŀ	٢.	1	1	-	1	-	<u>.</u>	ŀ	1
(表16	å	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	260	561	562	563	564	565	286	267	568	569	570	571	572	573	574	575	578	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589
		1	_			_		_			_									_						-	_		_	_	_	_	_	_		_	_				

	表16-2】	A					₹		H			В				m	-	8	80	L	B" BR	P.9	R10
	R3 R4 R1 R2 R3 R4 R5	R3   R4 R1 R2 R3 R4 R5	R3 R4 R1 R2 R3 R4 R5	R1 R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	2 R3 R4 R5	R4 R5	R2	7	炴!.	7	æ:	£		2	힏	<u> </u>	+	╀	1	1		1
	C6H13 F F H	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1					+		4		=	-	1.	١,		╀	╀	I	L	Ξ	I
	1	1	1						+	rla	+	= =	I	F	١,	١,		├	H		-	•	-
					1				+	<b>C</b>  3	+	L	-	Ξ		,	-	  -	H	Н	1	'	,
	C6H13 F F F	1 1	1 1	1 . 1			<u> </u>	+	$\pm$	77	╀	Ξ	탏	Ξ	1	,	,	-			-	-	7
	C6H13	C6H13					-	╁	t	┨┸	1	=	I	I	I	I	I	н		'	<u>'</u>	-	,
		C6H13 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F						╀	Ţ	7	+	-		I	,	,	-	-	_		-	'	۱.
							╁	╁	_1_	1	1	=	=	Ξ	,	,		-	_			'	,
					-	-	<u>. </u>	+			4		= =	Ξ		١,		-	-		_	1	1
	C7H15 F F						+	╁	_1_		╀	E	=	Ξ	1	-		-	Н	Н	,	1	•
						+	+	+		╀	╀	=	I	Ξ	,	ŀ	-	_	Н		_	-	-
	C7H15 F F F	C7H15 F F F				+	+	╀	-1-	╁	╀	Ξ	I	Ξ	١	,		1	$\dashv$	_	_1	1	1
		C8H17 F F F				+	+	╀	_ _	-	╀	I	I	I	,	,	-	_		-	듸	Ξ	I
	C8H17 F	C8H17 F						╁	_ _	ľ	╀	Ξ	Ξ	Ξ	-	-	-	_	$\dashv$	-	4	1	-
	C8H17 F	C8H17 F						╀	. _	ľ	╀	u	=	Ξ	,	-	_	-	$\dashv$	$\dashv$	١	•	٦
	C9H19 F F F	C9H19 F F F						╁	_ _	ľ	╀	=	Ē	I	,	-	-	_	_	-	<u>'</u>	'	1.
		C9H19 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F						+	_ _	1	╁	1		I	Ξ	Ξ	I	Ξ	Н			-	1
	C10H21  F F H H H H H	C10H21  F F H H H H H						+	_ _	1	╀	=	=	Ī				-	H		_	-	١
		C10H21 F F =				+	+	╀	_ _	1	╀	= =	1	I		,		-	H		<u>'</u>	i	'
	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	C11H23 F   F   F   F   F   F   F   F   F   F	3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			+	+	-1-	1	╀	1	=	Ξ	,	ŀ	,	-		1	1	'	-
		C12H25   F   F   =   =   =   =						+		#	╀	1	I	ī	,	Ī.		1	Н	Ц	•	-	'
	C13H27 F F F F	C13H27 F F F F					+	╀	-1-	╁	╀	=	I	Ξ	ŀ	-	-	-	$\dashv$			•	1
	C14H29 F F F F F F F F F F F F F F F F F F F	Ci4HZ9 F F F F					1.	╁		╀	╀	I	Ξ	Ι	-	•	1	-	$\dashv$	┪		•	1
	Cl3H31	C19H31					<u> </u>	╁	-14	╀	╀	Ξ	Ξ	I	-	1	7	,	$\dashv$	+	되 -	Ξ	=
	C19831 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	C19831			  -  -		╀	١.	-1-	╀	┞	Ξ	Н	Н	•	1	,	-	+	+	<u> </u>	•	
	1	71000	1 1	,	,	ļ.	╀	,	1-	$\vdash$	Н	F	푀	Ξ	•	•	•	;	+	+		1	1
	C17H35 F	C17H35 F F	1 1	1	,	┞	┞	ı		Н	Н	모	되	Ξ	•	,	,	1 :	+	+	\ <del> </del>	Ŀ	
	C17H35 F	C17H35 F F H H H	H	T T	НН	H	Н	王		$\dashv$	$\dashv$	Ŧ	=			=	=	=	+	+	-	ŀ	
	C17H35 F F	C17H35 F F	1	1 1	1	•	$\dashv$	,	-1	+	+	1		=		1	1	+	╀	╀	<u> </u>	ŀ	1
	C17H35 F F F	C17H35 F F F		-	-	+	+	1	-1	+	+	1		-	ŀ	ŀ	,	,	H	L	<u> </u>	1	ı
	C18H37 F F	C18H37 F F	1 1	-	-	+	+	,	-1-	+	+			=		,	Ţ,	١.	$\vdash$	┞	1		1
	C18H37   F   -   -	C18H37   F   -   -		-	-	+	+	,	—l·	+	+	= =				Ţ.	١,		┞	H	Ξ	'	1
	C18H37 F F	C18H37 F F	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1	-	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$		+	+	=				١.	ļ,	١,	╀	10	L	ľ	ا ا
	C19H39 F F	C19H39 F F		1	1	-	-	+		+	+	= :	=	4=		ŀ	<b>†</b> ,	,	╀	╀	<u> </u>	Ξ	Ξ
	H C20H41 F   F   -   -   -	C20H41 F   F	1 1 1	1	1	-	-	1	_	$\dashv$	+	= :		= =		1	١,	<u> </u>	╀	╀	1	Ľ	١
1		T L L	1 1 T	1	1	-	-	-		+	+			1				†	╀	-		Ŀ	Ŀ
1	u	I	1 1 1		1			ı	_	$\dashv$	-	_	ᆈ	_	<u>'</u>	-	1	+	+	╀		Ŀ	ŀ
	1 1 1	1 1 1	1 1	1	1	1	H	1			$\dashv$	되	핆		1	:		.		+	! 	'	ŀ
	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	T	I	エエ	Ξ	Ŧ	-	H	_	Н	$\dashv$	Ŧ			티	Ŧ	E	=	-	+	4	!	
			1	1	,	-	H	,	ı —	-		<u> </u>	I	Ξ	-	ı	-	-		<u>'</u>	4		

•	•
`	/
11	2
**	2
1	j.
-	÷
C	V
	ı
	1
r	`
T	-
h	Ķ
ш	
-	-
_	
ř	n

1 Ph Iq2	ı	Ε	٤	∢	<b>6</b>	÷<	œ	ш	<b>5</b>	7	a a
1 Ph 142		2	-	윤	142	•	1	웅	윉	윉	•
1 Ph 142		2	1	ዋ	lq2	•	1	С(СН3)3	С(СН3)3	Ŧ	٠
1 Ph iq2		2	-	Ph	lq2		ı	CH3	C4H9	윉	•
1 Ph iq2		2	-	Ph	lq2		-	•	ı	•	ة
2 1 Ph Iq2	_	2	_	Ph	lq2	1		•	ı	-	à
3 0 Ph	<u> </u>	2	-	돈	lq2		1	1	i	٠	lq2
3 0 Ph Iq2	<u> </u>	၉	0	ዋ	lq2	• .	1	1	•	-	١
3 0 Ph Iq2	-	2	0	Æ	lq2	,	1	ı	1	-	'
2 1 Ph Iq2 Ph Pr   Q2   1	L	8	0	뚠	Iq2	-		t	1	-	-
2 1 Ph Iq2	<u> </u>	2	_	Ph	lq2	Ph H	Pr	ı	ı	1	ı
2 1 Ph Iq2	-	2	_	듄	lq2	ı		CH3	СНЗ	Ξ	ι
2 1 Ph Iq2	-	~	-	Æ	lq2	,	1	CH3	сно	CH3	-
2 1 Ph Iq2	-	2	-	윤	Iq2	١	-	C(CH3)3	C(CH3)3	I	1
2 1 Ph Iq2	$\vdash$	2	-	Ph H	lq2	1	•	CH3	C4H9	CH3	1
2 1 Ph Iq2	-	2	-	Ph	1q2	ı		1	ı	-	占
2 1 Ph Iq2		2	-	Ph	Iq2	1	-	1	1	1	ሷ
3 0 Ph Iq2	$\vdash$	2	-	ᄯ	Iq2	-	1	-	ı		Iq2
3 0 Ph 1q2	$\vdash$	6	0	Ph	Iq2	•	-	•	-	-	1
3 0 Ph Iq5	H	6	0	ᄯ	lq2	1	ı	1	ı	1	-
3 0 Ph Iq5	-	8	0	Ph	lq5	1	ı	1	_	:	۱
2 1 Ph Iq5 Ph Pr 2 2 1 Ph Iq5	_	3	0	Ph	gb]	1	1	1	ı	1	'
2 1 Ph 145 2 1 Ph 145 2 1 Ph 145 2 1 Ph 145 2 1 Ph 145 2 1 Ph 145 2 1 Ph 145	_	2	-	ď	lq5	Ph	Pr	ŧ	•	-	'
1 Ph Iq5		2	-	ď	3p1	-	ı	CH3	CH3	Н	١
1 Ph 145 1 Ph 145 1 Ph 145	$\vdash$	2	_	된	lq5	•	1	CH3	CH3	CH3	ı
1 Ph Iq5 - 1 Ph Iq5 -	-	~	-	된	lq5		-	C(CH3)3	С(СН3)3	H	1
1 Ph 145 -	$\vdash$	2	-	된	lq5	,	1	CH3	C4H9	CH3	
- 1 Ph 145 -	$\vdash$	2	_	栕	195	-	1	t	1	-	ď
1 Ph 1q5 -	$\vdash$	2	-	栕	lq5	•	-	1	1	-	P
10 6-1		2 .	-	H H	lq5	ı	1	. 1	1	-	12
- Ph 192	-	2	-	Ph	142	Ч	Ä	•		_	1

		_		_	Г	1	Т	Т	_	7	_	1	Т	٦	_	_	T	T	Т	Т	Т	٦	٦	Т	Т	Τ	T	.T	,	,		Ī	П		
	읦	1	•	-	Ľ	Ľ	-	듸.	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	_	_	1		<u> </u>	$\downarrow$	<u>'</u>  -	7	<u>'</u>	4	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	4		Ĥ	Ë	Н		
	2	1	1	ı	ŀ		•		ا:	<u>'</u>	'	'	<u>'</u>	_	١	Ŀ	Ľ		<u>'</u>	1	<u>'</u>	<u>'</u>			<u>'</u>	1	<u>'</u>	<u> </u>	1	-	Ľ	Ξ	Ľ		
	82	ı	ī	,	3	-	=	되	1	-	٠	١	1	ı		,	2	=	듸		ı	1	1			<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	ı	Ξ	Ξ	E	Ľ		
æ	Ε.	ı	,	,	-	디	3	=	-	,	1	1	1	1	,		=	2	<u> </u>	=	,	ı	ŧ	ı	ŀ	ا'.	'	ı	1	Ι	CH3		<u> </u>		
	R6	1	,	١,	-	†	7	I	,	ı	-	-	1	,	,		•	Ξ	Ξ	王	ı	1		'	•	٠	3	1		I	Ξ	-	1		
	R5			١,	1		三	I	•	,	,	ŀ	,	Ī	,	T		Ξ	Ξ	I	,	ŀ	-	ŀ	١	_		_	ı	I	=	===	1		
$\vdash$	82	,	١,	$\dagger$	,†	,	-	-	ŀ	,	,	Ξ	,	,	١,	1			1	1	ŀ	,	,	,	Ξ	-	-	,	,	[	ŀ				
	RJ FJ	١,	<u> </u>	†	,	-	1	-	,	1	,	Ξ		۱,	†	1	,	,	,	1	ļ	1	ŀ	١,	Ξ	,		ļ		Ī	1	·T	1 =	=	
ī	88		+	†	,	,	-	,		,		=	<u></u>	ļ	+	•	-	ı		,	ı	,	١,	١,	Ξ	•	,	,	1		·T	·	-	=	
	25	╀	†	+	,	ı	1	,	١,	<b> </b>	<u> </u>	-	<u></u>	1	†	,	-	1	١,	,	١,	١,	Ţ,	١,	=	1	,			1	,	•	,	=	
$\mid$	010	+	<u>+</u>		Ŧ	I	Ī		-	-	+	<del> </del>	<u> </u>	<del> </del>		Ī	I	Ξ	=	=		‡	<b>†</b>	4	= =	=	=	-			=	=	1	4	
	$\vdash$	+	+	1		$\vdash$	$\vdash$	-	5	75		25	1	213	7	F3	CF3	53	250	250	1	_	-	+	<u>-</u>	-	<del> </del>	+	<u>.</u>				<u> </u>	늬	
	la L	4			_	Ξ	┞	-	1	+	+	╁	+	+	┪	_	⊢	╁	╁	╁	$\dagger$	╀	+	+		+	╀	+	+	+	-	+	1	ᅱ	
٥		2		Ξ	I	I		1		1	4	+	+	+	4	_	┞	╁	= -	╀	+	+	1	+	+	╀	╀	╁	+	$\dashv$	-	$\dashv$	$\dashv$	Ŧ	
		2	Ξ	ェ	Ξ	-	1			다: -	7	디: -	1		H	<b>T</b>	F	╀		╀	╁	+	+	+	다: -	+	╁	╁	4	-	$\dashv$	Н	H	$\dashv$	
		윈	Η	I	=	-	1	1	=	= :			듸	Ŧ	Ξ	H	-	-	1	<u> </u>		7	Ξ		+	+	<b>-</b>  -	┪	$\dashv$	_	H	H	Н	H	
		8	エ	H	I	-	4	1			듸	듸	Ξ	工	I	=		1	= -	<u> </u>	F	ᅴ	Ξ	<u> </u>	<u>'</u>	4	4	<u>'</u>	1	1	-		Ľ	Ξ	1
		<b>R</b>	1	Ŀ	Ŀ	1	'	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	_	Ξ	-	-	Ľ		4	<u> </u>	<u> </u>	<u>'</u>	_	1	_		듸	4	<u>'</u>	1	Ė	<u> </u>	Ľ		┞	ł
	Z	2	ŀ	Ŀ		'	<u>'</u>	<u> </u>	<u> </u>	_		1	I	1	Ľ	Ľ	1	4	<u>'</u>	<u>'</u>	_		1	-		듸	<u>'</u>	_	1	Ľ	Ľ	<u> </u>	F	F	
		2	ŀ	ŀ		<u>'</u>	1	<u>'</u>	'	ı	,	-	H	Ľ	ŀ	ľ	1	•	<u>'</u>	'	1	-	-	1	_	Ξ	1	-	-		<u> </u>	Ľ	F	-	1
		<u>R</u>	,			,	,	1	1	1	١	ŀ	Ξ	ŀ	Ŀ		<u>'</u>	1	1	١	1	ŀ	Ľ	Ŀ	Ľ	H	1	-	Ľ	<u> </u>	<u> </u> '	<u> </u> '	I	-	-
,		B4	-	===	-	=	H	Η	H	I	I	I	I	I	þ	╬	뒥	I	H	I	╒	Ŧ	Ξ	E	Ξ	Ŧ	H	Ξ	Ξ	-	-	1		1	
		ä	1	1	1	ш	L	4	L.	ц	L	L	L	Ļ	-	4	4	L.	L	4	u	Ī	Ξ	=	=	Ŧ	Ξ	I	1	-		=	=	= -	-
	4	6	╀	+	┧	_	Ŀ	L	L	-	-	=	-	+	<del> </del>		Ŧ	I	I	I	=	100		- =	=	-	I	=		1		=	-	-	E
-2]	1	$\vdash$	╁	+		L L			L		-	+		1.	۱,		L	·	ļ			t	t	<del> </del>	<del> </del>	=	1	-	+	<del> </del>	† = :	†			
[第17-2]	:	Ĭ	+	4		_	L	1	1	ļ	1	1	1	1	+	4		L	1	٦	1	1	+	1	╀	1	Ļ	1	213	014	- C19	919	617	818	619
果	1	ž		25	591	592	593	204	202			S	000		3	69	602	AC.	808	S S			3 6			9	6	٥١٥	9	9		2	8	<u> </u>	·

	B.	-	'	,	'	,	-	,	,	1	•	à	à	<u>1</u> 02	1		-	-	,	1	,	-	1		١	<u>'</u>	<u>.</u>	'	<u> </u>	<u>'</u>	<u>'</u>	1	_	ı	1	<u>'</u>	<u>'</u>	<u>'</u>	'	'	
Ī	œ,	P	P <sub>2</sub> 2	Pz	O Sign	×	Bz	å	ŏ	Sz	à	,	-		,	-	-	ď	1	١	•	-		١	1	'	١	,	,	,	'	-	١	1	١	'	1	'	-	_	
	A.	Ph	면	윤	ď	된	ፎ	٦.	된	된	됩	•	-	·	-	-	,	됩	٠	-	1	1	-		,	1	1	1	1	ı	1	1	ı	,	٦		٠	,	1	-	Ľ
	В	Iq2	Iq2	lq2	192	lq2	lq2	lq2	192	192	Iq2	lq2	Iq2	192	Iq2	192	Iq2	Iq2	192	102	192	198 198	198	99 1	98	198	lq6	lq6	lq6	lq6	9b1	Lp1	<b>L</b> b]	7pI	∠b]	la7	lq7	lq7	<b>L</b> bl	LpI	lq7
	∢	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ph	Ъ	Ph	Tn4	Ъ	Ph	. Ph	佦	된	돈	됩	돈	ద	돈	ዋ	된	P	Ph	٩	Ph	Ph	Ph	Ph	. Yd	чд	Ьh	Ph	ЧЬ	ча	Чd	Ph	ηd	Ч	돈
	c	-	-	1	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Ε	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	က	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	က	က	က
	Σ	Ŀ	<u>_</u>	<u>.</u>	<u>.</u>	<u>.</u>	.=	۵	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	-	<u>.</u>	<u>.</u>	묎	꼾	돈	쭚	赿	£	ЬЧ	11	ŀ	ŀ	1-1	٤	<u>.</u> _	1	ì	1	<u> </u>		٤	<u></u>	١	<u>.</u>	١.	١.	<u>ا</u>	ے	ے.
表18	2 2	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	844	645	646	647	848	849	650	651	652	653	854	655	656	657	658	629

· 		<del> </del>	<del></del>			444444
8	1111111	+++	<del>╏╏╏┩</del> ╋	╂╂╂╋	\	11111
62 1 1 1 1 1 1 1 1	1112			11111111	++++	+++++
<b>₩</b> .,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	1 === 1		111111	<u> </u>	<u> </u>	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· = \( \mathbb{Z} = \)	1111	11111	1111111		
92	<del>┦╼╃═</del> ┼╾┼	╌╂╼╂╼╂╌╂		11111		
\\ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>		+++		1 1 1 1 1	1111	
\ <u>\</u>	╀╂╂┧		<del>┖┈┤┈┤┈┤</del> ┈┤	11111	11111	
	<del></del>		<del></del> ┸╃╃╃	11111		
		<u>                                  </u>	┸┸┸┸	11111		
窓エエエエエエ!		$\sqcup \bot \sqcup \bot$	<del>┦╌</del> ┦╌╂╌╂╍╂╍	<del></del>		111111
	┝╇╌	+++			<del>                                     </del>	
8 エエ・エ・エエエ	되되니!!	1111	<u> </u>	<del>┈┤┈╏┈╏┈╏╸</del>	1	<del>,,,,,,,,,,,</del>
윤고 : 포포포포포	1 1 1 1	1111		<u> </u>	<del>┩┦┩</del>	<del>╶┋</del> ╂╂╂╂╂
& TETETE			エエエエエ			╀┼┼┼┼┼
	エエエエ	ココココ	되나나 다 :	되다	디딩되니!	
<b>2</b>			レエエエ・		1 1 1 1 1 1 1 1	工品工工工工工工
	<del>╎</del> ┤┤┼┼┤	<del>┤</del> ┤┼┤┤	エエエエエ	エエエエエ	エエエエエ	エエエエエエエ
					エエエエエ	
8 エエエエエエ			121212			
원 코 고 고 고 고 고 고 고 고 고 고 고 고 고	エエエエエ	エエエエ				
25 エエエエエエ	エエエリリ	<u>                                     </u>	<u> </u>		1 + 1 + 1	111111
& T T T T T T	エエエリリ	11111	<u> </u>	<u> </u>	1-1-1-1-1	
X X X X X X X X X X X	エエエ・		기되기기기	<u> </u>	<del>                                     </del>	<del>-1-1-1-1-1-1</del> -1
ETTTTT	エエエー		니되니니니			
<u> </u>	エエ・エ	エエエコ	エエエエエ	エエエエエエ:	コエエエエ	エエエエエエエエ
<del>╏╏╏╏╏</del>		工工工工	<u>u u u u u u </u>	エルルエエエ	되ろ	
<del>╎┞┞┼┼┼┼┼</del> ┼	╀╂╂╂	+++		CH3 CH3	C3F7 OC6H13( F OCF3	이 의원대로, [일
	디피피피	エエエエ	TTTTT	THT 55		<del>╎╎╏╏╏</del>
R R R R R R R R R R R R R R R R R R R	エエエエ	エエレレ		11111	┖┪┼┼	<del>┇┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋┋</del>
1   1   1   1   1   1   1   1   1   1	626 628 629 630	6332	638 638 638 638 638	844 844 845 845 845 845	848 848 848 848 848 848 848 848 848 848	652 652 653 653 656 658 658 658 658
Z 666666	<u> </u>			<u> </u>		

																		_	_	_	-	_		_	_	-т		$\overline{}$				_	_	ì
	0150	2 =		Ŧ	I	Ξ	I	Ξ	I	Ξ	Ŧ	Ŧ	I	Ŧ	Ŧ	I	I	=	= =	= -	= =	- -	Ξ.		=	ᆈ	Ŧ	Н	I	Η	I	I	Ξ	
	ő	2		エ	I	Ŧ	Ŧ	Ξ	Ξ	I	F	I	Ŧ	=	I	I	=		= =	<u> </u>	c :	=	Ŧ	Ŧ	Ŧ	Ŧ	I	H	Ŧ	I	Ŧ	=	I	
	o o	2  :	┰	Ŧ	x	Ŧ	I	I	I	=	=	=	=	I	=	=	1	-			= :	=	Ŧ	Ξ	Ξ	Ξ	I	I	I	Ξ	I	I	I	
B	1,0	ž i	Ξ	I	I	=	-	= =	=	=	=	I	=	= =	= =	-	=   =	= =	┇	=		Ŧ	Ŧ	I	Н	I	Ŧ	Ξ	Ξ	=	I		=	
	-	<b>₽</b>	_	I	1	I		-	-	+	-	-	-	-		-	-	-  -  -	- = :				Ŧ	Ŧ	H	I	I	I	I	I	1	= =	= =	- - -
	-	$\dashv$		-	-	$\vdash$	-	+		<del> </del>				<u> </u>		-						_	I	I	  -	_	=		=		<u> </u>	-	-	
-	1	€	<b>=</b>	=		-			+		1	-	+	1		+	+	1									-	+	+	+	+		+	
	;	R4	Ŧ	I	=		= =		= =	= =	<b>□</b>	- - - -	- - - -	[]: 		= :	= :		<b>=</b>	듸	Ξ	I	Ξ	=	=	=			- -	- -	  -		-  -	
		2	=	7	-	= =	=	= :	= :	= :	= =	= =		= :	<b>=</b>		I	╼┃	푀	Ŧ	I	I	Ξ	I	=	=	: 3			נ	بار			-
	∢	R2	] =	55	21.00	CZFI3	7153	C4H9	C(CH3)3	C5H11	C6H13	C/HIS	CBH1/	C9H19	C10H21	C11H23	C12H25	C13H27	C14H29	C15H31	C16H33	C17H35	C18H37	C10H30	C20H41		= -	-	Ξ.	Ε :	ב י	<b>L</b>	u l	_
		2	-		= =	= :	=	Ŧ	Ξ	Ŧ	=	=	F	=	되	=	Ξ	Ŧ	I	Ξ	Ŧ	Ξ	-	-		=   -	- -	=	=	=	-	Ŧ	Ŧ	ш
ŀ	L	L	15	<u> </u>	20	75	<u>г</u>	142	162	192	102	25	2	192	192	Iq2	Iq2	Iq2	Ia2	[5]	102	5	12	3 5	25	¥ :	36	192	192	192	<u>1</u> 62	<u>1</u> 62	Iq2	la2
		<	į	<u>ا</u>	됩	됩	됩	된	ď	币	栕	됩	돈	ᄯ	ď	占	돈	윤	윤	튭	ą	á	Ē	٤	5	٤	£	된	£	됩	됩	Ph	Ph	뚠
	-1	E	,	7	7	2	2	2	2	2	2	2	. 2	2	2	2	2	2	6	,		1.	,	7	7	7	7	2	2	2	2	2	7	. 2
		Σ	1	_	<u>.</u>	<u>.</u>	<u>, L</u> ,	Į,	1	<u>.</u>	Į.	<u>.</u>	۲.	<u>-</u>	.=	.5	-	-	-	-				<b>-</b>	-	-	-	ļ	7	۲.	1.	در	<u>.</u>	ŗ
[表19]		2		98	991	662	663	984	965	999	299	899	699	670	671	872	873	674	27.8	878			8/8	679	980	- 88 1	682	683	684	685	989	687	88	689

								•									_	_		_	_	_			_	_	_	_	Τ	1	Τ	T	7	
	R10	I	=		Ŧ	I	Ŧ	Ξ	I	I	I	I	I	I	I	I	F	=	=	=	L	14	I	Ξ	I	Ŧ	Ξ	I	I	I	I	=	<u>-</u>	
	62	-		25	CF3	Ŧ	SE C		L	-   =		-	CF3	Ξ	I	-	-	اء	-	E E	2	u	=	F	I	CF3	I	I	Sing.		-	-		
	ă	2 5	3	_ _	I	=	-	-	<del> </del>	- -		-	<del> </del>	= =	-	<del> </del>	+	-	-	2) =	١.	-	<u> </u>	-   =	-	= =	= =	= =	= =	= =	= :	= =	Į	
8	-	+			  -		<del> </del>	- -	+	+	+======================================	<del> </del> = :	- - -	- - -  -	= -	<u>- </u> :	+		+	 기:	=	+	- - =				<u> </u>	=	=	=	Ŧ	Ŧ	Ŧ	
	1,	-		<u> </u>		1	1	4	+	4	+	+	+	+	+	+	$\dashv$	$\dashv$	$\dashv$	+	+	+	+	$\dagger$	$\dagger$	+	1	1	1	1	되	山	늬	
		8	I	I	=	= =		ᆈ	┺	I	= :	=	= :	= :		国		エ		듸	픠	<u>"</u>	<u> </u>		=	= -	<b>=</b>  -			퓌			$\exists$	
		52	I	3			Ŧ	Ŧ	Ŧ	I	Ξ	Ŧ	푀	Ŧ	ᅬ	I	I	H	I	I	I	L	Ш	듸	Ŧ	Ŧ		≖	Ŧ	エ	ェ	ェ	Ŧ	
	1	R4	L	<del> </del>			CF3	Ŧ	u	ш	ш	ц	ш	ш	L	F	ш	I	I	I	H	I	L	Ξ	I	I	ᄑ	I	I	Ŧ	Ξ	Ξ	포	
			+	$\dagger$	1	3		8	$\vdash$				Γ'					_	1		I		L	I	H	I	Ŧ	H	I	r	=	=	   	
		R3	ا	-	I	R	≖ 	SF3	4	L	<u> </u>	4	<u> </u>	<u>ا</u>		L									_	-		-	-	$\downarrow$	$\downarrow$	$\downarrow$	+	
	∢	8		Ŀ	CF3	H	-	=	Ę	345	C3H2	SAH9	SHE'S	C6H13	C12H25	21812	2000		= -		= =	= =	-	SF3	C2F5	CSF7	C4F9	25.51	Carta	2115	217	2000	C15F31	
		-	1		-	-	+	1	+	$\dagger$	$\dagger$	+	+	+	+	†	1	†	1	= :	<u>+</u>	<u>+</u>		1,	<del> </del>	<u>_</u>	<u></u>	<u> </u>	<u> </u>	= :	-	= :	<b>=</b>  3	
		l	킨	u	Ξ	]	=   =		3										<b>-</b>	1	1	1	4	$\downarrow$	1	+	+	+	+	4	+	+	+	+
		8		la2	2	3 5			2	25	2015	함	<u>2</u>	<u>2</u>		12	<u>1</u> 2	2	귤	192	[5]	162	절:	<u> </u>	함:	<u>8</u>	설:	희	걸	162	<u>15</u>	<u>192</u>	<u>역</u> :	201
	-	✓		á		<u>+</u>	티	됩	됩	된	노	티	됩	4	티	듄	占	P	Ph	됩	된	듄	됩	됩	됩	됩	<u>د</u>	됩	됩	돈	٦ ٩	ቼ	됩	티
	+	 	 E	6	1	7	7	2	2	2	2	7	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7	2	2	7	2	2	2	2	2	2	2
				+	<u> </u>		<u>۔</u> د.	1.5	٤	٤	<u>-</u>	<u>_</u>	1	<u>.</u>	اد.	<u> </u>	-	-	<u>-</u>	-	-	<u>.</u>	ib	۲.	<u>.</u>	1	ۓ	1	ۓ		-	1	<u>.</u>	<u>.</u>
# C C C	1307年1	<u>.                                      </u>	<u>۔</u> و		069	691	692	693	894	å	988	697	869	689	200	701	202	3 5		202	É	Ę	8	é	710	E	712	713	714	7.5	716	1	718	719

CH		Ē	∢	æ	Č	Š	<b>A</b>	à	ď	90	11.	8	g	6
192	2		र्द	lo2	E I	R2	띪	7 T	£ £	В Н	Σ I	Ξ Ξ	E I	E I
192	2		e e	la2	I	] =	CH3	I	Ξ	I	Ξ	Ξ	I	I
Iq2         H         H         C2H5         H <td>2</td> <td></td> <td>문</td> <td>lq2</td> <td>I</td> <td>I</td> <td></td> <td>Ξ</td> <td>Ξ</td> <td>ľ</td> <td>Ξ</td> <td>I</td> <td>エ</td> <td>I</td>	2		문	lq2	I	I		Ξ	Ξ	ľ	Ξ	I	エ	I
162	2	_	P.	Iq2	I	Ξ	C2H5	Ŧ	Ξ	Ξ	Ξ	H	I	Ξ
102	2	_	4	Iq2	Ŧ	Ή	C3H7	Ξ	н	Ŧ	Ξ	Ŧ	Η	Ξ
1q2         H	2	_	윤	I <sub>4</sub> 2	I	I	C4H9	Ξ	Н	н	Ξ	Ŧ	н	Ξ
Iq2         H         H         C5H11         H </td <td>2</td> <td>_</td> <td>F.</td> <td>Iq2</td> <td>I</td> <td>Ξ</td> <td>C(CH3)3</td> <td>н</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>¥</td> <td>Н</td> <td>Н</td> <td>I</td>	2	_	F.	Iq2	I	Ξ	C(CH3)3	н	H	H	¥	Н	Н	I
1g2         H         H         COH13         H </td <td>2</td> <td></td> <td>占</td> <td>Iq2</td> <td>I</td> <td>Ή</td> <td>C5H11</td> <td>Η</td> <td>Н</td> <td>I</td> <td>Ι</td> <td>Ŧ</td> <td>Ŧ</td> <td>Ξ</td>	2		占	Iq2	I	Ή	C5H11	Η	Н	I	Ι	Ŧ	Ŧ	Ξ
162         H         H         C7H15         H </td <td>2</td> <td></td> <td>된</td> <td>Iq2</td> <td>Н</td> <td>Н</td> <td>C6H13</td> <td>Ξ</td> <td>Ξ</td> <td>I</td> <td>Ξ</td> <td>I</td> <td>Ŧ</td> <td>Ξ</td>	2		된	Iq2	Н	Н	C6H13	Ξ	Ξ	I	Ξ	I	Ŧ	Ξ
1g2         H         H         C8H17         H </td <td>2</td> <td></td> <td>£</td> <td>Iq2</td> <td>Ξ</td> <td>н</td> <td>C7H15</td> <td>Ξ</td> <td>Ξ</td> <td>Ξ</td> <td>Η</td> <td>Н</td> <td>Ξ</td> <td>Ŧ</td>	2		£	Iq2	Ξ	н	C7H15	Ξ	Ξ	Ξ	Η	Н	Ξ	Ŧ
1g2         H         H         C9H19         H </td <td>2</td> <td></td> <td>F.</td> <td>Iq2</td> <td>I</td> <td>Ξ</td> <td>C8H17</td> <td>н</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>H</td> <td>Н</td> <td>I</td>	2		F.	Iq2	I	Ξ	C8H17	н	H	H	H	H	Н	I
Iq2         H	2		윤	Iq2	I	Ξ	C9H19	Н	Ξ	H	Ξ	H	H	I
1g2         H         H         C11H23         H<	2		F H	Iq2	H	Ξ	C10H21	н	I	Ξ	Ξ	Η	I	I
lg2         H         H         C12H25         H<	2		ď	Iq2	F	I	C11H23	Н	Η	I	H	Н	I	Ξ
Ig2         H	2		P.	lq2	Н	H	C12H25	Ξ	Н	H	Ξ	H	Н	I
Ig2         H	2		4 H	lq2	н	Ξ	C15H31	Ŧ	Ξ	I	I	Н	н	r
Ig2         H	2		4G	Iq2	Н	Ξ	C18H37	Ŧ	Η	I	I	H	H	Ŧ
lg2         H         F         CH3         H <td>2</td> <td></td> <td>Ph</td> <td>Iq2</td> <td>H</td> <td>I</td> <td>C20H41</td> <td>Ŧ</td> <td>I</td> <td>Ξ</td> <td>I</td> <td>I</td> <td>Η</td> <td>Ξ</td>	2		Ph	Iq2	H	I	C20H41	Ŧ	I	Ξ	I	I	Η	Ξ
Ig2         H         H         -         -         H	2		η	Iq2	Η	U.	CH3	Ξ	н	I	T	H	I	I
lg2         H	2		ᄕ	Iq2	H	Ξ	_	-	н	I	I	I	Н	I
Ig2         H         H         -         -         H	2		Tn1	Iq2	H	Τ	1	-	Ξ	I	I	Ŧ	Ξ	I
Ig2         H	2		Tn2	lq2	H	Η	_	3	Ξ	I	I	Н	I	Ξ
lg2         H	2		Tn3	Iq2	Н	Ξ	-	ı	Н	I	Ξ	I	Н	Ŧ
Ig2         H	2		Tn4	Iq2	H	I	1	i	Η	I	Ξ	H	H	Ξ
Ig2         H	2		N <sub>D</sub> 1	Iq2	Н	I	1	1	I	I	Η	Η	H	Τ
Ig2         H	2		Np2	I <sub>9</sub> 2	Ŧ	I	ı	-	Η	I	r	Ξ	I	H
Iq2         H	2		<u>ဂ</u>	Iq2	Ξ	I	_	-	н	I	Ŧ	Н	Н	Ŧ
Iq2         H	2		Cn2	Iq2	I	Ξ	•	•	Н	I	I	H	Н	Ή
1q2 H H H H H H H H H H H H H H H H H	2		Pe	Iq2	H	I	1	-	Н	ェ	I	I	Ξ	I
192 Н Н – 1 – Н Н Н Н	2		Qn1	Iq2	Н	Η	ı	1	I	I	I	I	I	Ξ
	2		Qn2	Iq2	Н	Ή	-	-	I	I	I	I	H	Ξ

【半~1】

	<u> </u>	Γ	<u> </u>	Τ	T		_											_	_	_	Ţ	I	Ī	Ī	Ŧ	ī	Ī	Ī	Ī	T =			-	
	R10	E				듸	王	н	Ξ	Ξ	エ	H	エ		I	<b>=</b>	I	I	エ	Ξ	I				Ĺ			ľ		1	1	1	-	-
	83 83	I	= =	= :	Ŧ	ᆂ	Ŧ	Ξ	Ŧ	I	I	I	I	Ŧ	I	I	Ŀ	CF3	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	CF3	Ξ				,		,			ľ	
	88	2 =	= =		티	I	I	I	=	Ξ	Ŧ	Ξ	Ξ	I	ı	-		,	,		,	,			I	I	Ī	2.E.S	3 3	= =	=   =	= =	u	
B	78		- -	=	Ξ	I	Ŧ	I	I	=	=	Ī	Ξ	Ξ	Ŧ	Ξ	I	Ξ	I	I	=	: =	:   1	=	I	I	= =	-	=			= =		-
ŀ	8	2 =	=	F	I	Ŧ	F	I		=   I	=	=	=	I	I	I	Ī	=	= =	-	=   =	=   =	= =				= =	= =	= :	= :	= :			=
	ä	<u>و</u>	Ŧ	-	1	1			1	1				١.	1	= =	=	= =	=   =	= =	= =	= =	= =	c   =	<b>-</b>		c =		Ξ:	<b>.</b>	= :	=	= =	<b>C</b>
	1	\$	,	Ŧ	CF3	=	=   =	-	-	L	_	1.	_	- -		= =	-	-	<b>E</b> 3	= =			=	=	=	=		Ξ :	I	=	Ŧ	Ŧ.	= :	L
		£	'	SF3	I	i je		د ا	_	<u> </u>	<u> </u>	. ,		-  -			- -	- =	= :	= :	=	Į.	ES		E	=		-	Ŧ	Ŧ	포	ᅬ	얦	•
	<  -	R2	C2H5	I	1	-	<b>-</b>  -	E S	CH3	C2H5	/HES	CATS.	CSH11	CORIS	2123	= =	= :	I S	CF3	SH3	C4H9	C3F7	OC6H13	L	OCF3	Ξ	Ŧ	Ŧ	CF3	CH3	C4H9	C3F7	OC6H13	u
	-	۳.	Ŧ	=	-		3	=	듸	Ŧ		되	Ŧ	=		=	=	-	Ŧ	되	키	되	Ŧ	L	Ξ	=	키	L	I	H	Ξ	I	Ξ	יי
}			Io2	75	2 -		<u>2</u>	<u>1</u> 2	155	195	122	īg.	12	195	192	9	9	9	99	9 9	1 <u>9</u>	196	lq6	Iq6	Iq6	la7	Iq7	lq7	<u>7</u> 91	7pI	la7	Iq7	lq7	
	_	<	ć	á		5	된	듄	H H	Ph	占	吊	ዋ	됩	듄	듄	문	듄	Ph	P.	Ph	Ph	ď	P.	H.	Ph	Ph	윤	ď	ď	ᄯ	문	占	Ċ
	-1	Ε	,	1	1	7	2	2	2	. 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	,	2	2	
	:	Ξ	.	<u></u> -	_	<u>-</u>	<u>.</u>	ے۔	<u>_</u>	۵	٤.	١.	<u>-</u>	<u>.</u>	1	<u>ٿ</u>	Ŀ	1	<u>.</u>	٤	ۓ	.=			١	۵	<u>,                                    </u>	<u>.</u>	-	-				
[表22]	:	e 2	ř		752	753	754	755	756	757	758	759	280	781	762	783	784	765	788	787	768	769	07.7	1	772	773	774	775	977	77.	37.6	2 2	280	

																										_,	_				_
	R10	Ξ	푀	Ŧ	Ŧ	Ŧ	I	되	Ŧ	Ŧ	I	Ξ	I	Ξ	I	듸	I	I	Ŧ	=	I	,	,	۱	'	1	r	1	ı		
	R9	I	Ξ	ц	CF3	Ξ	Ι	Ξ	Ŧ	CF3	Ι	I	Ξ	L	CF3	I	I	Ξ	I	CF3	Ξ	Ξ	Ξ	٢	CF3	Ξ	Ξ	Ξ	Η	CF3	Ŧ
	R8	ェ	I	Ξ	Ξ	I	Н	Η	Ξ	I	Ξ	I	Н	Η	н	Ξ	Н	Ξ	I	Ι	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	I	Ξ	Ξ	I	I
8	R7 .	x	I	I	I	I	Ξ	I	Ξ	Ξ	I	-	-	-	1	1	1	1	:	,	1	I	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	н	Ξ	Ŧ
	R6	-	ı	1	-	_	-	J	•	ı	١	н	Н	H	н	H	I	Н	Η	Ή	Ξ	I	Ι	I	Τ	Ξ	Η	I	Н	Ξ	Ŧ
	R5	н	н	н	Ξ	Η	H	H	Ξ	Ή	н	н	Ξ	Н	Ξ	Ξ	Η	Ŧ	×	Н	Ξ	Η	Ι	I	н	Ξ	I	I	Ŧ	Ŧ	H
	R4	Ή	н	Н	Η	Н	Н	н	Ξ	н	Η	H	Н	Η	Ξ	Η	Н	Н	Н	н	Ξ	н	I	Η	Τ	Η	н	I	I	Ξ	Ŧ
	R3	Ξ	F	F	Н	Н	Ŧ	Н	C3H7	F	Н	H	ı	F	I	н	Н	I	C3H7	F	Ξ	Н	F	F	Ŧ	H	I	Н	C3H7	F	Ξ
4	R2	I	н	Τ	CF3	CH3	C4H9	C3F7	OC6H13	±.	OCF3	I	I	Ξ	CF3	CH3	C4H9	C3F7	OC6H13	F	OCF3	Ŧ	H	Ξ	CF3	CH3	C4H9	C3F7	OC6H13	u.	OCF3
	R.	ェ	ェ	Ŀ	I	Ξ	Ξ	Ξ	Ξ	4	Ξ	Ξ	Ŧ	ш	Ξ	I	Ξ	I	I	ட	Ξ	I	I	ட	I	I	I	I	Ξ	L	Ξ
6	מ	198	198	1 <u>8</u> 8	108 801	108 801	168 89	198	lq8	lq8	198	601	la9	661	1a9	lq9	la9	[a]	691	1d9	lq9	Iq10	Ia 10	Iq10	1910	1q10	1q10	[q10	Iq10	1910	lq10
	∢	문	Æ	윤	듄	듄	윤	ᄯ	栕	윤	전	윤	듄	Æ	뜐	ď	돈	돈	モ	듄	윤	Ph H	占	윤	ď	ď	ď	ď	윤	P.	Ph
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ε	6	6	6	٣	6	က	က	3	6	6	3	3	က	9	က	က	6	3	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
1	Σ	ے	<u>ا</u>	ۓ		۱.	<u>د</u>	<u>ا</u>	-	٤.	٤	٤.	٤	<u>_</u>	-	1	جا	۵.	۵		۲.	٤	۵	۲.	۵	-	۵	<b>1</b>	۲	٤	1-
	Š	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	80	80	802	803	804	805	908	807	808	608	810	811	812

表23

[実施例]

10

15

20

25

以下に実施例を挙げて本発明を具体的に説明する。

< 実施例1、2>

本実施例では、素子構成として、図1 (c)に示す有機層が4層の素子 (有効表示面積:3 m m²)を作成した。透明基板15として無アルカリガラス基板を用い、この上に透明電極14として100 n mの酸化インジウム (ITO)をスパッタ法にて形成し、パターニングした。この上にホール輸送層13として、前記構造式で表されるα-NPDを膜厚40 n m 真空蒸着した。その上に有機発光層12として、前記CBPをホスト材料とし、所定の金属配位化合物を重量比8重量%になるように膜厚30 n m で共蒸着した。さらに励起子拡散防止層17として、BCPを10 n m 真空蒸着した。次に電子輸送層16として、前記Alq3を10<sup>4</sup>Paの真空度で抵抗加熱蒸着を行ない、膜厚30 n m の有機膜を得た。

この上に金属電極層 1 1 の下引き層として、A 1 L i 合金膜厚を 1 5 n m で配置した。さらに、1 0 0 n m の膜厚のアルミニウム A 1 膜を蒸着し、透明電極 1 4 と対向する電極面積が 3 m m² になる形状でパターニングした金属電極 1 1 を形成した。

配位化合物としては表1中の、例示化合物No.1 (実施例1)および表3中のNo.28 (実施例2)をそれぞれを用いた。

得られたEL素子の特性としては、電流電圧特性をヒューレッドパッカード社製・微小電流計4140Bで測定し、発光輝度は、トプコン社製BM7で測定した。本実施例の各配位化合物に対応する素子はそれぞれ良好な整流性を示した。

電圧12V印加時に、本EL素子からの発光を確認した。発光はそれぞれ、

実施例1 (化合物No. 1) の素子:8000cd/m²

15

20

実施例 2 (化合物 No. 28) の素子: 3500 c d / m<sup>2</sup> であった。

これらの配位化合物No. 1およびNo. 28の発光特性を知るために、溶液の発光スペクトルを測定した。分光蛍光光度計(日立製:F4500)用い、配位化合物の濃度10<sup>-4</sup>mol/lのトルエン(またはクロロホルム)溶液に350nm前後の励起光を当てて発光スペクトルを測定した。発光スペクトルは、ほぼ電圧印加時のEL素子のスペクトルの値とそれぞれ合致し、EL素子の発光が配位化合物からの発光であることが確認された(後記実施例7および8参照)。

## 10 < 実施例3~5、比較例1>

表24に示す発光材料(例示化合物)を金属配位化合物として用いた 以外は、実施例1、2と同様にして発光素子を製造した。比較例1では 従来の発光材料の代表として前記Ir(ppy)3を用いた。

ITO電極を陽極、A1電極を陰極として12ボルトの直流電圧を印加して通電耐久試験を行ない、発光輝度が半減するまでの時間を計った。 測定の結果を表24に示すが、従来の発光材料を用いた素子より明らかに輝度半減時間が大きくなり、本発明の材料の安定性に由来した耐久

表 2 4

性の高い素子を得ることができた。

	発光材料No.	輝度半減時間 (hrs)
実施例3	1	1550
実施例4	24	1100
実施例5	28	1350
比較例1	Ir(ppy)₃	350

10

15

次の手順で図2に示す単純マトリクス型有機EL素子を作成した。

縦 100mm、横 100mm、厚さ 1.1mmのガラス基板 2 1 上に透明電極 2 2 (陽極側)として約 100nm厚の ITO 膜をスパッタ法にて形成後、単純マトリクス電極として 100μm幅の電極を間隔 40μm で 100 ラインをパターニングした。つぎに実施例 1 と同様の条件で同じ有機材料を用いて 4 層から成る有機化合物層 2 3 を作成した。

続いてマスク蒸着にて、 $100 \mu m$  幅の電極を間隔  $40 \mu m$  で 100 ライン 分の A 1 電極 2 4 を、透明電極 2 2 と直交するように、真空度  $2.7 \times 10^{-3}$  Pa の条件で真空蒸着法にて成膜した。金属電極(陰極) 2 4 は A1/Li 合金(Li:1.3wt%)を膜厚 10nm, つづいて A1 を 150nm の膜厚で積 層して形成した。

この 100 x 100 の単純マトリクス型有機EL素子を、窒素雰囲気で満たしたグローブボックス中にて、図3に示す10ボルトの走査信号と±3ボルトの情報信号を用いて、7ボルトから13ボルトの電圧で、単純マトリクス駆動をおこなった。フレーム周波数30Hzでインターレース駆動したところ、各々発光画像が確認できた。

<実施例7> (例示化合物No. 1の合成)

イソキノリンN-オキシド(東京化成製)69.3g(448mmole)、クロロホルム225mlを1リットルの3つロフラスコに入れて溶かし、氷冷攪拌下、内温を15~20℃に保ってオキシ塩化リン219.6g(1432mmole)をゆっくり滴下した。その後昇温し、

10

15

3時間還流攪拌を行った。反応物を室温まで放冷し、氷水中に注入した。 酢酸エチルで抽出し、有機層を中性になるまで水洗し、溶媒を減圧乾固 した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶離液:クロロホ ルム/ヘキサン:5/1)で精製し、1-クロロイソキノリンの白色結 晶35.5g(収率44.9%)を得た。

100mlの3つロフラスコにフェニルボロン酸(東京化成製)3. 04g(24.9mmole)、1-クロロイソキノリン4.09g (25.0mmole)、トルエン25ml, エタノール12.5ml および2M一炭酸ナトリウム水溶液25mlを入れ、窒素気流下室温で 攪拌しながらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)0.98g(0.85mmole)を加えた。その後、窒素気流下で8時間還流攪拌した。反応終了後、反応物を冷却して冷水およびトルエンを加えて抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥して溶媒を減圧乾固した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (溶離液:クロロホルム/メタノール:10/1)で精製し、1-フェニルイソキノリン2.20g(収率43.0%)を得た。この化合物の重クロロホルム溶液の 'H-NMRスペクトルを図7に示す。

10

. 15

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バブリングしながら130~140℃で2時間加熱攪拌した。グリセロールを100℃まで放冷し、1-フェニルイソキノリン1.03g(5.02mmole)、イリジウム(III)アセチルアセトネート(ストレム社製)0.50g(1.02mmole)を入れ、窒素気流下210℃付近で7時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して1N-塩酸300mlに注入し、沈殿物を濾取・水洗した。この沈殿物をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、トリス(1-フェニルイソキノリン-C²,N)イリジウム(III)の赤色粉末0.22g(収率26.8%)を得た。MALDI-TOFMS(マトリックス支援イオン化一飛行時間型質量分析)により、この化合物のM+(電子1個を除いた対応陽イオン質量数)として805.2を確認した。

この化合物の重クロロホルム溶液の  $^{1}H-NMR$  スペクトルを図8に示す。 この化合物のクロロホルム溶液の発光スペクトルの $\lambda$ maxは619 nm、量子収率は $Ir(ppy)_3=1.0$ としたとき 0.66 だった。

この化合物を用いて作成した実施例1のEL素子に電圧を印加してλmaxが620nmの赤色発光を確認した。

<実施例8>(例示化合物No. 28の合成)

10

15

100mlの3つロフラスコに9,9ージメチルフルオレンー2ーボロン酸2.91g(12.2mmole)、1ークロロイソキノリン2.00g(12.2mmole)、トルエン10ml、、エタノール5mlおよび2M一炭酸ナトリウム水溶液10mlを入れ、窒素気流下室温で攪拌しながらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)0.44g(0.38mmole)を加えた。その後、窒素気流下で5時間還流攪拌した。反応終了後、反応物を冷却して冷水および酢酸エチルを加えて抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥して溶媒を減圧乾固した。残渣をシリカゲルカラムクロマト(溶離液:トルエン/酢酸エチル:50/1)で精製し、1ー(9,9ージメチルフルオレンー2ーイル)イソキノリン2.13g(収率54.2%)を得た。

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バ ブリングしながら130~140℃で2時間加熱攪拌した。グリセロー ルを100℃まで放冷し、1-(9,9-ジメチルフルオレン-2-イル)イソキノリン1.61g(5.01mmole),イリジウム(III)アセチルアセトネート0.50g(1.02mmole)を入れ、窒素気流下で8時間還流攪拌した。反応物を室温まで冷却して1N-塩酸600mlに注入し、沈殿物を濾取・水洗した。この沈殿物をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、トリス[1-(9,9-ジメチルフルオレン-2-イル)イソキノリンーC³,N]イリジウム(III)の赤色粉末0.38g(収率32.3%)を得た。MALDI-TOF MS によりこの化合物の M\*である 1153.4 を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルのλmaxは648nmで、量子収率は Ir(ppy)₃=1.0 としたとき 0.66 だった。

この化合物を用いて作成した実施例2のEL素子に電圧を印加してλmaxが650nmの赤色発光を確認した。

<実施例9>(例示化合物No. 25の合成)

15

5

10

100mlの3つロフラスコにチアナフテンー2ーボロン酸(アルドリッチ社製)4.45g(25.0mmole)、1ークロロイソキノリン4.09g(25.0mmole)、トルエン25ml、エタノール12.5mlおよび2Mー炭酸ナトリウム水溶液25mlを入れ、窒素気流下室温で攪拌しながらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)0.98g(0.85mmole)を加えた。その後、窒素気流下で8時間還流攪拌した。反応終了後、反応物を冷却して冷水およびトルエンを加えて抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、硫酸マグ

10

15

20

ネシウムで乾燥して溶媒を減圧乾固した。残渣をシリカゲルカラムクロマト (溶離液:クロロホルム) で精製し、1-(チアナフテン-2-イル) イソキノリン4. 20g (収率64.3%) を得た。

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バブリングしながら130~140℃で2時間加熱攪拌した。グリセロールを100℃まで放冷し、1ー(チアナフテンー2ーイル)イソキノリン1.31g(5.01mmole)、イリジウム(III)アセチルアセトネート0.50g(1.02mmole)を入れ、窒素気流下210℃付近で5時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して1N一塩酸300mlに注入し、沈殿物を濾取・水洗した。この沈殿物をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、トリス[1ー(チアナフテンー2ーイル)イソキノリンーC³,N]イリジウム(III)の赤色粉末0.25g(収率25.2%)を得た。MALDI-TOFMSによりこの化合物のM\*である973.1を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルのλmaxは686nm,量子収率はIr(ppy)=1.0とした際,0.07だった。

化合物No. 1の代わりにこの化合物を用いた以外は実施例1と全く 同様にしてEL素子を作成し、この素子に電圧を印加して深赤色の発光 を確認した。

10

15

<実施例 10> (例示化合物 No. 24 の合成)

100mlの3つロフラスコに2ーチオフェンボロン酸(アルドリッチ社製)2.56g(20.0mmole)、1ークロロイソキノリン3.27g(20.0mmole)、トルエン18ml、エタノール9mlおよび2M一炭酸ナトリウム水溶液18mlを入れ、窒素気流下室温で攪拌しながらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)0.72g(0.62mmole)を加えた。その後、窒素気流下で9時間還流攪拌した。反応終了後、反応物を冷却して冷水およびトルエンを加えて抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥して溶媒を減圧乾固した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(溶離液:クロロホルム)で精製し、ヘキサンーメタノール混合溶媒で再結晶して1ー(2ーチエニル)イソキノリン2.40g(収率56.8%)を得た。

100mlの4つロフラスコにグリセロール50mlを入れ、窒素バブリングしながら130~140℃で2時間加熱攪拌した。グリセロー

ルを100 ℃まで放冷し、 $1-(2-5\pi L)$  イソキノリン1.05 g(4.97 mm o 1 e)、イリジウム(III)アセチルアセトネート0.50 g(1.02 mm o 1 e)を入れ、窒素気流下8 時間還流攪拌した。反応物を室温まで冷却して1 N - 塩酸600 m 1 に注入し、沈殿物を濾取・水洗した。この沈殿物をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトで精製し、トリス $[1-(2-5\pi L)]$  イソキノリン $-C^3$ , N[1] イリジウム(III)の赤色粉末0.38 g(収率45.2%)を得た。MALDI[1] の赤色粉末[1] のかいかいる [1] を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの[1] を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの[1] max は[1] を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの[1] max は[1] を

化合物No. 1の代わりにこの化合物を用いた以外は実施例1と全く同様にしてEL素子を作成し、この素子に電圧を印加して  $\lambda$  maxが 640 nmの赤色発光を確認した。

<実施例11>

15

20

10

200mlの3つロフラスコに4ーメチルフェニルボロン酸(アルドリッチ社製)3.40g(25.0mmole)、1ークロロイソキノリン4.09g(25.0mmole)、トルエン25ml、エタノール12.5mlおよび2Mー炭酸ナトリウム水溶液25mlを入れ、窒素気流下室温で攪拌しながらテトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)0.98g(0.85mmole)を加えた。その後、窒素気流下で8時間還流攪拌した。反応終了後、反応物を冷却して冷水およびトルエンを加えて抽出した。有機層を食塩水で洗浄し、硫酸マグネシウムで乾燥して溶媒を減圧乾固した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー

(溶離液:クロロホルム/メタノール:10/1) で精製し、1-(4-メチルフェニル)イソキノリン 2.80g (収率 51.1%) を得た。この化合 物の重クロロホルム溶液の「H-NMRスペクトルを図9に示す。

200mlの3つロフラスコに塩化イリジウム(III)・3 水和物 (アクロ 5 ス社製) 0.58 g (1.64mmole)、1-(4-メチルフェニル)イソキノリン 1.61g (7.34mmole)、エトキシエタノール 45mlと水 15ml を入れ、 窒素気流下室温で 30 分間攪拌し、その後24 時間還流攪拌した。反応 物を室温まで冷却し、沈殿物を濾取水洗後、エタノールおよびアセトン 10 で順次洗浄した。室温で減圧乾燥し、テトラキス[1-(4-メチルフェ ニル)イソキノリンー $C^2$ , N](μージクロロ)ジイリジウム(III) (例示 化合物 No. 661) の赤色粉末 1.02g (収率 93.4%) を得た。この化合物 の重クロロホルム溶液の 'H-NMR スペクトルを図10に示す。この化合 物のトルエン溶液の発光スペクトルのLmaxは 617nm、量子収率は Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0としたとき 0.46だった。

15

10

 $200 \, \mathrm{m}\, 1\, \mathrm{m}\, 3\, \mathrm{m}\, \mathrm{n}\, \mathrm{$ 

100 m 1 の 3 つロフラスコに 1 ー (4ーメチルフェニル) イソキノリン 0.27 g (1.23 mmole)、ビス[1ー(4ーメチルフェニル) イソキノリンー C², N] (アセチルアセトナト) イリジウム(III) 0.36 g (0.49 mmole) とグリセロール 25 ml を入れ、窒素気流下 180℃付近で 8 時間加熱攪拌した。反応物を室温まで冷却して 1N-塩酸 170 m 1 に注入し、沈殿物を濾取・水洗し、100℃で 5 時間減圧乾燥した。この沈殿物をクロロホルムを溶離液としたシリカゲルカラムクロマトグラフィーで精製し、トリス[1ー(4ーメチルフェニル) イソキノリンーC², N] イリジウム(III) (例示化合物 No.19) の赤色粉末 0.27 g (収率 64.5 %) を得た。MALDI-TOF MS によりこの化合物の M\*である 847.3 を確認した。この化合物の重クロロホルム溶液の <sup>1</sup>HーNMR スペクトルを図1 2 に示す。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルのλmaxは 619 nm, 量子収率は Ir (ppy) 3=1.0 としたとき 0.65 だった。

## 15 < 実施例 1 2>

20

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - n - ヘキシルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

テトラキス[1-(4-n-ヘキシルフェニル)イソキノリンーC², N](μ-ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 667)

15

20

25

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 616 nm

量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.40

ビス[1-(4-n-0+2)ルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 196)

MALDI-TOF MS: M + 868.4

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 625 nm

量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.87

トリス[ $1-(4-n-\alpha+\nu)$ フェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 192)

MALDI-TOF MS: M + 1057.5

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 621 nm 量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率: 0.88

<実施例13>

実施例11 の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-n-オクチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

テトラキス[1-(4-n-オクチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 669)

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 617 nm

量子収率 Ir(ppy)3=1.0 とした際の量子収率: 0.47

ビス[1-(4-n-オクチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 218)

MALDI-TOF MS: M+ 924.4

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 625 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:1.05

この化合物の重クロロホルム溶液の H-NMR スペクトルを図13に示

す。

5

10

20

トリス[1-(4-n-オクチルフェニル)イソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリ ジウム(III) (例示化合物 No. 214)

MALDI-TOF MS: M + 1141.6

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 620 nm

量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.75

## <実施例14>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ーtertーブチルフェニルボロン酸 (アルドリッチ社製) を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

テトラキス[1-(4-tert-ブチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 665)

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 614 nm 量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.39

15 ビス[1-(4-tert-ブチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 174)

MALDI-TOF MS: M + 812.3

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 626 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率: 0.66

トリス[1-(4-tert-ブチルフェニル)イソキノリン-C², N]イリ ジウム(III) (例示化合物 No. 170)

MALDI-TOF MS: M + 973.4

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 618 nm 量子収率 Ir (ppy) =1.0 とした際の量子収率: 0.73

## 25 < 実施例 15>

実施例11 の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに 3-フルオロフ

15

20

**25** .

ェニルボロン酸 (アルドリッチ社製) を用いる以外は実施例 11 と同様にして次の化合物を合成した。

テトラキス[1-(5-フルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu$  - ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 684)

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 625 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.22

ビス[1-(5-フルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 47)

MALDI-TOF MS: M + 736.2

10 トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 629 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.65

トリス[1-(5-フルオロフェニル)イソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム (III) (例示化合物 No. 23)

MALDI-TOF MS: M+ 859.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 626 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.62

## <実施例 16>

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4-フェノキシフェニルボロン酸 (アルドリッチ社製) を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

ビス[1-(4-フェノキシフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 365)

MALDI-TOF MS: M + 884.2

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 608 nm

量子収率 Ir(ppy),=1.0 としたときの量子収率:0.65

トリス[1-(4-フェノキシフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウ

ム(III) (例示化合物 No. 361)

MALDI-TOF MS: M + 1081.3

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 604 nm

量子収率 Ir(ppy) 3=1.0 としたときの量子収率:0.54

5 < 実施例 17>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ーメチルフェニルボロン酸 (アルドリッチ社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

ビス[1-(5-メチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセ 10 トナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 44)

MALDI-TOF MS: M + 728.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 638 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率: 0.78

トリス[1-(5-メチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム (III) (例示化合物 No. 20)

MALDI-TOF MS: M + 847.3

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 631 nm

量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.71

<実施例 18>

15

実施例11の1-(4-メチルフェニル)イソキノリンの代わりに実施例7で合成した1-フェニルイソキノリンを用い、実施例11と同様にテトラキス(1-フェニルイソキノリン-C², N)(μ-ジクロロ)ジイリジウム(III)(例示化合物 No. 660)を経由して次の化合物を合成した。

ビス(1-フェニルイソキノリンーC<sup>2</sup>, N)(アセチルアセトナト)イリ ジウム(III) (例示化合物 No. 42)

MALDI-TOF MS: M+700.2

10

15

25

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 622 nm 量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率: 0.59

#### <実施例19>

実施例 7 のフェニルボロン酸の代わりに 3- ビフェニルボロン酸(フロンティア社製)を用いて  $1-(\text{ビフェニル}-3-4\pi)$ イソキノリンを合成し、実施例 7 と同様にして  $1-(\text{ビフェニル}-3-4\pi)$ イソキノリンとイリジウム (III) アセチルアセトネートからトリス  $[1-(\text{ビフェニ}-1-4\pi)]$  ( $1-(\text{UZ}-1-4\pi)]$  (1-(UZ

実施例 11 のアセチルアセトンの代わりに 3-メチルー2, 4-ペンタンジオン (アルドリッチ社製) を用い、実施例 11 と同様にしてビス[1-(4-メチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N](3-メチルー2, 4-ペンタンジオナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 126) を合成した。 MALDI-TOF MS によりこの化合物のM+である 742.2 を確認した。この 化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの $\lambda$  maxは 627 nm,量子収率は  $Ir(ppy)_3=1.0$  としたとき 0.81 であった。

## 20 < 実施例 21>

実施例 11 のアセチルアセトンの代わりに 2,2,6,6ーテトラメチルー 3,5ーヘプタンジオン (東京化成工業製) を用い、実施例 11 と同様にしてビス[1-(4-メチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N](2,2,6,6ーテトラメチルー3,5ーヘプタンジオナト)イリジウム(III)(例示化合物 No. 127)を合成した。MALDI-TOF MS によりこの化合物のM+である 812.3を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの $\lambda$  m

10

15

20

a x は 624 n m, 量子収率は Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 としたとき 0.76 であった。 <実施例 22>

実施例 11の1-(4-メチルフェニル) イソキノリンの代わりに 2-フェニルピリジンを用い、実施例 11 と同様にテトラキス(2-フェニルピリジンーC², N) (μ-ジクロロ) ジイリジウム (III) を経由してビス (2-フェニルピリジンーC², N) (アセチルアセトナト) イリジウム (III) を合成した。この化合物と実施例 7 で合成した 1-フェニルイソキノリンを実施例 11 と同様に反応させ、ビス (2-フェニルピリジンーC², N) (1-フェニルイソキノリンーC², N) イリジウム (III) (例示化合物 No. 64) を得た。MALDI-TOF MS によりこの化合物のM+である 705.2 を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルのλmaxは 618 nm、量子収率は Ir (ppy) 3=1.0 としたとき 0.43 であった。

## <実施例 23>

実施例 18 で合成したビス(1-7ェニルイソキノリン $-C^2$ , N)(アセチルアセトナト)イリジウム(III)と 2-7ェニルピリジンを実施例 22 と同様に反応させ、ビス(1-7ェニルイソキノリン $-C^2$ , N)(2-7ェニルピリジン $-C^2$ , N)イリジウム(III) (例示化合物 No. 31) を得た。 MALDI-TOF MS によりこの化合物の M\*である 755.2 を確認した。この化合物のトルエン溶液の発光スペクトルの $\lambda$  maxは 617 nm, 量子収率は  $Ir(ppy)_3=1.0$  としたとき 0.46 であった。

## <実施例 24>

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに 4-ブチルフェニルボロン酸(ランカスター社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

25 テトラキス[1-(4-プチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジ$ クロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 664)

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 629 nm 量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.44 ビス[1-(4-ブチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセ トナト)イリジウム(III) (例示化合物 No.163)

5 MALDI-TOF MS: M+812.0

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 626 nm 量子収率 Ir (ppy) =1.0 とした際の量子収率: 0.91

トリス[1-(4-ブチルフェニル)イソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム (III) (例示化合物 No. 159)

 $10 \qquad \qquad \text{MALDI-TOF MS}: M+973.3$ 

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 621 nm 量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率: 0.82

## <実施例25>

15

20

5-アミノイソキノリン(東京化成工業製)を用い、次に示す経路と 収率で1-クロロ-5-フルオロイソキノリンを合成した。

実施例11の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりにフェニルボロン酸を用い、1ークロロイソキノリンの代わりに 1ークロロー5ーフルオロイソキノリン用いて1ーフェニルー5ーフルオロイソキノリン合成し、これを1ー(4ーメチルフェニル)イソキノリンの代りに用いる以外は、実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

テトラキス $(1-フェニルー5-フルオロイソキノリンー<math>C^2$ , N $)(\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)(例示化合物 No. 704)

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 620 nm

- 5

10

15

量子収率  $Ir(ppy)_3=1.0$  とした際の量子収率: 0.38 ビス $(1-フェニル-5-フルオロイソキノリン-C^2$ , N)(アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 240)

MALDI-TOF MS: M + 735.8

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 636 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.70

トリス $(1-フェニルー5-フルオロイソキノリンー<math>C^2$ , N)イリジウム (III) (例示化合物 No. 155)

MALDI-TOF MS: M + 858.9

トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 628 nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.55

<実施例 26>

3-ニトロ-2ーヒドロキシピリジン(アルドリッチ社製)を用い、次に示す経路と収率で 1-クロロ-8ーアザイソキノリンを合成した。 閉環に用いた"Sulfo mix"は J. Org. Chem., 1943, 8, 544-549. に記載の方法で調製した。

$$NO_2$$
  $10\%Pd-C$   $NH_2$   $OH$   $82.1\%$   $NH_2$ 

20% Sulfuric acid, fuming

Nitrobenzene "Sulfo mix"

実施例 7 の 1-クロロイソキノリンの代わりに、上記で得た 1-クロ

20

ロー8-アザイソキノリンを用いて1-フェニルー8-アザイソキノリンを合成し、これを1-(4-メチルフェニル)イソキノリンの代わりに用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成した。

テトラキス $(1-フェニル-8-アザフェニルイソキノリン-<math>C^2$ , N)  $(\mu-ジクロロ)$  ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 755)

トルエン溶液の発光スペクトル:λ m a x 635 nm ビス(1-フェニルー8-アザフェニルイソキノリンーC², N) (アセ チルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 612)

MALDI-TOF MS: M+701.8

10 トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 631 nm トリス(1-フェニル-8-アザフェニルイソキノリン-C², N)イリ ジウム(III) (例示化合物 No. 609)

MALDI-TOF MS: M + 807.9

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 622 nm

## 15 < 実施例 27>

図-1(b)に示す積層構造の EL 素子を作成した。1.1mmの無アルカリガラス基板 1.5 上にパターニング形成された I T O電極 1.4 上に、蒸着圧力  $10^{-4}$ Pa の真空中でホール輸送層 1.3 として $\alpha$ -N P D を蒸着レート 0.1nm/sec で 4.0nm の厚さに真空蒸着し、次に発光層としてC B P 中にトリス (1-7ェニルイソキノリン $-C^2$ , N) イリジウム (III) (例示化合物 No. 1) を 9%の濃度になるように共蒸着して 40mnの厚みで形成した。このとき C B P の蒸着レートは 0.1n m/sec とし、イリジウム 錯体は 0.09n m/sec になるように蒸着ボートの加熱条件を制御した。

続いて電子輸送層として下記構造式で示すバソフェナントロリン25 Bphen を蒸着レート 0.1 n m/sec で 40nm の厚みで形成した。

10

15

20.

その上に電子注入層 1 6 としてフッ化カリウム層を蒸着レート 0.5nm/sec で約 1n m蒸着した後、陰極金属 1 1 としてアルミニウムを 蒸着レート 1n m/sec で 150nm 蒸着した。

この実施例の素子では ①Bphen を用いて電子の供給を増やし、かつホールのリークを抑制 ②電子注入性を KF を用いて改善、さらに ③ 光学的膜厚の最適化、等の効果を期待して作成した。得られた素子の電圧-効率-輝度特性を図5に示す。

本例の素子により、輝度 100cd/m²で 6.21m/W、300cd/m²で 5.21m/W の 効率を実現することに成功した。C I E座標は 40cd/m²のとき (0.68、0.317)、 113cd/m²のとき (0.682、0.315)、980cd/m²のとき (0.678、0.317)、であって、N T S C 対応の色基準に従い、十分満足できる色純度を与えていることがわかった。従って、その発光色は異なる輝度および電圧に於いても不変であった。

トリス(1ーフェニルイソキノリンーC<sup>2</sup>、N)イリジウム(III)の配位子である1ーフェニルイソキノリンは配位子骨格に特に置換基を付加して錯体の発光色調整を行わなくてもNTSC準拠規格の赤発光を得ることができ、赤色発光材料として優れている。また、置換基のない配位子で実現できるため、合成ステップも短縮されるなど実用面から見てもより望ましい発光材料である。

発光輝度  $300 \text{cd/m}^2$  での駆動条件は、印加電圧V=5 volt で電流値は  $J=1.5 \text{mA/cm}^2$ 、 同じく  $14000 \text{cd/m}^2$  では 10 volt、 $520 \text{mA/cm}^2$  であった。このようにして作成したEL素子の外部量子効率を図 6 に示すが、

10

15

20

100cd/m²で 10%を越すなど従来のEL素子の効率を大きく改善できていることが分かる。

## <実施例 28>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ーエチルフェニルボロン酸 (ランカスター社製) を用いる以外は実施例 11 と同様にして容易に、以下の化合物を逐次合成することができる。

テトラキス[1-(4-x チルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-\tilde{\nu}$  クロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 662)

ビス[1-(4-エチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 137)

トリス[1-(4-エチルフェニル)イソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム (III) (例示化合物 No. 135)

#### <実施例 29>

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - プロピルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-プロピルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 663)

ビス[1-(4-プロピルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 148)

トリス[1-(4-プロピルフェニル)イソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 144)

## く実施例 30>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ーイソプロピ 25 ルフェニルボロン酸 (ランカスター社製) を用いる以外は実施例 11 と 同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

 $\forall X [1-(4-4)]$   $\forall Y = (4-4)$   $\forall$ 

5 トリス[1-(4-イソプロピルフェニル)イソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 146)

#### <実施例31>

10

20

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - n - ペンチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-n-ペンチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 666)

ビス[1-(4-n-ペンチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 185)

15 トリス[1-(4-n-ペンチルフェニル)イソキノリン-C², N]イリ ジウム(III) (例示化合物 No. 181)

#### <実施例 32>

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - n - ヘプチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-n- へ プチルフェニル) イソキノリン- C², N]( $\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 668)$ 

ビス[1-(4-n-ヘプチルフェニル)イソキノリン-C², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 207)

5 トリス[1-(4-n-ヘプチルフェニル)イソキノリン-5 N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 203)

15

## <実施例 33>

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-フルオロフェニルボロン酸 (アルドリッチ社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして次の化合物を合成した。

5 テトラキス[1-(4-7)ルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-5$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 683)

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 602 nm 量子収率 Ir(ppy),=1.0 とした際の量子収率: 0.43

ビス[1-(4-7)] (アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 46)

MALDI-TOF MS: M+ 737.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 603 nm

量子収率 Ir(ppy)3=1.0 とした際の量子収率:0.95

トリス[1-(4-フルオロフェニル)イソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 22)

MALDI-TOF MS: M + 859.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λ m a x 596 nm 量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率: 0.92

### <実施例 34>

20 実施例11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ーフルオロー 3ーメチルフェニルボロン酸(アルドリッチ社製)を用いる以外は実施 例11と同様にして次の化合物を合成した。

> テトラキス[1-(4-フルオロー5-メチルフェニル)イソキノリン -C<sup>2</sup>、N](μ-ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 738)

25 トルエン溶液の発光スペクトル:λmax 618 nm ビス[1-(4-フルオロー5-メチルフェニル)イソキノリンーC²,

15

20

25

N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 222)

MALDI-TOF MS: M + 765.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 615 nm

トリス[1-(4-7)]ルオロー[1-(4-7)]ルフェニル[1-(4-7)]ルフェニル[1-(4-7)]

N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 226)

MALDI-TOF MS: M + 901.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 616 nm

### <実施例35>

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - トリフルオ ロメチルフェニルボロン酸(ランカスター社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして次の化合物を合成した。

テトラキス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)

MALDI-TOF MS: M + 765.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 614 nm

 $\forall X [1-(4-h)]$  アセチルフェニル) イソキノリンー $\mathbb{C}^2$ , N] (アセチルアセトナト) イリジウム(III)

MALDI-TOF MS: M + 836.1

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 623nm

量子収率 Ir(ppy)<sub>3</sub>=1.0 とした際の量子収率:0.23

トリス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル)イソキノリンーC², N]イリジウム(III) (例示化合物 No.11)

MALDI-TOF MS: M+ 1009.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 608 nm

量子収率 Ir(ppy)=1.0 とした際の量子収率:0.48

<実施例 36>

15

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ートリフルオロメチルフェニルボロン酸 (ランカスター社製) を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(5-トリフルオロメチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III)

 $\forall z [1-(5-1)]$  (z-1) (z-

トリス[1-(5-トリフルオロメチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N] イリジウム(III) (例示化合物 No. 12)

10 < 実施例 37>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3,5 ージフルオロー3 ーメチルフェニルボロン酸(アルドリッチ社製)を用いる以外は 実施例 11 と同様にして次の化合物を合成した。

テトラキス[1-(3,5-ジフルオロ-3-メチルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 686)

トルエン溶液の発光スペクトル: $\lambda$  m a x 618 nm ビス[1-(3,5-ジフルオロー3-メチルフェニル)イソキノリンー $C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 425)

MALDI-TOF MS: M+ 765.2

20 トルエン溶液の発光スペクトル:λ m a x 615 nm トリス[1-(3,5-ジフルオロ-3-メチルフェニル)イソキノリン-C²、N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 421)

MALDI-TOF MS: M+ 901.2

トルエン溶液の発光スペクトル: λmax 616 nm

25 < 実施例 38>

実施例11 の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに2, 3-ジフル

オロフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化 合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(5, 6-ジフルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III)

5 ビス[1-(5,6-ジフルオロフェニル)イソキノリン-C²,N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 501)

トリス[1-(5, 6-ジフルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 497)

## <実施例 39>

15

20

25

10 実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 2, 3 - ジフル オロー 4 - n - ブチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同 様にして容易に、以下の化合物を合成することができる。

テトラキス[1-(4-n-)]チルー5, 6-ジフルオロフェニル)イソキノリンー $C^2$ ,  $N](\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 698)

ビス[1-(4-n-ブチルー5, 6-ジフルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 534)

トリス[1-(4-n-ブチルー5, 6-ジフルオロフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 530)

## <実施例 40>

実施例7の1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロ-5-トリフルオロメチルイソキノリンを用いて実施例7と同様にして1-フェニル-5-トリフルオロメチルイソキノリンを合成し、これを用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

10

15

.25

テトラキス[1-フェニルー5-トリフルオロメチルイソキノリンー $C^2$ . N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 706)

 $\forall Z [1-7x-1-5-1]$   $\forall Z [1-7x-1]$   トリス[1-フェニル-5-トリフルオロメチルイソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 83)

## <実施例 41>

実施例 7 の1 ークロロイソキノリンの代わりに1 ークロロー4ートリフルオロメチルイソキノリンを用いて実施例 7 と同様にして1 ーフェニルー4ートリフルオロメチルイソキノリンを合成し、これを用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-フェニルー4-トリフルオロメチルイソキノリンー $C^2$ 、N] ( $\mu-$ ジクロロ) ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 707)

トリス[1-フェニルー4-トリフルオロメチルイソキノリンーC<sup>2</sup>, N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 82)

#### <実施例 42>

20 実施例 7 の1 ークロロイソキノリンの代わりに1 ークロロー4ーフルオロメチルイソキノリンを用いて実施例 7 と同様にして1 ーフェニルー4ーフルオロメチルイソキノリンを合成し、これを用いる以外は実施例11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-フェニルー4-フルオロイソキノリン-C², N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 705)

ビス[1-フェニルー4-フルオロイソキノリン-C2, N](アセチルア

セトナト)イリジウム(III)

トリス[ $1-フェニルー4-フルオロイソキノリン-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 81)

<実施例 43>

5 実施例11の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに3,5ージフルオロフェニルボロン酸、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー5ーフルオロイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[ $1-(3,5-ジフルオロフェニル)-5-フルオロイソキノリン-<math>C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III)

 $\forall X [1-(3,5-i)]$  (アセチルアセトナト) イリジウム(III)

トリス[1-(3,5-i)]フルオロフェニル)-5-iフルオロイソキノリン $-C^2$ , N[1]イリジウム(III) (例示化合物 No. 232)

15 < 実施例 44>

10

25

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 4 - フルオロフェニルボロン酸、 1 - クロロイソキノリンの代わりに 1 - クロロー 4 - フルオロイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

extstyle ex

トリス[1-(4-フルオロフェニル)-4-フルオロイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 230)

<実施例 45>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ーフルオロフェニルボロン酸、 1 ークロロイソキノリンの代わりに 1 ークロロー 5 ーフルオロイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

5 テトラキス[1-(4-7)ルオロフェニル) -5-7ルオロイソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu$ -ジクロロ)ジイリジウム(III)

 $\forall x[1-(4-7) + (1-7)$ 

トリス[1-(4-フルオロフェニル)-5-フルオロイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 228)

## <実施例 46>

10

15

20

25

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ートリフルオロメチルフェニルボロン酸、 1 ークロロイソキノリンの代わりに 1 ークロロー4 ーフルオロイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル)-4-フルオロイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)

 $\forall x [1-(4-h)]$  フルオロメチルフェニル) -4- フルオロイソキノリン $-C^2$ , N] (アセチルアセトナト) イリジウム(III)

トリス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル) -4-フルオロイ ソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 256) <実施例 47>

実施例11の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ーフルオロフェニルボロン酸、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー4ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $[1-(4-フルオロフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン-<math>C^2$ , N $](\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III)$ 

 $\forall X = (1 - (4 - 7) + 7) + (4 - 7)$ 

トリス[1-(4-7)ルオロフェニル) -4-トリフルオロメチルイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 231)

### <実施例 48>

10

15

20

25

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-フルオロフェニルボロン酸、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロ-5-トリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $[1-(4-フルオロフェニル)-5-トリフルオロメチルイソキノリン-<math>C^2$ , N $](\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III)$ 

 $\forall X[1-(4-7) + 1] = (4-7) + 1$  ((4-7) + 1) (7+7) + 1 ((4-7) + 1) (7+7) + 1 ((4-7) + 1) (7+7) + 1 ((4-7) + 1) (7+7) + 1 ((4-7) + 1) (7+7) + 1

トリス[1-(4-フルオロフェニル)-5-トリフルオロメチルイ ソキノリン-C²,N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 229)

#### <実施例 49>

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-トリフルオロメチルフェニルボロン酸、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロー4-トリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[ $1-(4-トリフルオロメチルフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン-<math>C^2$ , N]( $\mu$ -ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 691)

ビス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル)-4-トリフルオロ

メチルイソキノリン-C², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III)

トリス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル) -4-トリフルオロメチルイソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 260) <実施例 50>

5 実施例 11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ートリフルオロメチルフェニルボロン酸、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー5ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-h)]フルオロメチルフェニル)-5-hリフルオロメチルイソキノリン $-C^2$ ,  $N](\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III) ビス<math>[1-(4-h)]$ フルオロメチルフェニル)-5-hリフルオロメチルイソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III)

トリス[1-(4-トリフルオロメチルフェニル)-5-トリフルオロメチルイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 255)

# 15 <実施例 51>

10

20

25

実施例 11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりにランカスター社製3,4,5,-トリフルオロフェニルボロン酸、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー4ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(3,4,5,-トリフルオロフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]( $\mu$ -ジクロロ)ジイリジウム(III)

ビス[1-(3,4,5,-1)] アセチルアセトナト) イリジウム (III)

トリス[1-(3,4,5,-トリフルオロフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 253)

### <実施例 52>

- 実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりにランカスター社製3,4,5,-トリフルオロフェニルボロン酸、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロー5-トリフルオロメチルイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。
- $\vec{c}$   $\forall X [1-(3, 4, 5, -1)] = (3, 4, 5, -1) = (3, 4, 5, -1) = (3, 4, 5, -1) = (3, 4, 5, -1) = (4, 5, -1) =$

トリス[1-(3,4,5,-トリフルオロフェニル)-5-トリフルオロメチルイソキノリン-C², N]イリジウム(III)(例示化合物 No.250)

# <実施例 53>

- 20 実施例 11 の 4 メチルフェニルボロン酸の代わりに 3, 4, 5, 6 テトラフルオロフェニルボロン酸、1 クロロイソキノリンの代わりに 1 クロロー 4 トリフルオロメチルイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。
- 25 テトラキス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-4 ートリフルオロメチルイソキノリン $-C^2$ ,  $N](\mu-$ ジクロロ)ジイリジウ

## ム(III)

ビス[1-(3,4,5,6-F) アルオロフェニル) -4- トリフルオロメチルイソキノリン-  $C^2$ , N] (アセチルアセトナト) イリジウム (III)

5 トリス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-4-ト リフルオロメチルイソキノリン-C²,N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 268)

## <実施例 54>

15

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 3, 4, 5, 6

10 -テトラフルオロフェニルボロン酸、 1 - クロロイソキノリンの代わり
に 1 - クロロー 5 - トリフルオロメチルイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-5 -トリフルオロメチルイソキノリン-C²,N](μ-ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 690)

ビス $[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-5-トリフルオロメチルイソキノリン-<math>C^2$ , N](アセチルアセトナト)イリジウム(III)

20 トリス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-5-ト リフルオロメチルイソキノリン-C²,N]イリジウム(III) (例示化合物 No.272)

## <実施例 55>

文献 J. Chem. Soc. C, 1966, 2328-2331. 、 J. Chem. Soc. C, 1971, 61-67. 、

J. Org. Chem., 1971, 29, 329-332. および Org. Syn., 1960, 40, 7-10. の

方法に従って次に示す経路で、容易に1-クロロー3, 4, 5, 6, 7,

10

15

20

8-ヘキサフルオロイソキノリンを合成する。

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3, 4, 5, 6 ーテトラフルオロフェニルボロン酸を用い、1 ークロロイソキノリンの代わりに 1 ークロロー 3, 4, 5, 6, 7, 8, ーヘキサフルオロイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-3,4,5,6,7,8,-ペンタフルオロイソキノリン-<math>C^2$ ,N $](\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III)(例示化合物 No. 709)$ 

ビス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-3,4,5,6,7,8,-ペンタフルオロイソキノリン $-C^2$ ,N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) (例示化合物 No. 457)

トリス[1-(3,4,5,6-テトラフルオロフェニル)-3,4, 5,6,7,8,-ペンタフルオロイソキノリン-C²,N]イリジウム (III) (例示化合物 No. 454)

## <実施例 56>

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに3-イソプロピルフェニルボロン酸(ランカスター社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

 $\forall x [1-(5-4) \neg C^2, N] (T \neg C^2, N)$ 

5 トリス[1-(5-イソプロピルフェニル) イソキノリンーC², N]イ リジウム(III) (例示化合物 No. 315)

## <実施例 57>

10

20

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ーブチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(5-ブチルフェニル) イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 725)

 $\forall x [1-(5-7 + \nu T)]$   $\forall x \in \mathbb{C}^2$ ,  $\forall x$ 

15 トリス[1-(5-ブチルフェニル) イソキノリンーC², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 316)

# <実施例 58>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ーオクチルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(5-オクチルフェニル) イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu$ -ジクロロ)ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 730)

 $\forall x = (5 - x) + (5 - x) + (3 - x)$ 

25 トリス[1-(5-オクチルフェニル) イソキノリン-C², N]イリジ ウム(III) (例示化合物 No. 321)

## <実施例 59>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ーメトキシフェニルボロン酸(ランカスター社製)を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

5 テトラキス[1 - (5 - メトキシフェニル) イソキノリン -  $C^2$ , N]( $\mu$  - ジクロロ) ジイリジウム(III)

 $\forall X = [1 - (5 - X) + (1 + 2) + (1 + 2) + (2 + 2) + (3 + 2) + (3 + 2) + (4$ 

トリス[1-(5-メトキシフェニル) イソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 375)

## <実施例 60>

10

20

25

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 3 ーヘプチルオキシフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

15 テトラキス[ $1-(5-\alpha プチルオキシフェニル)$  イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III)

 $\forall X [1-(5-\alpha )^2 + N] (Y+y) = C^2, N] (Y+y) = C^2, N] (Y+y) = V(Y+y) + V(Y+y) = V(Y+y) + V(Y+y) + V(Y+y) = V(Y+y) + V($ 

トリス[ $1-(5-\alpha プチルオキシフェニル)$  イソキノリン $-C^2$ , N] イリジウム(III) (例示化合物 No. 398)

#### <実施例 61>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ートリフルオロメトキシフェニルボロン酸 (アルドリッチ社製)、1 ークロロイソキノリンの代わりに 1 ークロロー 4 ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

15

20

25

テトラキス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル) -4-トリ フルオロメチルイソキノリンーC², N](μージクロロ)ジイリジウム (III)

ビス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル)-4-トリフルオ ロメチルイソキノリンーC<sup>2</sup>, N](アセチルアセトナト)イリジウム(III) トリス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル) -4-トリフル オロメチルイソキノリンーC², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 411)

## <実施例 62>

(III)

実施例11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ートリフルオ 10 ロメトキシフェニルボロン酸、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロー5ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は 実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。 テトラキス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル) -5-トリ フルオロメチルイソキノリンーC², N](μージクロロ)ジイリジウム

> ビス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル)-5-トリフルオ ロメチルイソキノリンーC², N](アセチルアセトナト)イリジウム(III)

トリス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル) -5-トリフル オロメチルイソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 410)

## <実施例 63>

実施例11 の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-トリフルオ ロメトキシフェニルボロン酸を用い、1-クロロイソキノリンの代わり に1-クロロー4-フルオロイソキノリンを、それぞれ用いる以外は実 施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

10

15

テトラキス $[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル)-4-フルオロイソキノリン-<math>C^2$ ,  $N](\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III)$ 

 $\forall X = (1 - (4 - 1))$  ボーストキシフェニル) -4 - 1 ボースロイソキノリン  $-C^2$ , N (T + T) (アセチルアセトナト) イリジウム (T + T) (III)

トリス[1-(4-トリフルオロメトキシフェニル) -4-フルオロイソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 409)
<実施例 64>

実施例 29 の 1-(4-プロピルフェニル) イソキノリンを用い、実施例 11 と同様にテトラキス [1-(4-プロピルフェニル) イソキノリン $-C^2$ ,  $N](\mu-ジクロロ)$  ジイリジウム (III) を経由してビス [1-(4-プロピルフェニル) イソキノリン $-C^2$ , N](アセチルアセトナト) イリジウム (III) を合成する。この化合物と実施例 7 の 1-フェニルイソキノリンを実施例 <math>11 と同様に反応させて、ビス [1-(4-プロピルフェニル) イソキノリン $-C^2$ ,  $N](1-フェニルイソキノリン<math>-C^2$ , N) イリジウム (III) (例示化合物 No. 283) を合成することが容易である。

#### <実施例 65>

実施例 11 の 1 ー (4ーメチルフェニル) イソキノリンの代わりに 1 ーフェニルイソキノリンを用い、実施例 11 と同様にテトラキス (1ーフェニルイソキノリンー C², N) (μージクロロ) ジイリジウム (III) を経由してビス (1ーフェニルイソキノリンー C², N) (アセチルアセトナト) イリジウム (III) を合成する。この化合物と実施例 29 の 1 ー (4ープロピルフェニル) イソキノリンを実施例 11 と同様に反応させて、ビス (1ーフェニルイソキノリンー C², N] イリジウム (III) (例示化合物 No. 299) を合成することが容易である。

<実施例 66>

10

15

20

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに1-(4-ヘキシルフェニル) イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス [1-(4-ヘキシルフェニル) イソキノリン-C², N] (1-フェニルイソキノリン-C², N)イリジウム(III) (例示化合物 No. 287) <実施例 67>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに 1-フェニルイソキノリンを用い、1-フェニルイソキノリンの代わりに 1- (4-ヘキシルフェニル) イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス(1-7x=ルイソキノリン $-C^2$ , N) [1-(4-ヘキシルフェニル) イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 303) <実施例 68>

実施例 22 の 2ーフェニルピリジンの代わりに 1 - (4 - オクチルフェニル) イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

実施例 22 の 2ーフェニルピリジンの代わりに 1 ーフェニルイソキノリンを用い、1ーフェニルイソキノリンの代わりに 1 ー (4ーオクチルフェニル) イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス(1-フェニルイソキノリン-C², N) [1-(4-オクチルフェ 25 ニル) イソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 305) <実施例 70>

10

15

#### 活性化銅粉の調製法

硫酸銅 400 g (2.5 mole)を熱水 2500ml に溶解させ、室温に冷却した後に同じ温度で亜鉛末 219g(3.35 mole)を加える。デカンテーションで水洗した後、5%塩酸を水素ガスが発生しなくなるまで加えて亜鉛を溶かす。銅粉を濾取し、水洗後メタノール洗浄し、乾燥して 149 g の活性銅粉を得る。

この活性化銅粉を用いて次に示す経路で 4ーパーフルオロヘキシルフェニルボロン酸を合成することが容易である。

activ.Cu powder

実施例11の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ーパーフルオロヘキシルフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジクロロ$ )ジイリジウム(III) (例示化合物 No. 715)

トリス[1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル)イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 475)

#### 20 < 実施例 71>

実施例11の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりに4ーパーフルオロヘキシルフェニルボロン酸を、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー4ーフルオロイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

10

15

20

テトラキス[ $1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル)-4-フルオロイソキノリン-<math>C^2$ , N]( $\mu$ -ジクロロ)ジイリジウム(III)

トリス[1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル)-4-フルオロイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 478)< 実施例 <math>72>

実施例 11 の 4 ーメチルフェニルボロン酸の代わりに 4 ーパーフルオロヘキシルフェニルボロン酸を用い、 1 ークロロイソキノリンの代わりに 1 ークロロー 4 ートリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[1-(4-)"ーフルオロヘキシルフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン-C<sup>2</sup>, N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)

トリス[1-(4-)パーフルオロヘキシルフェニル)-4-トリフルオロメチルイソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III)(例示化合物 No. 477)

実施例 11 の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-パーフルオロヘキシルフェニルボロン酸を、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロ-5-トリフルオロメチルイソキノリンをそれぞれ用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

25 テトラキス[ $1-(4-)^2-)^2$  アトラキス[ $1-(4-)^2-)^2$  アトラキス[ $1-(4-)^2-)^2$  N]( $\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)

 $\forall X = [1 - (4 - N^2 - N^2)]$  (アセチルフェニル)  $-5 - N = [1 - N^2]$  (III)

トリス[1-(4-)パーフルオロヘキシルフェニル)-5-トリフルオロメチルイソキノリン-C², N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 476)

5 < 実施例 74>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに 1-(4-パーフルオロ ヘキシルフェニル)-4-フルオロイソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス[1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル) -4-フルオロイ 10 ソキノリン-C², N] (1-フェニルイソキノリン-C², N)イリジウム (III) (例示化合物 No. 479)

#### <実施例 75>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに 1-フェニルイソキノリンを、1-フェニルイソキノリンの代わりに 1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル) イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス $(1-フェニルイソキノリン-C^2$ , N) $[1-(4-パーフルオロヘキシルフェニル) イソキノリン-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 480)

#### 20 < 実施例 76>

15

次に示す経路で4-(1H,1H,2H,2H-パーフルオロペンチルオキシ)フェニルボロン酸を合成することが容易である。

10

15

$$C_3F_7CH_2CH_2OH$$
  $C_3F_7CH_2CH_2OSO_2$   $HO$   $Br$ 

$$C_3F_7H_2CH_2CO \longrightarrow Br \xrightarrow{1) \text{ n-BuLi}} \xrightarrow{3) \text{ H+}} C_3F_7H_2CH_2CO \longrightarrow B(OH)_2$$

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-(1H,1H,2H,2H-パーフルオロペンチルオキシ)フェニルボロン酸を用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $\{1-[4-(1H,1H,2H,2H-パーフルオロペンチルオキシ) フェニル]イソキノリン-<math>C^2$ ,  $N\}$  ( $\mu$ -ジクロロ) ジイリジウム(III) ビス $\{1-[4-(1H,1H,2H-パーフルオロペンチルオキシ) フェニル]イソキノリン-<math>C^2$ ,  $N\}$  (アセチルアセトナト) イリジウム(III)

トリス $\{1-[4-(1H,1H,2H,2H-パーフルオロペンチルオキシ)$ フェニル]イソキノリン $-C^2$ , N $\}$ イリジウム(III) (例示化合物 No. 469)

#### <実施例 77>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに 1-[4-(1H, 1H, 2H, 2H-パーフルオロペンチルオキシ)フェニル]イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス  $\{1-[4-(1H, 1H, 2H, 2H-パーフルオロペンチルオキシ)$ フェニル] イソキノリン- $C^2$ ,  $N\}$   $(1-フェニルイソキノリン-<math>C^2$ , N) イリジウム (III) (例示化合物 No. 470)

#### 20 < 実施例 78>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに1-フェニルイソキノ

リンを用い、1-フェニルイソキノリンの代わりに1-[4-(1H,1H,2H,2H-パーフルオロペンチルオキシ)フェニル]イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス(1-フェニルイソキノリン-C², N){1-[4-(1H, 1H, 2H, 2H-パーフルオロペンチルオキシ)フェニル]イソキノリン-C², N}イリジウム(III)(例示化合物 No. 471)

#### <実施例 79>

15

次に示す経路で4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ)フェ 10 ニルボロン酸を合成することが容易である。

実施例11の4-メチルフェニルボロン酸の代わりに4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ)フェニルボロン酸を用いる以外は実施例11と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $\{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニル]イソキノリン-<math>C^2$ , N $\}$ (μ-ジクロロ)ジイリジウム(III)

トリス{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニル]イソキノリン-C², N}イリジウム(III) (例示化合物 No. 481) <実施例 80>

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに1-[4- (1H,1H-

パーフルオロヘプチルオキシ)フェニル]イソキノリンを用いる以外は 実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス $\{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニルイソキノリン]-C^2, N<math>\}$   $(1-フェニルイソキノリン-C^2, N)$  イリジウム $\{III\}$  (例示化合物 No. 483)

#### <実施例81>

10

20

実施例 22 の 2-フェニルピリジンの代わりに1-フェニルイソキノリンを用い、1-フェニルイソキノリンの代わりに1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ)フェニル]イソキノリンを用いる以外は実施例 22 と同様にして次の化合物を合成することが容易である。

ビス $(1-フェニルイソキノリン-C^2$ , N) $\{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニル]イソキノリン-C^2$ , N) $\{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニル]イソキノリン-C^2, N)<math>\{1-[4-(1H,1H-パーフルオロヘプチルオキシ) フェニル]$ 

#### <実施例82>

15 実施例 11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりにフェニルボロン酸を、1ークロロイソキノリンの代わりに1ークロロー4ーヘキシルイソキノリンを用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス $(1-フェニルー4-ヘキシルイソキノリンーC^2, N)(\mu-$ ジクロロ)ジイリジウム(III)

 $\forall Z$   $(1-フェニルー4-ヘキシルイソキノリンー<math>C^2$ , N) (アセチルアセトナト) イリジウム(III)

トリス(1-フェニルー4-ヘキシルイソキノリンーC<sup>2</sup>, N)イリジウム(III) (例示化合物 No. 156)

#### 25 <実施例 83>

実施例11 の4ーメチルフェニルボロン酸の代わりにフェニルボロン

酸を用い、1-クロロイソキノリンの代わりに1-クロロ-5-オクチルイソキノリンを用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を 逐次合成することが容易である。

テトラキス( $1-フェニル -5-オクチルイソキノリン-C<sup>2</sup>, N) <math>(\mu-ジクロロ)$ ジイリジウム(III)

 $\forall X (1-7x=\mu-5-x)$  ボス  $(1-7x=\mu-5-x)$   $(1-7x=\mu-$ 

トリス(1-フェニルー5-オクチルイソキノリンーC<sup>2</sup>, N)イリジウム(III) (例示化合物 No. 220)

#### 10 < 実施例 84>

5

15

実施例 11 の 4 - メチルフェニルボロン酸の代わりに 3 - ヘプチルオキシフェニルボロン酸を用いる以外は実施例 11 と同様にして以下の化合物を逐次合成することが容易である。

テトラキス[ $1-(5-\alpha プチルオキシフェニル)$ イソキノリン $-C^2$ , N]( $\mu-ジ$ クロロ)ジイリジウム(III)

トリス[ $1-(5-\alpha プチルオキシフェニル)$ イソキノリン $-C^2$ , N]イリジウム(III) (例示化合物 No. 270)

#### 20 < 実施例 85>

2,6-ジヒドロキシ-4-メチル-3-ピリジンカルボニトリル(アルドリッチ社製、カタログ 37,947-6)を用いて米国特許 4,859,671 号明細書に記載された次に示す経路で1-クロロ-7-アザイソキノリンを合成することが容易である。

15

$$\frac{(CH_3)_2NCH(OCH_3)_2}{\text{in dry DMF}} \underbrace{\begin{array}{c} CH=CHN(CH_3)_2\\ N \end{array}}_{\text{in } CH_3COOH} \underbrace{\begin{array}{c} N\\ 30\%HBr\\ N \end{array}}_{\text{OH}} \underbrace{\begin{array}{c} N\\ POCl_3\\ N \end{array}}_{\text{OH}} \underbrace{\begin{array}{c} N\\ POCl_3\\ N \end{array}}_{\text{OH}}$$

#### <実施例 86>

10 3-メチルーピコリノニトリル(アルドリッチ社製、カタログ 51,273 -7)を用いて米国特許 4,176,183 号明細書に記載された次に示す経路で 1-ヒドロキシー5-アザイソキノリンを合成し、実施例 85 と同様にして1-クロロー5-アザイソキノリンを合成することが容易である。

実施例 7 の 1-クロロイソキノリンの代わりに 1-クロロ-5-アザイ ソキノリンを用いて 1 - フェニル-5-アザイソキノリンを合成し、実

施例 11 と同様にしてテトラキス(1-フェニル-5-アザフェニルイソキノリン $-C^2$ , N $)(\mu-ジクロロ)ジイリジウム(III)$  (例示化合物 No. 763)、ビス $(1-フェニル-7-アザフェニルイソキノリン-C^2$ , N) (アセチルアセトナト)イリジウム(III)を順次合成し、トリス $(1-フェニル-5-アザフェニルイソキノリン-C^2$ , N)イリジウム(III) (例示化合物 No. 640) を得ることが容易である。

#### < 実施例 87~95>

実施例1と同様の構成で素子を作成し、これら素子の評価を行った。 素子構成、膜厚および評価結果を表 25 に示す。

10 表 2 5

	素子構成			電流 輝度		電流効率		パワー効率		
実施例No	ホ-ル輸送層	<b>発光層</b>	励起子拡 散防止層		mA/cm2	cd/m2	cd	/A	lm.	~W
- 100 F. I										
	α NPD	CBP:例示化合物No.413(7%)	BCP	Alq 3	10V印加時	10V印加時	100cd/m2	300cd/m2	100cd/m2	300cd/m2
87	40nm	40nm	10nm	20nm	114	800	1	0,86	0.4	0.3
88	α NPD	CBP:例示化合物No.432(7%)	BCP	Alg 3	10V	10V	100cd	300cd	100cd	300cd
	. 40	40	10	20	26	1248	5.9	5.5	2.8	2.1
89	α NPD	CBP:例示化合物No.408(5%)	BCP	Alq 3	10V	10V	100cd	300cd	100cd	300cd
	40	40	10	60	9	480	6.6	5.6	2.4	1.8
90	α NPD	CBP:例示化合物No.433(5%)	BCP	Ala 3	10V	10V	100cd	300cd	100cd	300cd
	40	40	10	60	12	700	6.69	6.4	2.93	2.32
	α NPD	CBP:例示化合物No.433(7%)	BCP	Alq 3	11	0V	100cd	300cd	100cd	300cd
. 91	40	40	10	60	12.2	876	8.6	7.8	3.82	2.9
	αNPD	CBP:例示化合物No.433(9%)	ВСР	Alq 3	II 10	0V	100cd	300cd	100cd	300cd
92	40	40	10	60	18	1180	7.5	7.2	3.86	2.9
	α NPD	CBP: 例示化合物No.517(7%)	BCP	Alg 3	1	0V	100cd	300cd	100cd	300cd
93	40	40	10	60	3.3	185	5.75	5.42	1.95	1.54
	Laung	000 M= 1 A H-1 F16/30()	Balo	Alg 3	11	0V	100cd	300cd	100cd	300cd
94	α NPD 40	CBP: 例示化合物No.516(7%) 40	10	60	12.5	611	5.85	5.25	2.42	1.80
					,					
95	α NPD	CBP:Ir例示化合物No.412(7%)	Balq 10	Alq 3 60	15	0∨ 1 778	100cd 5.3	300cd	100cd 2.2	300cd
	40	40	10	60	<u>  15                                   </u>	1/8	5.3	5.4	2.2	1.3

上記実施例 94 および 95 で励起拡散防止層に用いた化合物 Balq の構造を次に示す。

#### [産業上の利用可能性]

以上、説明したように、前記一般式(1)の部分構造を有し、特に式(3)で示される金属配位化合物を、発光中心材料に用いた本発明の発光素子は、高効率発光のみならず、長い期間高輝度を保ち、長波長化が可能な、優れた素子である。また、本発明の発光素子は赤色表示素子として優れた適性を示す。

15

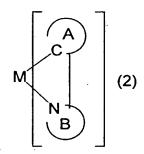
20

#### 請求の範囲

1. 下記一般式(1)で示される部分構造を少なくとも1つ有することを特徴とする金属配位化合物。

5 ML (1)

[ここで部分構造ML は下式一般式(2)で表され、



式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、NとCは、窒素および炭素原子であり、Aは該炭素原子を含み且つ該炭素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり、Bは該窒素原子を含み且つ該窒素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよいイソキノリル基(該イソキノリル基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)であり、前記環状基Aは前記イソキノリル基の1-位の炭素原子に共有結合している。

これら環状基の置換基は、ハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、ジ置換アミノ基{該置換基はそれぞれ独立して置換基を有していてもよいフェニル基、ナフチル基(該置換基はハロゲン原子、メチル基またはトリフルオロメチル基である。)または炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキル基であり、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。}、トリアルキルシリル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキル基

である。)、または炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキ ル基{該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基 は-O-、-S-、-CO-、-CO-O-、-O-CO-、-CH= CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1 つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい2価の芳 5 香環基(該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、トリアルキル シリル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原子数1から8の直鎖 状または分岐状のアルキル基である。)、炭素原子数1から20の直鎖状 または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない 2つ以上のメチレン基は-0-、-S-、-CO-、-CO-O-、-10 O-CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、 該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を 示す。) で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフ ッ素原子に置換されていてもよい。}から選ばれる。また、隣接する置 換基は結合して環構造を形成してもよい。 15

2. 下記一般式(3)で示されることを特徴とする請求項1に記載の 金属配位化合物。

 $M\Gamma^{m}\Gamma^{n}$  (3)

[式中MはIr, Pt, RhまたはPdの金属原子であり、Lおよび
 20 L'は互いに異なる二座配位子を示す。mは1または2または3であり、nは0または1または2である。ただし、m+nは2または3である。
 部分構造ML'。は下記一般式(4)または(5)または(6)で示される。

10

15

20

$$\begin{bmatrix}
A' \\
C \\
N \\
B'
\end{bmatrix}$$
(4)
$$\begin{bmatrix}
A' \\
O \\
O \\
G
\end{bmatrix}$$
(5)
$$\begin{bmatrix}
M \\
N \\
B''
\end{bmatrix}$$
(6)

NとCは、窒素および炭素原子であり、A'は該炭素原子を含み且つ該炭素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり、B'およびB'はそれぞれ該窒素原子を含み且つ該窒素原子を介して金属原子Mに結合した置換基を有していてもよい環状基であり、前記環状基A'と環状基B'は共有結合によって結合している。

これら環状基の置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、ジ置換 アミノ基 {該置換基はそれぞれ独立して置換基を有していてもよいフェ ニル基、ナフチル基(該置換基はハロゲン原子、メチル基またはトリフ ルオロメチル基である。)、または炭素原子数1から8の直鎖状または 分岐状のアルキル基であり、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に 置換されていてもよい。}、トリアルキルシリル基(該アルキル基はそ れぞれ独立して、炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキル 基である。)、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基 {該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一 O-, -S-, -CO-, -CO-O-, -O-CO-, -CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1つも しくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい2価の芳香環 基(該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、トリアルキルシリ ル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原子数1から8の直鎖状ま たは分岐状のアルキル基である。)、炭素原子数1から20の直鎖状また は分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ

10

15

20

25

以上のメチレン基は一〇一、一S一、一C〇一、一C〇一〇一、一〇一 C〇一、一CH=CHー、一C≡C一で置き換えられていてもよく、該 アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示 す。)で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ 素原子に置換されていてもよい。}から選ばれる。また、隣接する置換 基は結合して環構造を形成してもよい。

E. Gおよび J はそれぞれ独立して炭素原子数1から20の直鎖状ま たは分岐状のアルキル基{該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2 つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一C〇一、一C〇一〇一、一〇 -CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換えられていてもよく、 該アルキル基中の1つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有して いてもよい2価の芳香環基(該置換基はハロゲン原子、シアノ基、ニト ロ基、トリアルキルシリル基(該アルキル基はそれぞれ独立して炭素原 子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキル基である。)、炭素原子数 1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つ もしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は-O-、-S-、-CO-、 -CO-O-、-O-CO-、-CH=CH-、-C≡C-で置き換え られていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換され ていてもよい。)を示す。また、隣接する置換基は結合して環構造を形 成してもよい。) で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素 原子はフッ素原子に置換されていてもよい。}またはジ置換アミノ基{該 置換基はそれぞれ独立して置換基を有していてもよいフェニル基、ナフ チル基(該置換基はハロゲン原子、メチル基またはトリフルオロメチル 基である。)または炭素原子数1から8の直鎖状または分岐状のアルキ ル基であり、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていて もよい。}を示す。また、Jは水素原子であってもよい。]

3. 下記一般式(7)で示されることを特徴とする請求項1に記載の 金属配位化合物。

$$\begin{bmatrix} B \\ N \\ C \\ A \end{bmatrix}_{m'} C I \begin{bmatrix} A \\ C \\ N \\ B \end{bmatrix}_{m'} (7)$$

- 4. 前記一般式(3)において部分構造ML',が前記一般式(4)で示されることを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合物。
- 5. 前記一般式(3)において部分構造ML',が前記一般式(5)で示されることを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合物。
- 10 6. 前記一般式(3)において部分構造 ML ' が前期一般式(6)で示されることを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合物。
  - 7. 前記一般式(3)においてnが0であることを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合物。
- 8. 前記環状基Aおよび環状基A'が、それぞれ独立して置換基を有していてもよい芳香環基であるフェニル基、ナフチル基、チエニル基、フルオレニル基、チアナフチル基、アセナフチル基、アントラニル基、フェナンスレニル基、ピレニル基、またはカルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれることを特徴とする請求項1および2に記載の金属配20 位化合物。
  - 9. 前記環状基AおよびA'である芳香環基が、置換基を有していて もよいフェニル基、2-ナフチル基、2-チエニル基、2-フルオレニル

基、2-チアナフチル基、2-アントラニル基、2-フェナンスレニル基、2-ピレニル基、または 3-カルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH 基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれることを特徴とする請求項8に記載の金属配位化合物。

- 5 10. 前記芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基である ことを特徴とする請求項9に記載の金属配位化合物。
  - 11. 置換基を有していてもよいフェニル基の環状基Bに結合している位置(1-位)の隣(6-位)が水素原子であることを特徴とする請求項10に記載の金属配位化合物。
- 12. 前記環状基 B'および環状基 B'が、それぞれ独立して置換基を有していてもよい芳香環基であるイソキノリル基、キノリル基、2-アザアントラニル基、フェナンスリジニル基、ピリジル基、オキサゾリル基、チアゾリル基、ベンゾオキサゾリル基、またはベンゾチアゾリル基(該芳香環基を構成する C H 基の 1 つまたは 2 つは窒素原子に置き換えられてもよい。) から選ばれることを特徴とする請求項 2 に記載の金属配位化合物。
  - 13. 前記環状基B'およびB''である芳香環基が、置換基を有していてもよいイソキノリル基またはピリジル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。)から選ばれることを特徴とする請求項12に記載の金属配位化合物。
  - 14. 前記一般式(4)において環状基B,が置換基を有してもよい イソキノリル基であることを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合 物。
  - 15. 前記環状基A、A'、B、B' および B' が、それぞれ無置換で あるか、あるいはハロゲン原子もしくは、炭素原子数1から20の直鎖 状または分岐状のアルキル基{該アルキル基中の1つもしくは隣接しな

10

15

20

い2つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一CO一、一CH=CHー、一C≡C一で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい 2 価の芳香環基 (該置換基はハロゲン原子、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)を示す。)で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。}から選ばれる置換基を有することを特徴とする請求項2に記載の金属配位化合物。

- 16. 前記一般式(7)において環状基Aが、置換基を有していてもよい芳香環基であるフェニル基、ナフチル基、チエニル基、フルオレニル基、チアナフチル基、アセナフチル基、アントラニル基、フェナンスレニル基、ピレニル基、またはカルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。) から選ばれることを特徴とする請求項3に記載の金属配位化合物。
- 17. 前記芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基、2-ナフチル基、2-チエニル基、2-フルオレニル基、2-チアナフチル基、2-アントラニル基、2-フェナンスレニル基、2-ピレニル基、または3-カルバゾリル基(該芳香環基を構成するCH基の1つまたは2つは窒素原子に置き換えられてもよい。) から選ばれることを特徴とする請求項16に記載の金属配位化合物。
- 18. 芳香環基が、置換基を有していてもよいフェニル基であることを特徴とする請求項17に記載の金属配位化合物。
- 25 19. 置換基を有していてもよいフェニル基の環状基Bに結合している位置(1-位)の隣(6-位)が水素原子であることを特徴とする請求項

18に記載の金属配位化合物。

- 20. 前記一般式 (7) において環状基AおよびBが、それぞれ無置換であるか、あるいはハロゲン原子、もしくは炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一、一S一、一C〇一、一CH=CHー、一C=Cーで置き換えられていてもよく、該アルキル基中の1つもしくは2つ以上のメチレン基は置換基を有していてもよい2価の芳香環基(該置換基はハロゲン原子、炭素原子数1から20の直鎖状または分岐状のアルキル基(該アルキル基中の1つもしくは隣接しない2つ以上のメチレン基は一〇一で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。) を示す。) で置き換えられていてもよく、該アルキル基中の水素原子はフッ素原子に置換されていてもよい。)から選ばれる置換基を有することを特徴とする請求項3に記載の金属配位化合物。
- 15 21. 前記一般式(1)において、Mがイリジウムであることを特徴 とする請求項1に記載の金属配位化合物。
  - 22. 前記一般式 (7) において、Mがイリジウムであることを特徴とする請求項3に記載の金属配位化合物。
- 23. 前記一般式(2)で示される部分構造MLを持つ金属配位化合 20 物であって、下記一般式(8)で示されることを特徴とする請求項1ま たは2に記載の金属配位化合物。

$$Ir[Rp-Ph-IsoQ-R q]_{3}$$
 (8)

[前記 I r はイリジウム、部分構造 P h - Iso Q は (1-フェニルイソキノリル) 基、置換基 R 及び置換基 R (は水素またはフッ素、または直鎖または分岐のアルキル基 (該アルキル基は CnH2n+1-で表され、HはFに、隣接しないメチレン基は酸素に置き換わっても良く、n は 1 から 2 0 の

整数を表す)を示し、p及びqはそれぞれ前記フェニル基及び前記イソキノリル基に結合した置換基RおよびR'の数を示し、1以上の整数を示し、前記 Ph の 2 -位の炭素原子と IsoQ の窒素原子が Ir と配位結合をしている。]

- 5 24. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-アルキルフェニル)基であり、置換基 R´が水素であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
  - 25. 前記一般式(8)において置換基 R が水素であり、R´qが1個の4-または5-位に置換したフルオロ基またはトリフルオロメチル基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
  - 26. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(5-フルオロフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
- 27. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-フルオロフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基またはトリフルオロメチル基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
  - 28. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(3,5-ジフル オロフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基であることを特 徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
- 29. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(3,4,5-トリフルオロフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。

25

- 30. 前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (4ートリフルオロメチルフェニル) 基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
- 5 31. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(5-トリフル オロメチルフェニル)基であり、R´qが1個の水素、または4-もしく は 5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基であるこ とを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
- 32. 前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (1-(3,4,5,6-テトラフルオロメチル) フェニル) 基であり、R´qにおいて、qは1または6であり、R´は水素、または4-もしくは 5-位に置換したトリフルオロメチル基、または3,4,5,6,7,8-ヘキサフルオロ基であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
- 33. 前記一般式(8)において部分構造 Rp-Ph-が(4-アルキルフェニル)基(該アルキル基は炭素数1から6までの直鎖状または分岐状のアルキル基を表す)であり、R´qは水素であることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
  - 34. 前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が ( $4-P\nu$ ) 基 (isp) 基 (isp) 基 (isp) 基 (isp) 基 (isp) 基 (isp) 基 (isp) 表 isp is
  - 35. 前記一般式 (8) において部分構造 Rp-Ph-が (4ートリフル オロメチルオキシフェニル) 基であり、R´qが1個の水素、または4-もしくは5-位に置換したフルオロ基もしくはトリフルオロメチル基で あることを特徴とする請求項23に記載の金属配位化合物。
  - 36. 前記一般式(3)で表される金属配位化合物であって、下記一

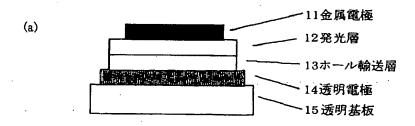
般式(9)で示される請求項2に記載の金属配位化合物。

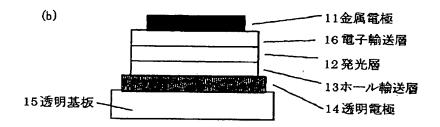
 $IrL_{n}L_{n}$  (9)

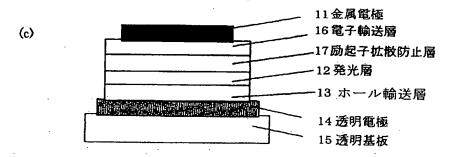
ここで Ir はイリジウムを表す。

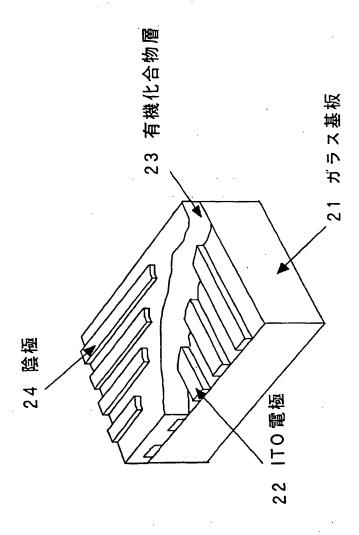
- 37. 前記一般式(9)で示される金属配位化合物であって、
- 5 前記  $L_n$  は、一般式 [4-Tルキルフェニルイソキノリン]  $_2$  (ここで前記 Tルキル基は  $C_nH_{2n+1}$  で表され、nは 1 から 8 までの整数を示す。)で表され、前記  $L_n$  は、[1-フェニルイソキノリン] であることを特徴とする請求項 3 6 に記載の金属配位化合物。
- 38. 前記一般式(9)で示される金属配位化合物であって、前記 L。は一般式[1-フェニルイソキノリン]2で表され、前記 L<sup>2</sup>。は、[4-アルキルフェニルイソキノリン](ここでアルキル基の炭素数は1から 8)であることを特徴とする請求項36に記載の金属配位化合物。
  - 39. 前記一般式(1)において、置換基を有してもよいイソキノリン基を構成するCH基の1つまたは2つが窒素原子に置き換えられていることを特徴とする請求項1に記載の金属配位化合物。
  - 40. 前記一般式(7)において、置換基を有してもよいイソキノリン基を構成するCH基の1つまたは2つが窒素原子に置き換えられていることを特徴とする請求項3に記載の金属配位化合物。
- 41. 基体上に設けられた一対の電極間に、少なくとも一種の有機化 20 合物を含む発光部を備える有機発光素子であって、前記有機化合物が前 記請求項1に記載の一般式(1)で示される部分構造を少なくとも1つ 有する金属配位化合物を含むことを特徴とする有機発光素子。
  - 42. 前記有機化合物が下記一般式 (3) で示される構造を有する金属配位化合物を含むことを特徴とする請求項41に記載の有機発光素子。
- 25 43. 前記有機化合物が下記一般式(8)で示される構造を有する金 属配位化合物を含むことを特徴とする請求項41に記載の有機発光素子。

- 44. 前記有機化合物が下記一般式(9)で示される構造を有する金属配位化合物を含むことを特徴とする請求項41に記載の有機発光素子。
- 45. 前記電極間に電圧を印加することにより燐光を発光することを特徴とする請求項41に記載の有機発光素子。
- 5 46. 前記燐光の発光色が赤であることを特徴とする請求項45に記載の有機発光素子。
  - 47. 前記請求項41から46のいずれかに記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に電気信号を供給する手段とを具備した画像表示装置。









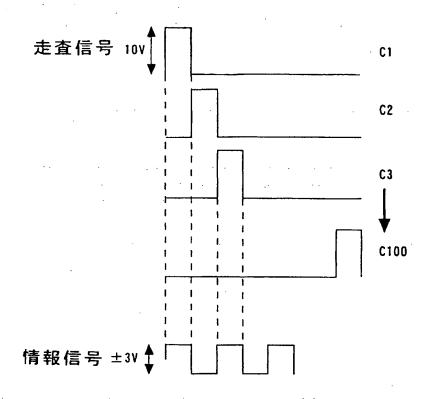
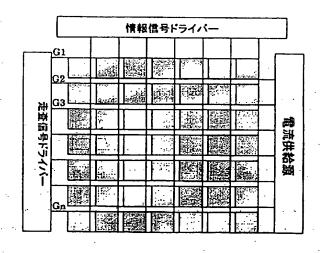
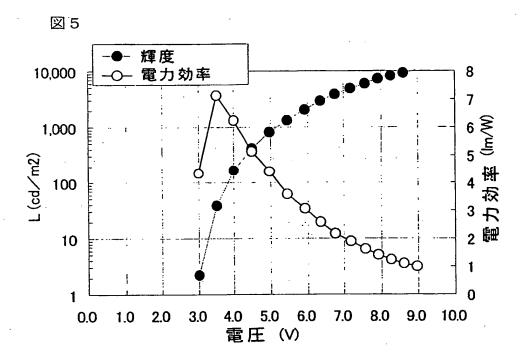
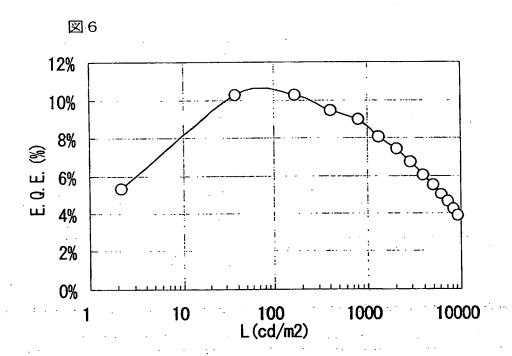


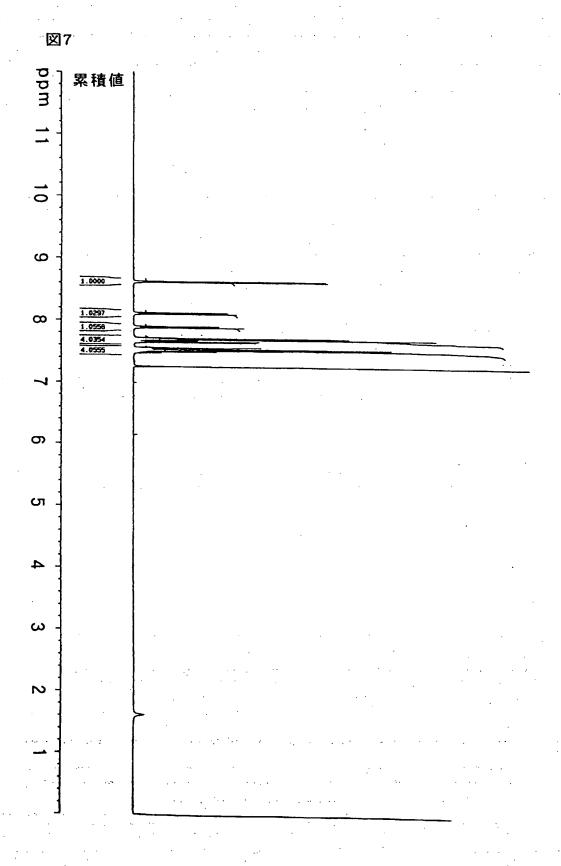
図4



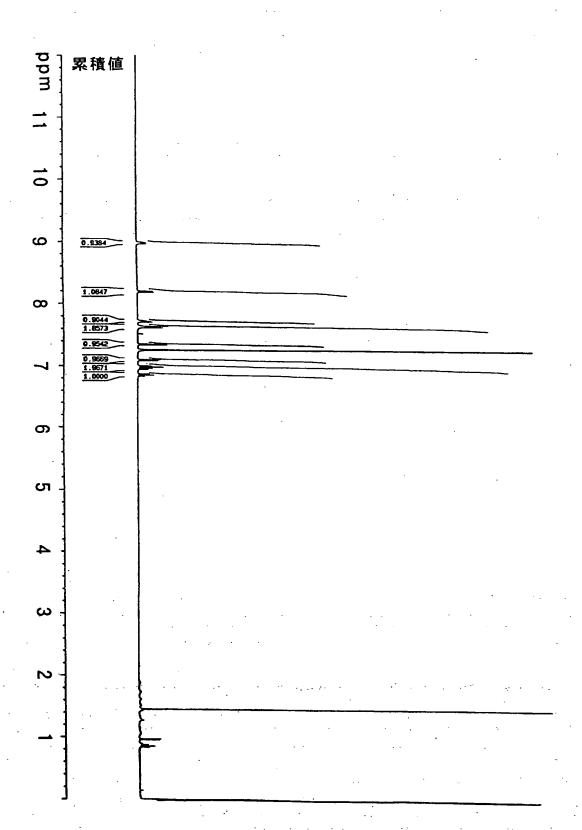




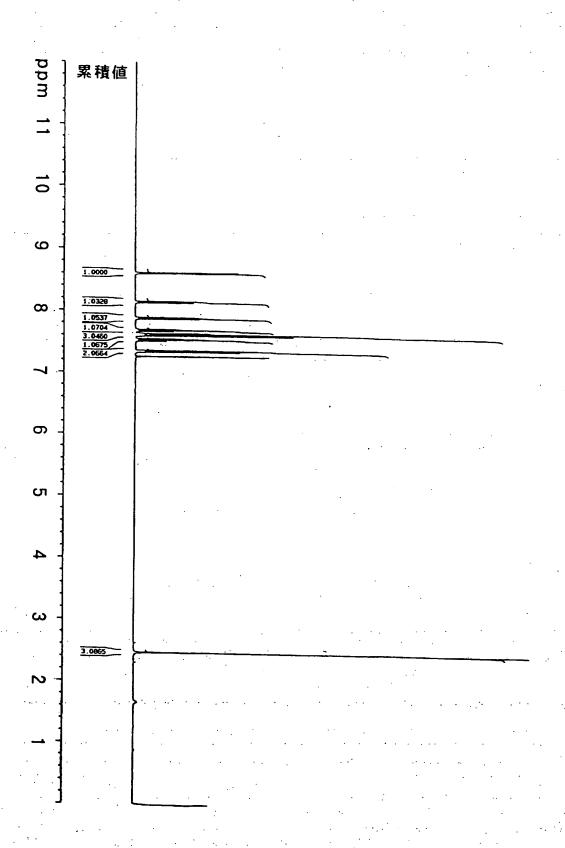
差 替 え 用 紙 (規則26)

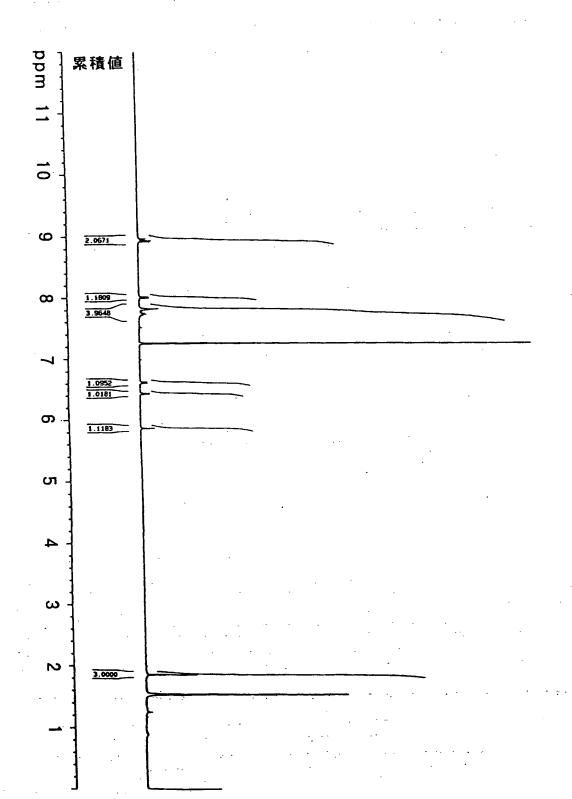


差 替 え 用 紙 (規則26)

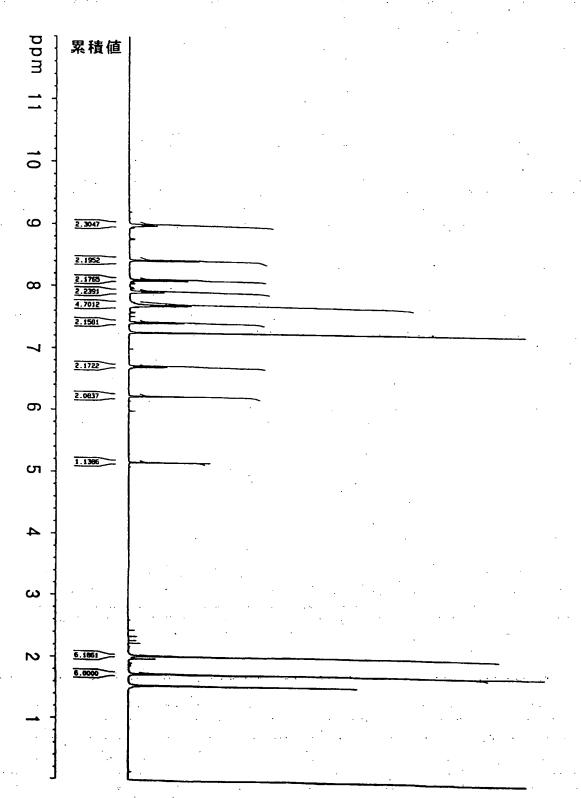


差 替 え 用 紙 (規則26)

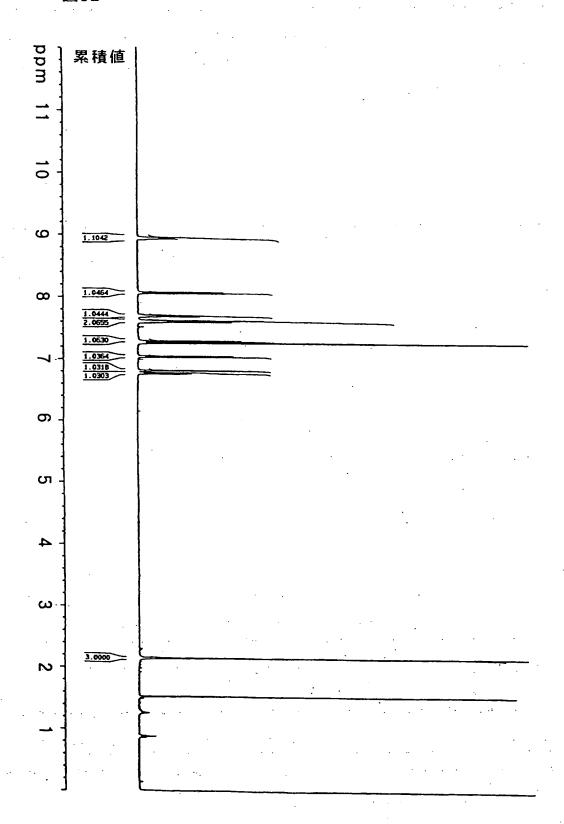




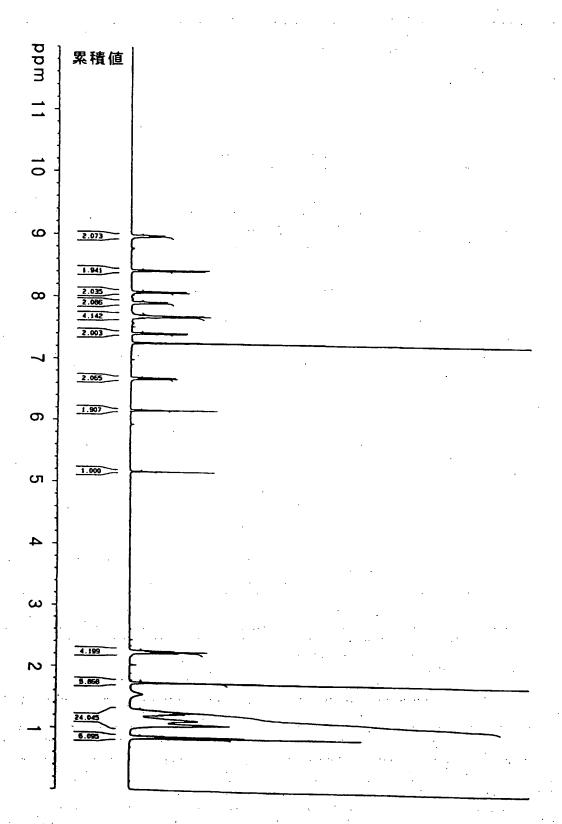
差 蓉 え 用 紙 (規則26)



差 討 え 用 紙 (規則26)



<sub>注 貸 え 用 紙 (規則26)</sub>



### INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP01/10487

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl <sup>7</sup> C07F15/00, C07F19/00, C09K11/06, H05B33/14						
According to	International Patent Classification (IPC) or to both nation	onal classification and IPC				
D EIEI DS	SEARCHED					
Minimum doo Int.(	cumentation searched (classification system followed by C1 <sup>7</sup> C07F15/00, C07F19/00, C09K1	1/06, nd3533/14				
	on searched other than minimum documentation to the e					
Electronic da CAPL	nta base consulted during the international search (name US (STN), REGISTRY (STN)	of data base and, where practicable, sear	en terms used)			
C. DOCUM	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		Delegant to alaim No			
Category*	Citation of document, with indication, where app	ropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.			
PΧ	US 2001/0019782 Al (Tatsuya IGARASHI), 06 September, 2001 (06.09.2001), & JP 2001-247859 A & JP 2001-345183 A					
X A	NAVARRO-RANNINGER, Carmen et a Pd(II) complex containing a cyto J. Organomet. Chem., (1998), Vo pages 103 to 110	sine model nucleobase",	1,7-10 2-6,11-47			
		Company Comilly compay				
* Specia "A" docum	er documents are listed in the continuation of Box C.  al categories of cited documents: nent defining the general state of the art which is not lered to be of particular relevance	"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art document member of the same patent family				
"E" earliet date  "L" docur cited special "O" docur mean "P" docur	r document but published on or after the international filing ment which may throw doubts on priority claim(s) or which is to establish the publication date of another citation or other al reason (as specified) ment referring to an oral disclosure, use, exhibition or other s ment published prior to the international filing date but later					
Date of the actual completion of the international search 22 January, 2002 (22.01.02)  Date of mailing of the international search 05 February, 2002 (05.02)						
Name and Jay Facsimile	mailing address of the ISA/ canese Patent Office No:	Authorized officer  Telephone No.				

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

電話番号 03-3581-1101 内線 3443

	<u> </u>	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		
A. 発明の原	属する分野の分類(国際特許分類(IPC))			
Int	. C1. C07F15/00, C07F19/00, C09K11/06, 1	H05B33/14		
B. 調査を行	テった分野	*.		
	よい限資料(国際特許分類(IPC))			
Int	.C1. C07F15/00, C07F19/00, C09K11/06,	H05B33/14		
最小限資料以外	トの資料で調査を行った分野に含まれるもの			
•				
国際調査で使用	目した電子データベース (データベースの名称、	、調査に使用した用語	吾)	
CAP	LUS (STN), REGISTRY (STN)			
	ると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する	ときは、その関連する	る箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
PX	US 2001/0019782 A1(Tatsuya Igara: 2001.09.06 &JP 2001-247859 A &JP			1-47
X A	NAVARRO-RANNINGER, Carmen et. al. A cyclometalated Pd(II) complex on nucleobase, J. Organomet. Chem., 1998, Vol. 5	containing a cy		1, 7-10 2-6, 11-47
·				
□ C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	パテントフ	アミリーに関す	-る別紙を参照。
もの 「E」以後 国以後先権 「L」 優先若 文 可 で 」 「O」 「O」	のカテゴリー 車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す 質日前の出願または特許であるが、国際出願日 公表されたもの 主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 くは他の特別な理由を確立するために引用する 理由を付す) よる開示、使用、展示等に言及する文献 質日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願	「T」国際出願日の出願日の出願と矛盾での理解のため「X」特に関連のより「Y」特に関連のより、上の文献となるよって進歩れ	するものではなけた。引用であるり用である。 がるがな性がないない。 がな当業者であるといる。 とがないときないときないときない。 というないというない。 というないというない。 といるない。 といる。 といる。 といる。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といるない。 といる。 といるない。 といるない。 といるない。 といる。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 と	て、当該文献のみで発明 と考えられるもの て、当該文献と他の1以 って自明である組合せに られるもの
国際調査を完	了した日 22.01.02	国際調査報告の発送	<sup>送日</sup> 05	.02.02
日本国	D名称及びあて先 国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権I 本堂	限のある職員) 裕司	4H 9049

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

## THIS PAGE BLANK (USPTO)

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

#### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

#### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

## THIS PAGE BLANK (USPTO)